

〈資料〉

『満洲日日新聞』 1907(明治40)年記事事件名目録

湯原 健一

1. はじめに

本稿は『満洲日日新聞』に掲載された1907(明治40)年の記事の件名目録である。

『満洲日日新聞』はかつて日本の租借地であった「関東州」において刊行されていた日本語日刊新聞である。日露戦争後、満洲における日本の国策宣伝期間の設立を企図した、初代満鉄総裁である後藤新平の依頼により創刊される⁽¹⁾。

1907年11月3日に創刊号を発行し、1944年3月に『満洲新聞』⁽²⁾と合併するまで発行は続けられる。この間、日本の影響下にあった満洲各地で購読された。1935年9月『大連新聞』⁽³⁾を買収し合併すると、「大連に於ける唯一の邦字新聞」となり、「全満を通じての第一流新聞たるのみでなく、内地の新聞界にも五指を数ふるの一つ」⁽⁴⁾と『大連市史』に記され、最盛期には4万1000部を発行するまでになる⁽⁵⁾。

『満洲日日新聞』を含めた、満洲地域において発行された日本語新聞については、既に李相哲が『満洲における日本語新聞の経営史』において体系的な検討を行っている。

李相哲は『満洲日日新聞』のみならず、満洲地域において発行された日本語新聞の創刊や統廃合について体系的に整理を行っている。李は『満洲

(1) 李相哲『満洲における日本人経営新聞の歴史』凱風社、2000年、87頁。

(2) 『満洲新聞』。1909年、長春において創刊された『長春日報』が数度の改題や統廃合を行い、1938年に成立した新聞である。(前掲『満洲における日本人経営新聞の歴史』364頁)

(3) 『大連新聞』。1910年に大連において創刊された夕刊紙(後に朝刊も発行)。発行名義人・社長を立川雲平、主筆を松井柏軒が務めた。(前掲『満洲における日本人経営新聞の歴史』93-94頁)

(4) 井上謙三郎『大連市史』大連市役所、1936年、764頁。

(5) 前掲『満洲における日本人経営新聞の歴史』363頁。

『満洲日日新聞』を、「満鉄機関紙」と定義し、経営史的側面と「論調」という観点より分析を試みている。

しかし、『満洲における日本人経営新聞の歴史』という表題からも推し量れるように、日本人が経営した新聞社の経営紙の側面と日本の大陸政策との「連携」という視点が主であり、個々の記事、一つひとつについての分析という観点を持ち合わせていない。その意味において、本目録は、『満洲日日新聞』が創刊された最初の年である1907年のみであるが、今後、個々の記事について検討を試みる場合に、大きな手がかりとなると思われる。

2. 『満洲日日新聞』の書誌的内容

先述の通り、企業としての『満洲日日新聞』については、李相哲の研究を参照していただくとして、本稿においては、より書誌的内容について検討を加えていく。

『満洲日日新聞』の体裁

『満洲日日新聞』は先述の通り日刊紙である。

1907年の創刊以来、無休刊で月曜日から日曜日まで毎日発行されている。1907年分の記事を見る限りでは、日付、巻号に欠落はなく、毎日刊行されている。

これは同じく大連で発行され、発行部数においては『満洲日日新聞』を上回っていた『遼東新報』⁽⁶⁾が関東都督府や満鉄などから有形無形の圧力を受け、月2、3回程度の停刊処分を受けたと言われていることから⁽⁷⁾、日本の国策宣伝機関として役割を担わされた『満洲日日新聞』の役割を暗示していると思われる⁽⁸⁾。

(6) 『遼東新報』は1905年10月25日に創刊された日刊新聞である。初代社長には東亜同文会などで活動し、康有為や黄興、孫文なども交友を有した末永純一郎が務めた。日露戦争中の1905年から新聞の刊行を開始し、当初は関東都督府の「府報」を発行するなど、大連において優勢な立場に立った。発行部数においては『満洲日日新聞』の発行部数が4万1800部であったのに対して、『遼東新報』は4万5100部と勝っていた。

(7) 前掲『満洲における日本人経営新聞の歴史』57-58頁。

(8) 関東都督府の公報である「関東都督府報」や「民政署報（大連および旅順民政署）」は、『満洲日日新聞』の「附録」という形で、頒布された。関東都督府の法令合集である『関東都督府

『満洲日日新聞』の紙面はおおよそ4面から6面で構成されている。一週間という周期における構成は、月曜日が全4面構成、火曜日から日曜日までが全6面構成となっている⁽⁹⁾。

『満洲日日新聞』の紙面の大きさは、いわゆる「ブランケット判（ほぼB3）」の両面印刷である。月曜日の4面構成の場合B3の新聞紙裏表に2頁ずつ記事が割り付けられている。火曜日から日曜日までの6面構成の場合は、B3の新聞紙1枚に、ブランケット判の半分の用紙（ほぼB4）1枚の両面に記事が印刷され、一綴りとなっていた。

また、こうした通常の紙面とは別に、戦前の皇室祭祀である11月3日の「天長節（明治天皇の誕生日）」や「紀元節」（2月11日）といった祭日や⁽¹⁰⁾、関東都督府の始政記念日である9月1日などには通常の紙面の頁数を大きく超えた大部な新聞の発行を行っている。また、1907年分の目録には含まれていないが、元日や、いわゆる「陸軍記念日」（3月10日）や「海軍記念日」（5月27日）といった記念日などには特集記事を組むなどの紙面作りがなされている⁽¹¹⁾。

通常の紙面構成ではない場合、創刊号を例にすれば、通常の4面一綴りや6面一綴りといった構成とは異なる。創刊号は全64面あり、8面一綴りとなっており、その束が8束で一日分となっている。

新聞本紙とは別に、不定期であるが週一回程度、関東都督府の「府報」や、大連、旅順に設置された民政署の「署報」が附録としてついてきた⁽¹²⁾。附録以外にも、「号外」として「彩票」の抽籤結果や、満鉄の時刻表の改正などが掲載されている⁽¹³⁾。

法規提要』の印刷、出版なども満洲日日新聞社が行っている。

(9) 12月29日から31日までの3日間は、年末ということもあり紙面は4面構成となっている。

(10) 百瀬孝『事典・昭和戦前期の日本・制度と実態』吉川弘文館、1990年、248頁。

(11) 「陸軍記念日」、「海軍記念日」は共に、日露戦争における奉天会戦、日本海海戦の勝利を記念したものである。同時に、当時の在満日本人のなかには、これらの戦闘を参加、体験したのも多く存在しており、『満洲日日新聞』では旧懐談などの取材を行い、記事として掲載していた。

(12) 『関東都督府府報』および民政署の『署報』については、今回使用したマイクロフィルムには載録されていない。『府報』についてはマイクロフィルム化された『関東都督府府報』（1919年に関東庁に改組されると『関東庁庁報』に、さらに1934年に関東局へ改組すると『関東局局報』と改称される）がある。

(13) 附録としては「時刻表」や「彩票抽籤結果」など以外にも1910年2月11日には前年1909

『満洲日日新聞』の紙面構成の詳細については後述するが、簡単に記すと、先述の通り月曜日が4面、火曜日から日曜日までが6面で構成されている。これが1907年の『満洲日日新聞』における基本の構成となっている。新聞記事は1面から5面（4面構成の場合は1面から3面）まで掲載されており、最終面である4面、あるいは6面は全面が広告の頁となっている。なお、本目録においては、広告は採録していない。

『満洲日日新聞』の掲載文字数

1907年の創刊当初、『満洲日日新聞』の紙面は、第1面が全6段、第2面から第5面が全7段で記事が割り付けられている。

1段あたりの文字数は、1行が19字となっており、1段あたりの行数は約60行で構成されている。記事タイトルなどは記事本文よりやや大きな文字が使用されているため、おおよそではあるが、1段あたりの文字数は1000字程度であると試算できる。言い換えれば、1段あたりの文字数は400字詰め原稿用紙に換算して約2.5枚であると言える。これを紙面1面で換算するなら、1面あたり6段構成であるなら、第1面は約6000字（原稿用紙15枚程度）、第2面から第5面の7段構成であれば約7000字（原稿用紙17枚程度）である。

現在の『朝日新聞』が2011年3月31日に行った紙面変更から、1行が12字となり、1段は全部で72行となっている⁽¹⁴⁾。1段あたりの文字数は約820字前後となっている。1段の文字数は原稿用紙にして2枚程度であるといえる。現代の新聞紙面との単純な比較は難しいが単純な一段の文字数という観点からみると、『満洲日日新聞』の紙面は現在の文字数と比べると約1割ほど文字数が多く、また文字もかなり小さいサイズであると言える。

年10月に発生した伊藤博文暗殺事件の裁判記録である「安重根事件公判速記録」が掲載されている。これは後に満洲日日新聞社により書籍として刊行されている。

附録には、こうしたもの以外にも、相撲の取組や衆院議員選挙の結果などが掲載されている。

(14) 「文字を大きく、教育面も充実」『朝日新聞』2011年2月21日第1面。2011年3月31日夕刊より紙面を刷新している。

『満洲日日新聞』の購読範囲

次に、『満洲日日新聞』の購読についてである。

まず、『満洲日日新聞』の購読料である。

新聞の本文とは別の欄外部分を見ると、購読料は「定価一ヶ月前金八拾銭 一部金四銭」⁽¹⁵⁾と記されている。1906年の『大阪朝日新聞』の一ヶ月の購読料金は45銭、一部あたりの値段が2銭であったことと比較すると、ほぼ倍近い値段であったことがわかる⁽¹⁶⁾。

『満洲日日新聞』は、関東州における日本語新聞である。当然、日本国内のように日本語を母国語としている読者が大半を占めている地域とは異なり、新聞を販売をする地域には中国人やロシア人、朝鮮人などが居住する地域が含まれている。

同じく大連で創刊した『遼東新報』は、日本語記事と同時に中国語の記事を掲載していたが⁽¹⁷⁾、『満洲日日新聞』は基本的に日本語で書かれた記事を掲載しており、購読者として日本人を想定し紙面作成がなされたと考えられる。

1908年11月17日からは英語の記事欄も設けられるが⁽¹⁸⁾、英語で書かれた記事の分量は1日あたりに4本から5本程度であった⁽¹⁹⁾。購買者層は、はじめから日本人、あるいは日本語を理解する人物に限られていた。こうした条件が日本国内と比較するとやや割高な購読料金となった理由ではないかと思われる。

また、『満洲日日新聞』の購読地域にも購読料金の高さの原因があると思われる。

1907年11月14日に「社告」として『満洲日日新聞』の販売、広告など

(15) 『満洲日日新聞』1907年11月4日第4面。

(16) 週刊朝日編『値段史年表 明治・大正・昭和』朝日新聞社、1988年、101頁。同書によると1902年の英和辞典の値段が一冊90銭となっている。現代の価値と比較は難しいとしても、やや割高な値段となっていることが窺える。

(17) 前掲『満洲における日本人経営新聞の歴史』56頁。

(18) 当初は1908年2月頃から英文欄を開始する予定であったが、実際に掲載が開始されたのは、11月になってからであった。（「英文欄新設」『満洲日日新聞』1908年1月6日2面。“The Manshu Nichinichi shinbun”『満洲日日新聞』1908年11月17日第2面。）

(19) 後に英文欄は『満洲日日新聞』の附録となり、1912年には英字紙「マンヂュリア・デリー・ニュース」として独立することとなる。（井上謙二郎『大連市史』大連市役所、764-765頁）

を受け付ける特約店の名前と所在地が掲載されている。特約店の所在地として掲載された地名は、營口、大石橋、瓦房店、遼陽、千金寨（撫順）、奉天、鉄嶺、公主嶺、長春の9つである⁽²⁰⁾。『満洲日日新聞』の1907年の創刊当初の購買地域は、これら9つの満洲地域の都市と旅順、大連などの関東州内の都市を中心としたものであると推測される⁽²¹⁾。特約店の所在地として挙げられた地名は、いずれも満鉄附属地が設置された場所であり、満鉄の主要路線である大連～長春間の沿線であるといえる⁽²²⁾。

外務省が作成した『南満ニ於ケル本邦人ノ経済状態ニ関スル統計的觀察』によると、『満洲日日新聞』が創刊された1907年の満洲在住日本人の人口は、関東州2万4572人、鉄道附属地が1万3313人となっており、南満洲全域で4万8476人が居住していたといわれる⁽²³⁾。これら在満日本人を購読者として獲得していくという意味において、分母となる日本人居住者の絶対数が日本国内と異なり、非常に限定的であったと言ってもよい。これが、同時期に日本国内において刊行された日刊新聞よりも、割高な購読料となった一因であると考えられる。そして、これらの事柄は裏返しているならば、1907年時点での在満日本人の活動範囲を示していると言えるのではないだろうか。

3. 『満洲日日新聞』の紙面構成

続いて『満洲日日新聞』の紙面構成について述べる。

今回は本目録で取り上げた1907年の紙面に基づいて述べていく。ただ、1907年のみでは紙面の変化が分かりづらい箇所については、それ以降の年も用いる。

繰り返しになるが、『満洲日日新聞』の紙面は、平日の基本構成として

(20) 「社告」『満洲日日新聞』1907年11月14日第6面。

(21) 李相哲によると、日本国内においては、東京、大阪に、朝鮮においては新義州に販売所が設けられていたという。1907年の『満洲日日新聞』の販売所が記された「社告」には掲載されていない。(前掲『満洲における日本人経営新聞の歴史』89頁)

(22) 関東庁『関東庁施政二十年史』満洲日日新聞印刷所、1926年、4-8頁。

(23) JACAR Ref.B11090762600 (第5画像目)「南満ニ於ケル本邦人ノ経済状態ニ関スル統計的觀察」(B-3-4-6-5外務省外交史料館)

月曜日が全4面、火曜日から日曜日が全6面という構成となっている。また、月曜日の最終面である第4面、火曜日から金曜日の最終面である第6面は広告の掲載面となっている。

第1面

第1面は6段組の構成となっている。

最上段に『満洲日日新聞』の題字⁽²⁴⁾、日付、号数などが記されている。日付は、西暦（英語表記）、日本の元号、清朝の元号でそれぞれ記載されている⁽²⁵⁾。

第1面の1段目には新聞の社説というべき、「社説」や「論説」などの記事が1段から1段半ほどの面積で掲載されている⁽²⁶⁾。「社説」と「論説」の区別としては、「論説」には記者による署名が記されているが、「社説」には署名がなされていないという点である。

2段目は連載記事や時事問題などを扱った記事が掲載されている。

連載記事として一例を挙げるならば、「遼東豚」⁽²⁷⁾という記者による満洲各地の見聞録である「予の見たる満洲」⁽²⁸⁾などや、「切水軒」⁽²⁹⁾という記者による東京の文士たちの動向や交流などを記した「行雲流水」⁽³⁰⁾といった記事が掲載されている。

(24) 1907年当時の『満洲日日新聞』の題字は、揮毫ではなく、通常の印字された文字である。また、1907年11月7日第2面には満洲旗人である那桐による「満洲日日新報館」という揮毫が掲載されているが、特に紙面において使用された形跡はない。

(25) 日本の日付は正確に記載されているが、清朝の日付に関しては日付が飛ぶなど正確ではない箇所が見られる。附録として日付対照表を作成してあるので、そちらを参照していただきたい。日付対照表作成においては、台湾大学の数位典藏与自動推論実験室・数位典藏研究发展中心作成による「中西曆対照查詢系統（明代以降）」<http://140.112.30.230/datemap/index.php>を参照した。

(26) 明治期における『満洲日日新聞』の「社説」については、松重充浩「国立国会図書館蔵明治期『満洲日日新聞』社説件名一覧」（『広島女子大学国際文化学部紀要』県立広島女子大学、2000年2月）がある。

(27) 「遼東豚」が何者かは、不明である。「予の見たる満洲」完結後には「満蒙人の日用品」という連載を掲載している。

(28) 全43回。1907年11月10日に連載が開始し、同年12月23日に完結。

(29) 「切水軒」が何者であるか、不明であるが、記事を読む限り、いわゆる「文壇」と呼ばれるものに一定の交流を持つ人物であったことが推定できる。「切水軒」は、「行雲流水」完結後、「枯林泉声」と題した連載を掲載している。

(30) 全12回。1907年11月8日に連載が開始し、同年12月6日に完結。

時事問題としては、営口で刊行されていた『満洲日報』が停刊されるといふ顛末を記した「満洲日報顛末書の発表」⁽³¹⁾といった満洲地域に密接した問題や、「西太后の御事ども」⁽³²⁾、「孫文氏を羨む」⁽³³⁾といった満洲地域に隣接した清朝の問題を取り上げたものなども見受けられる。さらには、「於戯、龍次兵衛」⁽³⁴⁾、「降将ス氏を憐む」⁽³⁵⁾といった海外の話題なども取り上げられている。

こうした時事問題や連載記事が2段目から3段目を占めている。

4段目には、「文苑」⁽³⁶⁾や「読者文芸」⁽³⁷⁾などと題された、読者より募集した俳句や、川柳、漢詩などが掲載されている。なお「文苑」、「読者文芸」については、その個々の作品については本目録には採録してはいない。

5段目から6段目には連載物の「小説」が掲載されている。こうした構成は月曜日の4面構成、火曜日から金曜日までの6面構成においても共通したものとなっている。『満洲日日新聞』に掲載された文芸作品は、「小説」と「講談」の二つがある。1907年の創刊当初において、まだ紙面の配置に試行錯誤をしている段階にあるためか、文芸作品の配置が号毎に異なることも見られる。そのため、1面の連載物が「小説」ではなく、「講談」が掲載されることもあった。だが1908年1月中旬頃より、第1面に「小説」が掲載されるという形式が固定化されていく⁽³⁸⁾。

(31) 「満洲日報停刊顛末書の発表」『満洲日日新聞』1907年11月5日第1面。『満洲日報』を巡る問題としては、同月19日に「満洲日報の再刊」と題した記事が掲載されている。（「満洲日報」『満洲日日新聞』1907年11月19日第1面）

(32) 「西太后の御事ども」『満洲日日新聞』1907年11月15日第1面。同日は、西太后の誕生日である。

(33) 「孫文氏を羨む」『満洲日日新聞』1907年11月24日第1面。

(34) 「於戯、龍次兵衛」『満洲日日新聞』1907年11月18日第1面。「龍次兵衛」には「ルーズベルト」と振り仮名が振られている。時期的に考えるとセオドア・ルーズベルトであると思われる。本記事では、日露戦争後、アメリカ西海岸を中心として起こった日本人などの東洋人移民排斥運動をうけて、その動静を伝えている。

(35) 「降将ス氏を憐む」『満洲日日新聞』1907年11月23日第1面。「ス氏」とは日露戦争時の旅順攻囲戦のロシア側指揮官であるアナトーリー・ステッセルを指す。本記事では、ステッセルの軍法会議開会と、ロシア国内での動静を伝えている。

(36) 全10回。11月6日に掲載が開始し、11月22日に掲載が終了している。

(37) 11月3日より掲載が開始。ほぼ、毎日掲載されている。

(38) 『満洲日日新聞』に掲載された文芸作品については、また別稿を用意している。

第2面

第2面は、第1面が6段構成となっていたのに対して、7段構成となっている。第1面とは異なり、題字、日付等を掲載する部分がなくなり、その代わりに1段ほど段が増え、7段構成となっている。1面以外の紙面構成は、この7段構成が基本となっている。

第2面の紙面は最上段から2段目ほどが「倫敦特電」や「東京電報」といった、いわゆる「外報」、満洲各地に創設された支局から送られてきた地方ニュースが掲載されている。掲載の形式としては、地名に「特電」、「電報」という表記で大見出しが作られ、各地の記事が載るといった形となっている。

「外報」を発信するために必要となるのは、満洲各地や海外に置かれた支局であると思われる。当然『満洲日日新聞』も各地に支局を開設している。1907年の創刊当初の支局の配置は、関東州内には満洲日日新聞社の本社がある大連と関東都督府が置かれた旅順に設置された。満洲地域では奉天、營口に設置された⁽³⁹⁾。関東州、満洲地域以外には、東京に支局が置かれた。

記事には、支局が該当記事を発信した日付が記されている。それによれば、多少の誤差はあるとして支局が前日に発信した記事が、翌日の朝刊に掲載されている。記事の内容としては、あまり時差はなかったと思われる。

また、支局が開設された地域以外には、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロンドン、ベルリン、ペテルブルグ、ウラジオストク、京城などの記事が掲載されている。日本国内の地域としては東京以外に、門司、長崎、敦賀などの記事が掲載されている。これらの地域の情報は、通信員が配置されていた場所と、「特置員」と呼ばれる臨時に置かれる通信員が記事を配信している地域が存在した⁽⁴⁰⁾。

(39) 「社告」『満洲日日新聞』1907年11月6日第2面。同記事において、奉天支局長として上田務、營口支局長として西村巳之助が赴任することが記されている。また、奉天、營口の両支局は12月13日に正式に開設された。「社告」『満洲日日新聞』1907年12月13日第2面。

(40) 特置員は突発的な事態が当該地域で発生した場合に置かれたと推測される。

一例として挙げるならば、1907年11月29日に台北の特置員が配信した「台北特電」であろう。この記事では「生蕃の大反抗」と題して、北埔で発生した台湾原住民の蜂起を報じている。おそらくこの記事は時期を考え、いわゆる「北埔事件」を示していると思われる。『満洲日日新聞』では、この後、「隘勇叛乱公報」、「台湾隘勇の叛乱」と題した続報が掲載され

また、清朝の地域としては、北京、天津、芝罘、上海、香港などの記事が掲載されている。清朝の領域内における上記の地域以外の記事や清朝内の政治的動向などを記した記事は、1907年11月18日より「各省近事」という欄が設けられ、そちらに掲載されている⁽⁴¹⁾。

第2面では、こうした「外報」とは別に、「短信」あるいは「通信」といった形で、関東州及び満洲地域の記事を掲載している。記事となった地名は瓦房店、營口、大石橋、撫順、遼陽、奉天、鉄嶺、安東、公主嶺、長春などであった。これら地域が1907年の創刊当初における『満洲日日新聞』が情報収集を行った地域であったと考えるならば、南満洲各地に取材網が広がっていたことを示している⁽⁴²⁾。

また、1907年12月15日に掲載された「社告」によると、『満洲日日新聞』の通信員として「千金寨日東洋行 坂本格」という人物を囑託とすることが記されている⁽⁴³⁾。『満洲日日新聞』が各地に配置した通信員は、こうした出先の商社員などが囑託され、記事を配信していたのではないだろうか。そして、これらの地域は先に示した『満洲日日新聞』の販売特約店が置かれた地域と、ほぼ重複している。先述の通り、特約店の配置が、在満日本人の活動範囲であると推定するならば、まさに『満洲日日新聞』の取材活動がそうした、在満日本人社会と密接に関わり合ったものであったことを示唆している。

こうした「外報」記事、あるいは地域ニュースである「短信」、「通信」、清朝の政治動向を伝える「各省近事」など以外には、満洲地域の日本の活動として切り離すことができない南満洲鉄道株式会社の動向を記した「満鉄彙報」なども掲載されている⁽⁴⁴⁾。

ている。「隘勇叛乱公報」『満洲日日新聞』1907年11月26日第3面。「台湾隘勇の叛乱」『満洲日日新聞』1907年12月4日第2面。

(41) 「各省近事」『満洲日日新聞』1907年11月18日第2面。この日以降、ほぼ毎日掲載されている。

(42) 日本人居留民が多く存在した、營口、鉄嶺、長春などの地域のニュースは1908年2月5日より各曜日の第4面に掲載されることとなる。

(43) 「社告」『満洲日日新聞』1907年12月15日第4面。

(44) 「満鉄彙報」では、満鉄の料金改正や駅名の変更などが報じられている。1907年11月14日には、12月1日より実施される「哩程表」の開始に伴い、満鉄の線路の起点が大連埠頭に定められたことが記載されている。「満鉄の哩程改正」『満洲日日新聞』1907年11月14日第2面。

最下段には、関東都督府の官吏や満鉄職員の動静を記した「人事」欄が設けられている⁽⁴⁵⁾。また、港湾都市である旅順、大連に入港、出港、あるいは停泊中の船舶の動向を記録した「在港船舶」や「荷役船舶」、さらに横浜正金銀行の為替動向や関東都督府、満鉄の金と銀との換算相場を記録した「為替相場」、大連の主要な宿泊施設である「ヤマトホテル」や「遼東ホテル」などのホテルの宿泊客を記した「宿泊氏名」などが掲載されている。

第2面の構成は、6面構成、4面構成いずれの日においても基本的に変更されることはない。

第3面

第3面は主に経済関係の記事と日本国内のニュースを扱う「内国記事」が掲載される。

経済関係の記事としては、「商工叢談」と題された、満洲各地の物産や産業を取材した記事が掲載されている⁽⁴⁶⁾。また、創刊当初の1907年11月には「調査」と題して、農産物や水産物、鉱物資源などのレポート記事なども掲載されている。

また不定期であるが、「訪問」と題された、満洲を訪れた政治家や外交官などに取材を行った記事なども掲載されている。ここでは当時、衆議院議員であった犬養毅や西本願寺顧問であった藤島了穂などが所感を述べている⁽⁴⁷⁾。

また、先述した英文欄とは別に、簡単な英語の例文が記された「英文一口噺」⁽⁴⁸⁾が掲載されている。

第3面には、創刊当初、連載小説が掲載されていた。先述の通り、『満洲日日新聞』には、文芸作品の連載として「小説」と「講談」が掲載されていた。しかし、1907年11月のみ第1面と第3面に小説が掲載された。

(45) 「人事」欄に掲載される人物は、関東都督府官吏、満鉄職員、軍人などが主である。記載されるのは、動向だけでなく、役職の異動なども記されているため、いわゆる『職員録』などでは記載されていない内容も含む可能性を有している。

(46) 「商工叢談」は1907年11月6日より掲載が始まり、一日置き程度の間隔で掲載されている。

(47) 犬養の記事は「満洲経営策」『満洲日日新聞』1907年11月23日第3面、藤島了穂の記事は「青年と仏教」『満洲日日新聞』1907年11月22日に、それぞれ掲載されている。

(48) 「英文一口噺」は1907年11月28日第3面より連載が開始される。

この他の連載記事として、第1面に「予の見たる満洲」という満洲の見聞録が掲載されたのと同様に、満鉄沿線各地の文化や風俗などを取材した「南満鉄道案内（南満洲鉄道案内）」が掲載されている⁽⁴⁹⁾。

第3面は紙面構成が4面であった場合は、この面に旅順、大連などの地元ニュースが掲載されている。こちらには、第2面に掲載された地方ニュースとは異なり、旅順、大連に密着した地元ニュースが取り扱われている。

第4面

第4面の紙面はいわば「家庭」欄というべき記事が主となって構成されている。

料理や植物の栽培法、育児の注意点、家庭教育などが取り上げられている。

そして、第1面に「小説」の連載が掲載されているのに対して、第4面には「講談」の連載が掲載されている。

「講談」は1907年の創刊当初においては、第1面に掲載される場合と第4面に掲載される場合があり、必ずしも掲載面が固定されていたとは言えない。講談の掲載面が固定するのは、1908年になってからである。創刊当初において、紙面構成を試行錯誤を繰り返し、その度に掲載面が変更されたと窺える。

また1907年11月12日より「よろづ案内」欄が設けられる。「よろづ案内」においては、「一件三行」と掲載量の制限があり、掲載料として1回「五十銭」が求められた。一般の広告と区別するためか、掲載の条件として「営業用は謝絶す」と定められていた⁽⁵⁰⁾。こちらでは事務職員の求人広告や下宿の斡旋、長唄教室の案内、お見合いの募集などが見受けられ、当時の在満日本人社会の一端を垣間見ることができ、興味深い内容となっている。

第4面は、紙面構成が全4面構成となっていた場合は、最終面となる。その際には、最上段に講談の連載が2段程度の紙面を占めるが、他の記事は掲載されない。

代わって紙面を埋めるのが広告である。講談が掲載された1段目から2

(49) 「南満鉄道案内」は1907年11月15日から連載が開始される。11月26日より記事見出しが「南満洲鉄道案内」と改題される。

(50) 『『よろづ案内欄』を設く』『満洲日日新聞』1907年11月12日第4面。

段目を除く全面が広告となっている。なお、本目録では、広告は採録してはいない。ただし、広告に掲載された企業や広告の掲載料については、簡単ではあるが、後述する。

第5面

第5面には、旅順・大連などの地元のニュースが主に掲載される。

特に特集欄のような見出しは付けられていないが、最上段には大連社会の名士や大連在住の芸能に携わる人物への取材記事などが掲載されている。

この欄において取材された人物として一例を挙げると、1907年11月6日より全4回に渡り石本鑽太郎という人物が、自分の趣味について語っている⁽⁵¹⁾。記事の内容は他愛のないものであるが、石本という人物が取材を受けているという点に着目する。

1915年、旅順・大連に「大連及旅順市規則」が施行され、官選ではあるが選挙による市長選挙が実施される⁽⁵²⁾。その際に初代大連市長となる人物が石本であった。石本は『大連市史』において「市民の自治的公共機関」として大連の行政の一端を担った大連衛生組合の組合長や⁽⁵³⁾、大連日本人社会の冠婚葬祭や住民の親睦を図る組織であった聯合町内会の会長などを務め⁽⁵⁴⁾、日本人社会におけるいわゆる「顔役」的役割を果たした人物であった。日露戦争が終結して間もない1907年の時点において、この後、大連における日本人社会に大きく足跡を残した人物に取材を行っているのである。

1907年という『満洲日日新聞』が創刊された時期は、1906年9月1日に租借地関東州の統治機関である関東都督府が創設され、軍政機関であった関東総督府から平時の組織へと変化していく。さらに1907年には満鉄が開業する。こうした関東州を巡る状況の変化にあわせ、大連の日本人社会も変化していく。石本が、そうした時期に取材を受けていたということ

(51) 石本鑽太郎への取材記事は「銃猟の話」と「釣魚の話」の2つが掲載されている。「銃猟の話」はそれぞれ、1907年11月6日、7日の両日に掲載される。「釣魚の話」については、1907年11月8日、9日に掲載されている。

(52) 前掲『大連市史』351頁。

(53) 前掲『大連市史』336頁。

(54) 前掲『大連市史』339-341頁。

は、日露戦争が終熄し、日本軍が選定した御用商人や、日本人密航者などが蝟集した時期が終わり、関東州への一般の日本人の流入が開始し、大連における日本人社会が、安定化しはじめ、のちにいわゆる「顔役」的な役割を果たす人物が日本人社会に現れはじめたといえるのではないだろうか。在満日本人社会を主な購読者層とする『満洲日日新聞』にとっても、そうした時勢を捉え、取材を行ったのではないだろうか。

第5面には、旅順・大連の地元ニュースや名士への取材などの記事とともに、連載物の記事が掲載される。これは先述した「小説」や「講談」などの文芸作品とは異なり、満洲の日本人に目を向けた、ルポルタージュ的内容となっている。1907年の創刊当初において多く取り扱われた話題は、日本人娼婦の問題であった⁽⁵⁵⁾。

「誘拐されたる婦人の運命」と題したルポルタージュにおいては、関東州に流入する日本人娼婦への救済活動を行った、日本救世軍の活動を取材している⁽⁵⁶⁾。また、「哈爾濱の娘子軍」においては、日本国内から様々な理由で満洲へと渡ってくる日本人娼婦の渡航理由や彼女たちを満洲へと連れ出す業者の手段等が報じられている⁽⁵⁷⁾。

先述したように、第5面は、大連・旅順の地元ニュースが中心となっている。ここで取り上げられる記事のなかには、こうしたルポルタージュ記事と呼応するように、この当時、娼妓や酌婦と呼ばれた女性たちについての事件記事を幾つか見ることができる。こうした記事の内容は、日露戦争以降の日本にとって新開地とでも言うべき大連や旅順などの日本人社会の一端を示したものである。

こうした名士への取材記事や地元ニュース、ルポルタージュ記事などのほかに、第5面には、「興行もの」と題された、当時、関東州にあった「常盤座」や「花月席」などの劇場での演目が掲載されている。大連に暮らした日本人たちの生活史の一部を垣間見ることのできる記事であると思われる。

(55) 倉橋正直『北のからゆきさん』共栄書房、1989年。

(56) 「誘拐されたる婦人の運命」は11月9日から11月12日まで全4回が掲載された(第3回(11月11日)のみ第3面に掲載)。

(57) 「哈爾濱の娘子軍」は11月13日から11月20日まで全8回掲載された。

第6面

第6面は最終面である。この面は広告で埋められている。

先述の通り、本目録には広告は採録してはいない。広告を掲載した企業名や広告料、あるいは企業の所在地等については、簡単にではあるが次節において述べる。ここでは、広告の構成に述べる。

掲載されたものが広告であるため、紙面の内容は毎日変化していく。そのなかで、固定的にほぼ毎日掲載された広告もいくつか存在する。

『満洲日日新聞』に常時掲載されていた企業は約4社である。

最も掲載数が多いのが、日本郵船株式会社大連出張所と大阪商船株式会社大連出張所（現在の商船三井）の2社である。両者とも日本国内と関東州との往來を担う会社であり、広告の内容も旅客船の出航日程を通知するものである。

掲載された航路を見ると日本郵船は大連～神戸航路（門司、宇品経由）と旅順～佐世保航路（長崎経由）、さらに横浜～大沽航路（牛莊、仁川、門司、神戸、四日市経由）を運営している⁽⁵⁸⁾。また、大阪商船は門司、神戸を経由し大阪へ向かう航路を運営していた⁽⁵⁹⁾。

こうした広告は、当時の日本人の移動を考えるための手がかりとなるものであると考える。本目録の採録した時期とは異なるが、一例を挙げると1909年9月に満鉄総裁中村は公の招きによる満洲旅行のために夏目漱石は大連を訪れている。この旅行を記録した紀行文として『満韓ところどころ』があるが、漱石は「鉄嶺丸」という船で神戸から出発したと記述している⁽⁶⁰⁾。先述した「人事欄」を調べると1909年9月8日に「夏目金の助氏（東京朝日新聞記者）」が「鉄嶺丸」で6日に大連を訪れ、ヤマトホテルに投宿したことが報じられている⁽⁶¹⁾。ここから漱石の『満韓ところどころ』の記述がほぼ正確であったことがわかる。さらに、この「鉄嶺丸」という船を商船会社の広告で調べると、先程名前を挙げた大阪商船が神戸発の航路に運用していた船であることがわかる⁽⁶²⁾。大連を訪れた全ての日本人を

(58) 『満洲日日新聞』1907年11月3日第44面。

(59) 『満洲日日新聞』1907年11月8日第6面。

(60) 夏目漱石「満韓ところどころ」『夏目漱石全集7』筑摩書房、1988年、438頁。

(61) 「人事」『満洲日日新聞』1909年9月8日第2面。

(62) 「大阪商船会社汽船出帆」『満洲日日新聞』1909年9月9日第6面。

追跡することは不可能としても、都督府官吏や満鉄職員動きなどを追跡する際の手がかりのひとつとして、こうした広告が役立つものと思われる。

また、大手の商船会社とは別に、満洲を拠点とする客船会社も存在する。松茂洋行がそうした会社であった。松茂洋行は門司行き航路、門司、神戸を經由した大阪航路という日本行き航路と營口行きの航路を運営していた。

続いては広告掲載が多い企業としては、横浜正金銀行大連支店が挙げられる⁽⁶³⁾。横浜正金銀行は創刊号から一貫してほぼ毎日、広告を掲載している。第2面の箇所でも述べたが、『満洲日日新聞』には、横浜正金銀行の為替相場が毎日掲載されている。

周知のように横浜正金銀行は外国為替を取扱う銀行である。日本国内とは異なり、日常的に隣接地域である清朝やロシアとの取引が生じる、在満日本人社会にとっては中心的な金融機関のひとつであるということが出来る。

1907年の広告に名前が挙げられた企業は500社以上ある⁽⁶⁴⁾。これらの大量の広告のなか商船会社3社と横浜正金銀行の合計4社が、恒常的に広告を掲載していた。裏返せば会社としての『満洲日日新聞』にとっては、これらの会社は大広告主であり、安定した広告料を得ることのできる貴重な会社であったといえる⁽⁶⁵⁾。

しかし、こうした大広告主が存在する一方で、日々掲載される広告の大半は、零細な個人経営と思しき会社であった。その多くは、商船会社や横浜正金のように連日広告を掲載していたわけではなく、1、2回掲載したのみのものが主であった。満洲における日本人の経済活動をどの程度、これら広告が反映していたかは、不明であるが、経済活動の一端を知る上で貴重な糸口となるものであると思われる。

(63) 関税取扱所である横浜正金銀行大連支店出張所も同様に毎日、広告を掲載している。

(64) これら広告には、企業が宣伝のために掲載したものと、都督府官吏や満鉄職員などが離任、栄転などの御礼を述べたものや、年末の不在を告げるものなども含まれる。

(65) 満鉄の広告は、「南満洲鉄道株式会社」本社とは別に、営業課や電気係などが広告を掲載している。

4. 『満洲日日新聞』の掲載広告

『満洲日日新聞』に掲載された広告は、既に数度述べている通り、本目録には採録してはいない。そのため、本目録において掲載面の数字が飛んでいる、あるいは頁がないなどの箇所が見られると思われるが、該当頁が全面広告で埋められているため、採録されていないと考えていただきたい。具体的には11月3日の創刊号では、全面広告などが多数掲載されている。また、日常では全4面構成時の第4面のほぼ半分、全6面構成時の第6面などがこれにあたる。

『満洲日日新聞』の広告料

1907年11月4日の欄外に記された広告料の表記によれば、『満洲日日新聞』へ広告を1回掲載する場合は、広告料として「一九字詰一行前金参拾銭」⁽⁶⁶⁾が必要であるとしている。1901年の『朝日新聞』の案内広告の料金が3行で60銭となっている⁽⁶⁷⁾。『満洲日日新聞』が1行単位で広告料を取るのに対して、『朝日新聞』は3行が単位となっており、単純な比較は難しいが、購読料同様にやや割高な料金となっている。

一つひとつの広告が実際にいくら収入であったかは不明ではある。しかし、1907年に掲載された広告の内、毎回内容がほぼ変わらない横浜正金銀行の広告を利用して、試算するとつぎの様になる。

横浜正金銀行の広告は約10行となっている。社名や資本金など大きな活字で印刷されている箇所を仮に2行として計算すると全部で約14行となる。これを上記の広告料で計算すると1回当たりの広告料は約4円20銭となる。仮にこの広告を30日間掲載した場合、約126円の広告収入があったと試算することができる。1907年の高等文官試験に合格した高等官の初任給（月俸）が50円であり⁽⁶⁸⁾、横浜正金銀行が『満洲日日新聞』へ支払った1ヵ月あたりの広告料の概算はその2倍以上となっている。

(66) 『満洲日日新聞』1907年11月4日第4面欄外。

(67) 『案内広告料金』『値段史年表』5頁。

(68) 「公務員の初任給」『値段史年表』67頁。

広告を掲載した会社

1907年に『満洲日日新聞』に広告を掲載した会社・団体は約542団体あった⁽⁶⁹⁾。

先述した通り、540団体以上の広告の中で、掲載数が最も多いのは、日本郵船株式会社大連出張所と大阪商船株式会社大連支店の60回である。つづいて横浜正金銀行大連支店が56回、松茂洋行が45回となっており、これらの会社が上位5社を占めている。(「附録2 『満洲日日新聞』1907(明治40年)年掲載広告主一覧」を参照)

広告の掲載量の内訳を見ると、50回(52～60回)以上広告を掲載させた団体は3つ、20回(20～45回)以上の団体は13個、10回(10～17回)以上の団体が28個、2回(2～9回)以上の会社は200個、1回のみの掲載が293個となっている。1回のみ広告を掲載した団体がほとんどであるといえる。

これらの原因として挙げられるのは、11月3日の創刊号の存在である。先述の通り、創刊号は68頁にわたる大部な構成となっており、その大半が広告であった。1回のみ掲載の団体はほとんどがこの創刊号に載せられたものである。いわば「ご祝儀」的に広告を掲載したものであろうと考えられる。

しかし、こうした広告の中にも注目すべき点がいくつかある。

まず、先述した石本鑽太郎のように後に大連市議会の議員となる人物が経営する会社が、既に広告を掲載しているのである。値賀連法律事務所(値賀連：7回掲載)、菅原工務所(有賀定吉：3回掲載)、扶桑号(上中治：3回掲載)、扇芳亭(岩間芳松：1回)、飯塚工程局(飯塚松太郎：1回)などがそうした会社である。彼等の多くが大連在住の商工業者の団体である大連実業会に所属しており、大連日本人社会において長期的に活動した者たちであった。こうした後の日本人社会を牽引していく人物たちが、日露戦争終結後の大連に現れ、活動を始めていることがわかる。

(69) 印刷の状態で判読できない会社、団体は27団体あり、この数は含めていない。また、これらの広告主には、会社のほかに、民政署、関東都督府電信局や旅順海軍部などといった関東都督府の一部機関や、大連実業会、愛媛県人会、早稲田校友会などといった団体、さらには個人も含まれている。

大連日本人社会に足跡を残す人物が現れていくのと同時に、日露戦争中、軍隊の指名商人として活動していた会社がそのまま大連に残り活動をしていることも広告から読み取ることが出来る。

日露戦争中、遼東半島において軍政を実施した遼東守備軍に指名された会社は、三井物産、大阪商船、宅合名会社、代々木商会、山縣勇三郎、谷元道之の4社、2名であった。この内、『満洲日日新聞』に広告を掲載したのは、大阪商船（掲載回数60回）、三井物産（21回）、宅合名会社（15回）、山縣大連支店（12回）の4つであった。代々木商会、谷元道之に関しては1907年の広告には出てこなかった。

大連の日本人商工業者に日露戦争の名残とも言うべき指名商人が残る一方、日露戦争後に渡航してきた新しい商工業者が現れ始めていたことを示している。

広告を掲載した会社の所在地

最後に、『満洲日日新聞』に広告を掲載した会社や団体、個人の所在地である。

広告には、会社の住所が記載されている。判読不明や住所の記載がない31社を除いた511社はその所在地が読み取ることができる。所在地の算出に関して、関東州や満洲に支店（出張所）を有するが、日本国内に本店を持つものに関しては、すべて支店の所在地に置き換えて換算した。（「附録3 広告掲載会社所在地一覧」を参照）

広告を掲載した企業が最も多い都市は、やはり『満洲日日新聞』の本社が置かれた大連であり、189社（個人、団体を含む）あった。続いて多いのは、日本国内の東京、大阪である。それぞれ70社ずつ掲載されている。

満洲地域で広告を掲載した都市名は、大連を除くと以下の通りである。旅順（51社）、营口（29社）、千金寨⁽⁷⁰⁾（26社）、奉天（10社）、鉄嶺（10社）、遼陽（9社）、撫順（7社：千金寨と合わせると33社）、長春（5社）、哈爾濱（2社）、瓦房店（2社）、大石橋（1社）、満洲里（1社）である。

大連同様に関東州内にある旅順の会社の掲載量が多いというのがわか

(70) 千金寨は撫順の一部ではあるが、掲載された広告では、地名が区別されて扱われているので、分けて算出した。

る。また、これらの地域は、先に『満洲日日新聞』の購読範囲として挙げた地名とほぼ重なる。1907年段階における日本人の活動範囲というものが、広告というものを通しても読み取れるのではないだろうか。

また、広告に掲載された会社の所在地は、満鉄沿線を越えて、哈爾濱や満洲里の会社も広告を載せていることがわかる。広告に掲載された哈爾濱の会社2社は、いずれも旅館業であった。満洲里の会社は「カペルマン製材所」という木材の製材所であった⁽⁷¹⁾。残念ながら日本人が経営している会社であるかは不明であるが、広告の内容から長春を経由して、日本向けの木材販売を行っていた会社のようなのである。1907年段階において、すでに日本人を相手にした会社がロシアとの国境地域にまで及んでいたことがわかる。

次に広告掲載会社の所在地を地域別に分類すると以下の通りとなる。

満洲地域が354社、日本国内が152社、清国が3社、朝鮮が2社となっている。1907年に掲載された全広告の内、約7割が満洲地域の会社であり、3割が日本国内の会社、残りが清国、朝鮮の会社であることがわかる。

日本国内の会社の所在地は、東京(70社)、大阪(70社)、兵庫(4社)、千葉(3社)、神奈川(2社)、群馬(1社)、名古屋(1社)、山口(1社)となっている。

日本国内の会社には、博文館、富山房、春陽堂、丸善といった書店や、山崎帝国堂、太田雪湖堂大薬房、津村順天堂などの製薬会社などが広告を掲載していた。また、『満洲日日新聞』の社主である星野錫が社長を務めた東京印刷株式会社も、1回だけが広告を掲載している。これらの広告には、丸善や津村順天堂(現・ツムラ)、太田雪湖堂大薬房(現・太田胃散)、参天堂薬房(現・参天製薬)など現在も続く企業やその前身となる企業が広告を掲載していた。

清国に所在する企業の所在地は、芝罘が2社、天津が1社となっている。どちらも、渤海湾を距てて、旅順、大連、營口に隣接した地域であり、1858年の天津条約での開港場のひとつでもあり、関東州とも往来があったためであると思われる。

(71) 『満洲日日新聞』1907年11月22日第6面。

朝鮮を所在地とする企業は、鎮南浦に1社、釜山に1社の合計2社である。それぞれ馬場精米所と江口商会煙草製造所という会社である。1907年の『満洲日日新聞』に掲載された広告において、精米を業務とする会社は、確認できた範囲では、この馬場精米所と力武精米所大連支店の2つである。力武精米所の広告を見ると、本店は仁川となっている⁽⁷²⁾。日本人が外地で生活していくうえで欠かせない、主食である米を確保するため、こうした広告が掲載されたのではないだろうか。

『満洲日日新聞』に広告を掲載した会社の所在地は以上のように、日本国内、満洲、清国、朝鮮の4つの地域であった。これらの広告には、台湾を所在地とする会社は含まれていなかった。しかし、広告を調べると、台湾とのつながりを窺わせる広告がある。

1907年11月6日より掲載される「弁護士高野孟矩 弁護士戸口茂里事務所」である⁽⁷³⁾。

高野孟矩とは、1896年に台湾総督府高等法院兼民政局法務部長を兼任した人物である。1897年に乃木希典による人事刷新に伴い、民政部法務部長の職を解かれ、後に高等法院長も非職される。高野の非職は台湾における司法官の進退をめぐる問題として政治問題化していく。高野の非職に抗議し、台湾総督府の司法官数名が辞職している。高野と共に事務所を開いている戸口茂里もかつては新竹地方法院院長を勤めた人物であった⁽⁷⁴⁾。そうした二人が、台湾を離れ関東州で弁護士事務所を営んでいた。日本の外地における人材の移動というものを考える場合、こうした人物は非常に興味深い存在であるといえる。

5. むすびに

以上、1907年における『満洲日日新聞』の購読範囲、紙面構成、広告に関して概要を簡単に述べてみた。

満洲研究において、日本の領事館などが作成した外交文書、満鉄が作成

(72) 『満洲日日新聞』1907年11月5日第6面。

(73) 『満洲日日新聞』1907年11月6日第4面。

(74) 黄照堂『教育社新書〈日本史〉147 台湾総督府』教育社、1981年、70-72頁。

した様々なレポートや報告書、軍人、政治家、官僚などが遺した日記や回顧録など多くの史料が存在する。しかし、そうした記録を残した人々とは異なり、『満洲日日新聞』に記載された記事に取り上げられた人々の大半は、そうした自ら記録を残すことのない、あるいは残す術のない名も無き存在である。外地における日本人の活動を知る上では、そうした名も無き人々の日常を汲み上げることが重要であると思われる。そうした、日常を知る手がかりとして、これらの記事は大いに役立つものと思われる。

最後に、簡単ながら本記事目録の凡例について述べる。

1. 本目録が採録した期間は1907(明治40)年11月3日～12月31日までの約2ヵ月間の朝刊である。
2. 採録範囲は1面から6面までの全ての面である。ただし、新聞のノド(折り込み部分)は、使用したマイクロフィルムにおいて裁断されており判読が難しいため、本目録の対象外とした。また、広告は採録していない。また、使用したマイクロフィルムは、遼寧省図書館、大連図書館に所蔵されている『満洲日日新聞』より作成された、中国经济発展研究所が出版したものである。一部、判読が難しい箇所においては、国立国会図書館が作成した『満洲日日新聞』のフィルムも一部使用した。
3. 『満洲日日新聞』には現在、判明しているところで第1版と第2版が存在する。本目録においては、第1版の記事を採取している。
4. 使用された漢字の旧字体はすべて常用漢字に改めた。また、明らかな誤字に関しては、その文字の直後に「[ママ]」と記入した。印刷やマイクロフィルムのプリントの状態等で判読が不明な箇所には「■」を当てた。
5. 記事の配列は、右端から左端へ、上段から下段への順番で配列している。
6. 採録した記事は、まず、「○○特電」や「雑報」、「家庭」など特集欄を示す見出しを太字の斜体で記し、その後に小見出しを記している。太字斜体の後に小見出しが記されていない場合は、その欄において小見出しが記載されず記事が掲載されている。また、「読者文芸」などで俳句、川柳、漢詩などの投稿が行われているが、これは採録してい

ない。

7. 『満洲日日新聞』には写真や挿絵なども紙面には挿入されているが、使用したマイクロフィルムにおいて、判読が難しかったため、本目録においては採録していない。ただし、小説や講談に付けられた挿絵については、その作者が判る場合は、その文芸作品の著者と併記して記した。
8. 『満洲日日新聞』には、本紙とは別に関東都督府の府報や旅順、大連の民政署の署報などが附録という形で添付されているが、使用したマイクロフィルムには、附録が撮影されていないため、本目録においては採録してはいない。

本目録は1907年11月、12月の約2ヵ月分しか採録していない。今後、さらに記事の採録を行い、より充実した目録としたい。

附録1 『満洲日日新聞』日付・曜日・号数対照表

西暦	清暦			和暦			曜日	号数	頁数	備考
	年	月	日	年	月	日				
1907年	光緒33年	9	28	明治40年	3	日	1	64	天長節(明治天皇)	
			29		4	月	2	4		
			30		5	火	3	6		
			1		6	水	4	6		
			2		7	木	5	6		
			3		8	金	6	6		
			4		9	土	7	6		
			5		10	日	8	6		
			6		11	月	9	4		
		7	12		火	10	6			
		8	13		水	11	6			
		9	14		木	12	6			
		10	15		金	13	6	万寿聖節(西太后)		
		11	16		土	14	6			
		12	17		日	15	6			
		13	18		月	16	4			
		14	19		火	17	6			
		15	20		水	18	6			
		16	21		木	19	6			
		17	22		金	20	6			
		18	23		土	21	6			
		19	24		日	22	4			
		20	25		月	23	4			
		21	26		火	24	6			
		22	27		水	25	6			
		23	28		木	26	6			
		24	29		金	27	6			
		25	30		土	28	6			
		26	1		日	29	6			
		27	2		月	30	4			
		28	3		火	31	6			
		29	4		水	32	6			
		30	5		木	33	6	11月1日		
		2	6		金	34	6			
		3	7		土	35	6			
		4	8		日	36	6			
		5	9		月	37	4			
		5	10		火	38	6	11月6日		
		6	11		水	39	6	11月7日		
		7	12		木	40	6	11月8日		
		8	13		金	41	6	11月9日		
		9	14		土	42	6	11月10日		
		11	15		日	43	6			
		12	16		月	44	4			
		13	17		火	45	6			
		14	18		水	46	6			
		15	19		木	47	6			
16	20	金	48	6						
17	21	土	49	6						
18	22	日	50	6						
19	23	月	51	4						
20	24	火	52	6						
21	25	水	53	6						
22	26	木	54	6						
23	27	金	55	6						
24	28	土	56	6						
25	29	日	57	4						
26	30	月	58	4						
27	31	火	59	4						

清朝の日付に関しては、台湾大学の数位典藏与自動推論實驗室・数位典藏研究發展中心作成による「中西暦対照查詢系統(明代以降)」<http://140.112.30.230/datemap/index.php>を参照した。

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

附録2 『満洲日日新聞』1907（明治40年）年掲載広告主一覧

広告主	掲載回数	所在地	備考
大阪商船株式会社大連支店	60	大連	
日本郵船株式会社大連出張所	60	大連	
横浜正金銀行大連支店	56	大連	
横浜正金銀行大連支店出張所	52	大連	
河辺商店大連出張所松茂洋行	45	大連	
櫻村洋行	43	大連	
南満洲鉄道株式会社	42	大連	
大和商行運輸部	30	大連	
内海歯科医院	28	大連	
馬場精米所	28	韓国鎮南浦	
大神支店	27	大連	
菅原写真館	26	大連	
加藤洋行	25	營口	
山葉洋行	25	大連	舎、土木建築部 商品部 材木部
三井物産合名会社大連出張所	21	大連	
万松号	20	大連	本店は東京
志岐組	20	大連	舎「雜貨部」
德泰号	20	大連	撫順、千金寨に支店
伊勢作洋行	17	大連	奉天・鉄嶺に支店あり
十字堂	17	大連	十字堂写真館と住所はほぼ同じ
庄野支店	17	大連	
鉄嶺日鉄	17	鉄嶺	
山田商店	16	大連	
大吉盛洋行支店	16	大連	
巴城館	16	旅順	
宅合名会社大連支店	15	大連	
小野洋行	14	大連	
小林又七支店	14	大連	
日本ホテル	14	哈爾濱	
回天堂三木大薬房	12	營口	
三越呉服店出張店	12	大連	
參天堂薬房	12	大阪	舎北浜參天堂
山縣大連支店	12	大連	
松田旅館	12	旅順	
肥塚大連支店	12	大連	本社は大阪、鉄嶺に出張所
弁護士高野孟矩 弁護士戸口茂里事務所	12	大連	旅順にも事務所あり
てつや商店	11	大連	本店は大阪
岡山孤児院慈善会事務所	11	大連	
丸善株式会社	11	東京	
金大登洋行	11	大連	
小林一生法律事務所	11	大連	
旅順海軍工作部	10	旅順	
觀看楼	10	旅順	
金華洋行	10	大連	
原田組商業部	10	大連	
三ツ輪商会	10	大連	
杉田写真部	10	大連	
大和屋ホテル	10	長春	
松下商行	9	旅順	
大連ヤマトホテル	9	大連	
中島病院	9	旅順	
東洋旅館	9	哈爾濱	
日本貿易商会	9	大連	
米倉組煙草部	9	大連	
アサヒ軒	8	大石橋	
金丸銃砲店	8	横浜	
カネ米加藤支店	8	大連	

国研紀要 144 (2015.1)

大連実業会	8	大連	
長春満鉄倶楽部	8	長春	
井門洋行	8	遼陽	
塩久呉服店	8	大連	
佐野呉服店	8	大連	
成三商行	8	大連	
定松商会	8	大連	
内外綿株式会社	8	大阪	營口の借家広告
林洋行	8	遼陽	
三星洋行	7	大連	
シンガーミシン会社大連支店	7	大連	
大連民政署	7	大連	
井上売茶部	7	大連	
溝上薬局	7	大連	
松月堂	7	大連	
松村洋行	7	大連	
杉田支店	7	大連	
大連鉄工所	7	大連	
値賀連法律事務所	7	大連	
津村順天堂	7	東京	
兎月質商行	7	大連	
平井工務所	7	大連	
力武精米所大連支店	7	大連	本店は仁川
金城館	6	奉天	
金城ホテル(奉天)	6	奉天	
末永純一郎	6	大連	
野村楼	6	旅順	
豊州館	6	奉天	
遼東新報	6	大連	
合資会社村上海店	6	東京	
山万商店	6	大連	
升木商会	6	大連	
大連ホテル	6	大連	
宅島回漕部	6	旅順	
鉄嶺松茂洋行	6	鉄嶺	
柳生組	6	旅順	
伊勢屋	5	旅順	
バイジス商会	5	芝罘	
満洲日日新聞	5	大連	
森尻商会	5	旅順	
旅順海軍経理部	5	旅順	
愛媛県人懇親会	5	大連	
岡田工務所	5	大連	
関東都督府郵便電信局	5	大連	
丸福号	5	大連	
近江屋呉服店	5	旅順	
御門写真館	5	旅順	
御門商会	5	旅順	
江口公司	5	大連	
高橋病院	5	旅順	
山口材木店	5	長春	
庄村洋行	5	大連	
正隆銀行	5	營口	
西川玉之助	5	旅順	
西野商行	5	旅順	
川久保洋行	5	旅順	
前田硝子店	5	旅順	
村田峰太郎	5	大連	
筑綱屋染工場	5	大連	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

中田商行	5	大連	
島田支店	5	大阪	
日の丸館（料理店）	5	奉天	
日の丸館（旅館）	5	奉天	
日野文平	5	旅順	
能登洋行	5	大連	
野村組	5	旅順	
矢野洋行	5	大連	本店：營口 支店：大連
旅順魚組合	5	旅順	
澤井卸舗	5	大阪	
カペルマン製材所	4	満洲里	
川崎商店	4	大連	
河又本店	4	大阪	
関東婦人会	4	不明	
杉田洋服店	4	大連	杉田写真館と同じ会社と思われる
積文社	4	大阪	
中川洋行	4	大連	
みかどや	4	大連	
阿部野利恭	4	旅順	
塩川商会大連出張所	4	大連	
丸三商店	4	大連	
宮城写真館	4	旅順	
玉や	4	奉天	
金升洋行	4	遼陽	
江森組船舶部	4	大連	
小松屋棉店	4	東京	
小野組	4	大連	
松山商会	4	大阪	
川尻初太郎	4	大連	
船塚商店	4	大連	
東洋木材防腐株式会社	4	大阪	
藤枝大連支店	4	大連	
日露貿易商会	4	長春	
末永純一郎君婦連懇親会	4	大連	
満洲商業株式会社大連支店長 有馬順二	4	大連	
浪華瓦斯器具製作所	4	大阪	
金城ホテル（大連）	3	大連	
藝陽館	3	遼陽	
十字架写真館	3	大連	十字架と住所は同じ
当花亭主人	3	大連	
同仁号	3	大連	
なわや洋行	3	大連	
ねざめ庵	3	大連	
ヒラキ商会支店	3	大連	
弁護士富田省爾	3	大連	
満洲ホテル	3	遼陽	
遼塔ホテル	3	遼陽	
井上鶴商店	3	大阪	
一星社出版部	3	東京	
岡女庵	3	大連	
加藤金物店	3	大連	本店は大阪
株式会社天津泰東同文局	3	天津	
丸吉山口支店	3	大連	
紀の国や	3	大連	
吉川組	3	大連	
吉田洋行	3	大連	
芸備工業組 全柳樹屯出張所	3	旅順	
合資会社富山房	3	東京	
松の家（旅順）	3	旅順	

国研紀要 144 (2015.1)

上中商店	3	大連	
上田商店	3	瓦房店	
菅原工務所遼陽鉄嶺出張所	3	遼陽	
正金銀行頭取高橋男歓迎会	3	大連	
大原商店	3	大連	
大成洋行呉服店	3	大連	
大連商品競売所創立事務所	3	大連	
第二回関東州有志玉突競技大会	3	大連	
藤原商店	3	大連	
徳昌号本店	3	大連	
播磨洋行	3	遼陽	
飯塚松太郎	3	大連	
富永愛生堂薬局	3	旅順	
福正洋行	3	大連	
豊前屋	3	大連	
満洲日報	3	奉天	
矢野忠太	3	大連	
旅順電気作業所	3	旅順	
鈴木呉服店	3	大連	
浪華洋行	3	大連	
伊藤公司	2	大連	
大阪窯業株式会社	2	大阪	
海月	2	旅順	
後藤商店	2	兵庫	
春陽堂	2	東京	
ちゝぶや	2	大阪	
東洋ホテル	2	千金寨	
日本貿易商会	2	大連	
丸越呉服店	2	大連	
三重洋行	2	大連	
當口振商会事務所	2	當口	
岡崎屋書店	2	東京	
角田呉服店	2	大連	
鎌村商会	2	大阪	
久保田歯科医院	2	大連	
京都重藤組出張所	2	大連	
犬塚信太郎	2	大連	
犬養毅氏招待会	2	大連	
湖月商会	2	大阪	
高岡洗濯所	2	大連	
高橋商会	2	大連	高橋商店とも表記
高倉洋行	2	大連	
合資会社有馬組	2	大連	
国光社	2	東京	
山口縫治	2	不明	
山城缶詰株式会社	2	不明	井上売茶部が代理店となる
山田安民薬房	2	東京	
児島支店	2	大連	
芝浦製作所	2	東京	東芝の前身?
松浦屋大連支店	2	大連	
成川魯次郎	2	不明	
正隆銀行大連出張所	2	大連	
浅野長太郎商店	2	大阪	
早稲田校友会	2	大連	
大塚商会石鹸部	2	大阪	
大連水道事務所長 山路魁太郎	2	大連	
大連郵便局	2	大連	
大和屋呉服店	2	群馬	表記は「上野国桐生町」
大和商行	2	大連	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

竹内善次郎	2	東京	
椿本商行	2	大連	
東亜煙草株式会社大連支店	2	大連	
東京西澤商会大連支店	2	大連	
日ノ出洋行	2	大連	
日本車輛製造株式会社	2	名古屋	
日陽商会	2	営口	
白井重次郎	2	大阪	
美濃礪本店	2	東京	
北市支店	2	大連	
本願寺関東別院	2	大連	
友花月	2	大連	
旅順民政署	2	旅順	
路加商会本店	2	大阪	
露西亞町炊事組合事務所	2	大連	
和登商工鉄工部	2	鉄嶺	
■ トイレット商会	1	大阪	
青柳維貞部	1	旅順	
青山染料店	1	東京	
阿川組	1	不明	
浅野大葉房	1	営口	
吾妻家	1	千金寨	
荒川工程局	1	大連	
荒川洋行	1	千金寨	
有明館	1	奉天	
粟谷園茶舗	1	大阪	
安藤洋行本店	1	営口	
イ、エチ、ハンター合名会社	1	大阪	
石川商店	1	大阪	
泉藤本店	1	大阪	
一〇商店	1	大連	
一案	1	千金寨	
伊藤本店輸出部	1	大阪	
井上又三郎	1	大阪	
いろは旅館	1	千金寨	
岩崎呉服店	1	大連	
エース商会	1	大連	
江口商会煙草製造所	1	韓国釜山	
江森組	1	大連	
大井圓右衛門	1	大連	
大阪府民親睦会	1	大連	
大菱商会	1	東京	
岡崎商店	1	大阪	
小笠原洋行	1	営口	
おきな庵	1	大連	
香賞堂	1	東京	
錦木商店ワイシャツ部	1	神奈川	
神尾光臣	1	不明	
木村ワイケー商会	1	大阪	
玉宝堂	1	東京	
金城ホテル（営口）	1	営口	
隈亀組	1	千金寨	
グロウス商会	1	東京	
広告社	1	東京	
児島商会	1	旅順	
児島商会	1	旅順	
小林政治本店	1	大阪	
近藤商会	1	千金寨	
桜田洋行	1	撫順	

三直商店	1	東京	
三光堂大阪支店	1	大阪	
四国洋行	1	撫順	
島田洋服店	1	奉天	
白石洋行	1	旅順	
駸々堂絵はがき部	1	大阪	
杉浦儉一	1	不明	
須原屋書店	1	東京	
政教社	1	東京	
千賀洋行	1	奉天	
泰山洋行	1	千金寨	
高倉洋行	1	大連	
高橋真盛堂	1	大連	
高松洋行	1	鉄嶺	
宝田洋行	1	營口	
竹嶋証吉商店	1	大阪	
田中邦造	1	不明	「在大阪」とある
田中玄番	1	千葉	
ダルマヤ宝順堂	1	東京	
タロウス商会	1	東京	
辻呉服店	1	營口	
鶴屋	1	千金寨	
東亜公司	1	不明	上海、漢口などに支店
東亜同文会編纂局	1	東京	
東京印刷株式会社	1	東京	
東京かつらや	1	東京	
同文館	1	東京	
特許消火器百工商会	1	東京	
日升洋行	1	鉄嶺	
中村村司	1	東京	
南山軒	1	撫順	
南文蔵商業部	1	東京	
西川商会	1	東京	
西川甚五郎支店	1	大阪	
日◎商会	1	營口	
日宗生命代理店	1	奉天	仏教系生命保険会社
日昇館	1	奉天	
日清館	1	奉天	
日東洋行	1	千金寨	
日本国民中學會	1	東京	
日本電報通信社	1	東京	電通の前身か？
日本売薬株式会社	1	東京	
橋下商会	1	東京	
橋本清商店	1	大阪	
服部富三郎商店	1	大阪	
花屋旅館	1	大連	
濱口合名会社	1	千葉	
葉山電気商会	1	大阪	
速水鉄工所	1	大阪	
判官三好一八君送別会	1	大連	
火倉書店	1	東京	
日野商会	1	千金寨	
平井洋服店	1	不明	
平野商店	1	東京	
広信洋行	1	營口	
藤田盛大堂	1	大連	
伏田鉄工所	1	大阪	
藤間洋行	1	千金寨	
藤飯洋行	1	營口	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

撫順館	1	撫順	
普通文官養成学会	1	東京	
フロームスキー	1	大連	
堀内商会千金賽出張所	1	千金賽	
舞鶴館	1	千金賽	
前沢商行	1	大連	
前田呉服店	1	千金賽	
松月堂薬房	1	千金賽	
松の家（大連）	1	大連	
丸万	1	千金賽	
満韓塩業株式会社	1	東京	
満韓公司	1	大阪	
満洲煉瓦株式会社	1	東京	
みかどホテル	1	不明	神戸のミカドホテルか？
光村合資会社	1	大阪	本社は東京
みやこ勸商場	1	大連	
村井洋行	1	奉天	
初山書店	1	東京	
山崎帝國堂	1	東京	
山田徳太郎	1	不明	
山本玉川堂	1	東京	
山陽館	1	千金賽	
弥生倶楽部	1	鉄嶺	
旅順協会	1	旅順	
旅順ホテル	1	旅順	
早稲田大学出版部	1	東京	
逢阪巖	1	旅順	
伊原商店	1	大阪	
伊藤電線工場	1	東京	
伊藤泰山堂	1	大阪	
伊藤卓馬	1	不明	
一ノ瀬支店	1	大連	
宇都宮回漕店	1	東京	
営口水道電気株式会社	1	営口	
栄昌洋行	1	大連	
奥村呉服店	1	大連	
岡本宇宙館	1	営口	
岡本藤祐商店	1	大阪	
荻野洋行	1	千金賽	
下村呉服店	1	東京	
嘉納治郎右衛門大阪支店	1	大阪	
華信洋行	1	芝罘	旅順、大連にも店舗
菓子舗花月堂	1	瓦房店	
開國堂	1	大連	
株式会社川崎造船所	1	兵庫	
株式会社大阪活版製造所	1	大阪	
丸山舎書籍部	1	東京	
丸山清次郎	1	大連	
喜久洋行	1	営口	
喜多商行	1	奉天	
紀阪洋行	1	営口	
吉野又四郎	1	不明	満鉄工作課長
久保口節卸製造工場	1	大阪	
共同運輸商会	1	大阪	
橋本写真館	1	旅順	
金水商会	1	旅順	
金露商会	1	旅順	
桑嶋館	1	大連	
月島電機工作所	1	東京	

国研紀要 144 (2015.1)

後藤旅館	1	兵庫	
光明社	1	大阪	
広進舎	1	大阪	
弘報堂	1	東京	
荒川隆二郎	1	大阪	
高橋盛大堂薬局	1	大阪	
高坂大連支店	1	大連	
高松号	1	鉄嶺	
高島洋服店	1	旅順	
合資会社商船組	1	大阪	
合資会社全勝堂	1	大阪	
合資澤井組	1	不明	
合田玉吉	1	奉天	
佐藤吉太郎	1	旅順	
佐藤友熊	1	不明	大連民政署長
榊原文■堂	1	東京	
三井洋行	1	不明	三井物産？
三七商会	1	鉄嶺	
三省堂器械標本部	1	東京	
三船写真館	1	営口	
三友洋行	1	営口	
山陽楼	1	千金寨	
私立公済病院	1	撫順	
糸平公司	1	営口	
鹿島組	1	不明	鹿島建設？
七嘉洋行	1	旅順	
柴長大連支店	1	大連	
小川	1	大連	
小樽木材株式会社大連出張所	1	大連	
小島洋行	1	奉天	
小野市兵衛	1	大阪	
松下善四郎	1	大阪	
松島商店	1	大連	
松尾橋郎	1	東京	
賞文館	1	東京	
鐘淵紡績株式会社営業部	1	東京	
森川印刷所	1	大阪	
神戸高尾組事務所	1	旅順	
杉井組	1	不明	
菅原工務所	1	不明	
生島嘉久次郎	1	大阪	
西本印字局	1	営口	
西本組	1	不明	
扇芳亭	1	大連	
泉作出張所	1	大阪	
浅草軒	1	大連	
染谷合名会社出張所	1	大連	
太田雪湖堂大薬房	1	東京	現在の太田胃散
大原洋行	1	営口	
大高金網商会	1	大阪	
大阪屋号	1	営口	奉天、鉄嶺、遼陽にそれぞれ支店
大倉土木組	1	不明	
大谷藤七旅順支店	1	旅順	
大塚洋行	1	千金寨	
大東大薬房	1	東京	
大日本製糖株式会社	1	東京	東京、大阪、福岡、台湾に工場
大日本麦酒株式会社	1	東京	
大連芸妓検番	1	大連	
大和屋ホテル	1	長春	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

第一勇楼	1	大連	
瀧口鉄工所	1	大阪	
辰馬半右衛門	1	兵庫	
谷口組	1	旅順	
谷直諒	1	不明	
筑紫館	1	千金寨	
筑紫館販売部	1	千金寨	
中外広告株式会社	1	不明	
中村直吉	1	不明	
朝日屋	1	営口	『満洲日日新聞』の代理店
津守商会本店	1	山口	
鶴見鎮	1	不明	
帝国通信合資会社	1	東京	
鉄谷商会	1	大連	
鉄嶺ホテル	1	鉄嶺	
田中銀行	1	東京	
田中治兵衛商店	1	大阪	
田中鉄工所	1	大阪	
田邊医院	1	大連	
東亜洋行	1	奉天	
東京博文館	1	東京	
東光堂	1	東京	
東三洋行	1	奉天	
東清洋行	1	鉄嶺	
東瀛大薬房	1	営口	
藤井カバ一合資会社	1	大阪	
藤原商店出張所詰所	1	旅順	
日の丸商会	1	千金寨	
日進商会	1	大阪	
日本食塩コークス株式会社大連支店	1	大連	
巴ホテル	1	不明	
馬場洋行	1	奉天	
発動機製造株式会社	1	大阪	
飯塚工程局	1	大連	経営者は飯塚松太郎
磐城ホテル	1	大連	
肥筑洋行	1	千金寨	
桧尾長命堂	1	大阪	
武井洋行	1	大連	
福森本店	1	大阪	
福島写真館	1	撫順	
平尾初五郎	1	東京	
平本洋行	1	奉天	
並木支舗	1	大連	
米田洋行出張所	1	不明	
米田洋行精肉販売部	1	不明	
宝門洋行	1	営口	
宝丹本舗	1	東京	
本願寺遼陽出張所	1	遼陽	
本舗山崎愛国堂薬房	1	東京	
満洲印刷所	1	大連	
満洲新報社	1	営口	
満洲仏教青年会	1	大連	
満洲貿易株式会社	1	大連	
満盛工程局	1	不明	
明治軒牛乳店	1	大連	
明治書院	1	東京	
明石屋靴店	1	東京	
明石商店	1	旅順	
茂木佐平治	1	千葉	

柳瀬商会	1	大阪	
友田商舗	1	大阪	
有馬組	1	大連	本店は東京、大石橋、遼陽などに支店
有明堂書店	1	東京	
陸田金次郎	1	大阪	
立野洋行	1	不明	
旅順本願寺	1	旅順	
遼東ホテル	1	撫順	
遼東公司出張所	1	千金寨	
遼東病院	1	旅順	
鈴木写真館	1	營口	
和田竹商会	1	大阪	
瀋陽館	1	奉天	
(社名不明)	27	-	印刷不鮮明につき判読不能なもの

出典：『満洲日日新聞』1907年11月3日～12月31日の広告欄。

掲載回数は、広告一つに対して1回として数えた。同一日に複数の広告を掲載した場合も掲載回数に応じて、数えている。

所在地は広告に掲載された住所を基に判断した。なお、本店が別があり、大連、旅順に支店が有る場合は、支店の所在地として数えている。

附録3 広告掲載会社所在地一覧

所在地	会社数(社)	
満洲	大連	189
	旅順	51
	營口	29
	千金寨	26
	奉天	22
	鉄嶺	10
	遼陽	9
	撫順	7
	長春	5
	哈爾浜	2
	瓦房店	1
	大石橋	1
満洲里	1	
清国	芝罘	2
	天津	1
朝鮮	鎮南浦	1
	釜山	1
日本	大阪	69
	東京	11
	兵庫	4
	千葉	3
	神奈川	2
	群馬	1
	名古屋	1
山口	1	
不明	31	
合計	総数	481
	満洲	353
	日本	92
	清国	3
	朝鮮	2

出典：『満洲日日新聞』1907年11月3日～12月31日掲載広告
 なお、個人の広告はこの表では数えていない

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

満洲日日新聞1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
□1907年11月3日/明治四十年十一月三日/光緒三十三年九月二十八日/日曜日/通巻第1号/朝刊/版ナシ/全64面					
1	11/03	1	発刊之辞	満洲日日新聞社社長 森山守次	
2	11/03	1	本誌重要目録		
3	11/03	1	竹柏漫吟	佐佐木信綱	
4	11/03	1	天長節の歌		
5	11/03	2	祝詞	外国語学校長 文学博士 高楠順次郎	
6	11/03	2	祝詞	外務省 政務局長 山座園次郎	
7	11/03	2	祝詞	中田敬義	
8	11/03	2	祝詞	三橋横浜市長	
9	11/03	2	祝詞	大谷嘉兵衛	
10	11/03	2	祝詞	貴族院議員 小松原英太郎	
11	11/03	2	揮毫(伊藤侯爵)		
12	11/03	2	祝詞	荘田平五郎	
13	11/03	2	祝詞	三井物産理事 朝吹英二	
14	11/03	2	揮毫(桂侯爵)		
15	11/03	2	祝詞	第十五銀行頭取 男爵 園田孝吉	
16	11/03	2	祝詞	第百銀行頭取 池田謙三	
17	11/03	2	祝詞	日本郵船会社社長 近藤慶平	
18	11/03	2	祝詞	日本郵船会社副社長 加藤正義	
19	11/03	2	祝詞	大倉喜八郎	
20	11/03	2	祝詞	東京商業会議所会頭 中野武堂	
21	11/03	2	祝詞	貴族院議長 徳久恒範	
22	11/03	2	祝電	日本銀行総裁 松尾臣善	
23	11/03	2	祝電	横浜正金銀行頭取 高橋是清	
24	11/03	2	祝電	興業銀行総裁 添田寿一	
25	11/03	2	祝電	興業銀行副総裁 佃一豫	
26	11/03	2	祝電	男爵 洪沢栄一	
27	11/03	2	揮毫(曾根子爵)		
28	11/03	2	祝電	三井銀行理事 早川千吉郎	
29	11/03	2	祝電	梅浦清一	
30	11/03	2	祝電	牟田口元学	
31	11/03	2	祝電	東洋汽船会社社長 浅野総一郎	
32	11/03	2	祝電	田畑健造	
33	11/03	2	祝電	東京電灯会社社長 佐竹作太郎	
34	11/03	2	過ぎし八年(寄吐虹)	夏秋亀一	
35	11/03	2	眼中細屑		
36	11/03	2	秋季雜吟(虚子選)		
37	11/03	2	秋高馬肥	閑堂ノ山	
38	11/03	3	対満私見	伯爵 大隈重信	
39	11/03	3	新聞業苦楽の弁	倉辻白蛇	
40	11/03	3	揮毫(山縣公爵)		
41	11/03	3	満洲経綸の枢軸地	国府犀東	
42	11/03	3	揮毫(松方侯爵)		
43	11/03	3	植民地経営の第一義	吉武源五郎	
44	11/03	4	新聞紙の努力	円城寺清	
45	11/03	4	帝国の対清策	高木信成	
46	11/03	4	枯柳旖旎	梵天王	
47	11/03	4	俳諧小話	虚子	
48	11/03	4	高調低話	規矩郎	
49	11/03	4	沼の姫	与謝野鉄幹	
74	11/03	9	祝詞	南満洲鉄道会社総裁 後藤新平	
75	11/03	9	満洲開発	松井柏軒	
83	11/03	11	新家庭	山本柳葉	小説
84	11/03	11	おもひで	■子	
89	11/03	12	自然興会	齋藤吊花	
90	11/03	12	書	内藤鳴雪	
91	11/03	12	天長節の朝	銀葉	
98	11/03	14	馬賊	児玉花外	
99	11/03	14	東都芸談	岡鬼太郎	
100	11/03	14	新しき努力	規生	
101	11/03	14	鬼面唾話	木兵衛	
107	11/03	15	自炊	三島霜川	小説
114	11/03	17	満洲日日新聞の発刊を祝す	朝比奈知泉	
115	11/03	17	無題録	白水生	
117	11/03	18	満洲史乘の研究と其効果	稲葉碧山	
118	11/03	18	一点の光明	水星	
128	11/03	20	勇敢	徳田秋声	小説
129	11/03	20	悲劇的国民(文学上から見たる露西亜奇蹟)	昇 曙夢	

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
130	11/03	20	秋二句	丙午生	
132	11/03	21	講談 百万両宝の入り船	東京 邑井一 講演	講談
133	11/03	22	講談 百万両宝の入り船(つづき)	東京 邑井一 講演	講談
142	11/03	23	小説 道すがら	海賀愛哲	小説
143	11/03	23	胡笳夷笛		
147	11/03	25	記者足下	鳥谷部春汀	
148	11/03	25	新聞の進歩	森次太郎	
150	11/03	26	婦人の職業とは何の意か	日本女子商業学校学長 喜悅孝子	
151	11/03	26	家庭料理	成女学校 ■ 津川千代子	
154	11/03	27	落語 滑稽義士伝 三村次郎左衛門	三遊亭園遊 演	落語
155	11/03	28	落語 滑稽義士伝 三村次郎左衛門(つづき)	三遊亭園遊 演	落語
156	11/03	28	猫	大倉桃郎	
157	11/03	28	新聞	門外漢	
160	11/03	30	流行の色と模様	東京三越呉服店員 談	
161	11/03	30	最新の流行物	東京白木屋店員 談	
162	11/03	30	歌四首	与謝野晶子	
163	11/03	30	流行の縮緬と刺繍模様	東京神田松屋呉服店員 談	
164	11/03	30	流行婦人用装飾品	東京玉宝堂店員 談	
168	11/03	33	祝辞	海軍中将 男爵 橋元正明	
169	11/03	33	祝辞	海軍少将 瀧川興和	
170	11/03	33	日本紡績業と滿洲貿易	原田光次郎	
171	11/03	33	偶成	社内 担齋	
211	11/03	41	祝辞	関東都督府陸軍参謀長 陸軍少将 神尾光臣	
212	11/03	41	祝辞	吉林領事 島川毅三郎	
213	11/03	41	祝辞	長春領事 柴田要次郎	
214	11/03	41	祝辞	營口領事 窪田文三	
215	11/03	41	祝詞	在安東領事 岡部三郎	
216	11/03	41	祝詞	遼陽副領事 速水一孔	
217	11/03	41	祝詞	鉄嶺副領事 天野恭太郎	
218	11/03	41	祝詞	■■■■居留民会役所理事 北村文徳	
219	11/03	41	鴨緑江水運問題	上村瀧浪	
220	11/03	41	無罪言	齋川逸民	
228	11/03	42	恭賀	奉天巡撫 唐紹儀 電祝	
229	11/03	42	恭祝	会稽 陶大均 題	
230	11/03	42	所謂滿洲の経営	黒田甲子郎	
231	11/03	42	大連繁栄策	三木一川	
232	11/03	42	滿洲鎖談	一記者	
233	11/03	42	魅咒魅詛	■■■■■	
234	11/03	42	祝滿洲日日新聞発刊	■城 平■貞	
235	11/03	42	祝滿洲日日新聞発刊	如林 上野庄五郎	
248	11/03	44	政界の暗流	覆面武者	
249	11/03	44	速に土地買下げ規則を改正すべし	足利太郎	
250	11/03	44	一清庵之話	一清道人	
253	11/03	45	にこりぞめ	青眼■	
254	11/03	45	清人と刑罰	■浪々客	
255	11/03	45	口頭語	王秋哉	
256	11/03	45	名所菊	三神歌州	
268	11/03	46	貨物運搬 宇都宮回漕店		
269	11/03	47	一の字	山田旭南	
270	11/03	47	神宮の歌	夢郷	
271	11/03	47	奉祝天長節	■■■■ほか	
280	11/03	49	祝辞	関東都督府民政長官 中村是公	
281	11/03	49	祝辞	奉天総領事 加藤本四郎	
282	11/03	49	祝辞	横浜正金銀行大連支店支配人 長■■郎	
283	11/03	49	祝電	奉天学■■公所 前田岩吉	
284	11/03	49	滿洲日日新聞社長に寄するの書	村井啓太郎	
290	11/03	50	政界時言	切水軒	
291	11/03	50	「ゆく春」の記	哲羊生	
292	11/03	50	茗香	ち■のうら人	
293	11/03	50	月の須磨	■子	
294	11/03	50	秋八月	蒼川	
307	11/03	51	出稼人(上)	窪田空穂	
321	11/03	57	社説 大連の貿易		社説
322	11/03	57	混血を奨励せよ		
323	11/03	57	切水録		
324	11/03	57	■■■■五行文■■■■■	三神歌州	
325	11/03	57	謹謝読者		
326	11/03	57	滿洲雜詠	肋骨	
327	11/03	57	世界異聞		
328	11/03	57	漂泊(一の一)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
329	11/03	58	京城特電 二日京城特派員発		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
330	11/03	58	楊枢氏		特電(京城)
331	11/03	58	桂侯帰朝		特電(京城)
332	11/03	58	東京特電 二日東京特派員発		
333	11/03	58	宮内省官制改正		特電(東京)
334	11/03	58	予算会議		特電(東京)
335	11/03	58	筑波と千歳		特電(東京)
336	11/03	58	西比利亜地方の不穏革命的爆発の為		特電(東京)
337	11/03	58	麦価騰貴		特電(東京)
338	11/03	58	大島都督		特電(東京)
339	11/03	58	後藤総裁		特電(東京)
340	11/03	58	土耳其斯坦の大地震		特電(東京)
341	11/03	58	暴動鎮定		特電(東京)
342	11/03	58	タフト氏		特電(東京)
343	11/03	58	新師団長		特電(東京)
344	11/03	58	外人記者の招待		特電(東京)
345	11/03	58	雑報		
346	11/03	58	都督府と外交権		
347	11/03	58	都督府の大淘汰		
348	11/03	58	民政署変更		
349	11/03	58	民政署長任命		
350	11/03	58	判官の罷免		
351	11/03	58	旅順漁業採■区域決定		
352	11/03	58	宮口と秦王島[ママ]		
353	11/03	58	密輸入銃器事件		
354	11/03	58	満鉄の経済法制調査		
355	11/03	58	満鉄の貯金規程		
356	11/03	58	満鉄と寝台列車会社との交渉		
357	11/03	58	橋樑仲仕の解雇		
358	11/03	58	日本食糧■ ■ ■ ■		
359	11/03	58	漢字新聞発刊		
360	11/03	58	道台送迎会		
361	11/03	58	留別会		
362	11/03	58	経済小評		
363	11/03	58	風声雨声		
364	11/03	58	天長節諸会		
365	11/03	58	都督府と天長節祝典		
366	11/03	58	人事		
367	11/03	59	營口に於ける金融並に度量衡概見	深水静	
368	11/03	59	後れたる滿洲経営	奉天 逸民	
369	11/03	59	比律賓の貿易(一)	上田黒潮	
370	11/03	59	天津通信	長風生	
371	11/03	59	安東県通信		
372	11/03	59	奉天通信		
373	11/03	60	美術造花術(一)	大日本婦人技芸会会長 錦島晴袋装	連載
374	11/03	60	家庭小話 新しいそつ物語(一)	須磨の浦人	連載(小説)
375	11/03	60	雑録		
376	11/03	60	爺(上)	山本露葉	連載(小説)
377	11/03	60	露国小説 屍体(一)	露国ゴーリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
378	11/03	61	宮本二刀伝(一)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
379	11/03	61	舟の日	小林院香	
380	11/03	61	短歌	米田苔山	
381	11/03	61	祝句	■ ■ ■ ■	
439	11/03	63	金髪夜叉(一)		連載
440	11/03	63	本社創業披露会		
441	11/03	63	満鉄と祝賀余興		
442	11/03	63	婦女誘拐の悪漢		
443	11/03	63	營城子の殺人		
444	11/03	63	芸妓と角力の取組		
445	11/03	63	留守宅を脅かした罪		
446	11/03	63	小人玉を抱いて罪あり		
447	11/03	63	小崗子付近の物騒		
448	11/03	63	大清潔法と種痘執行		
449	11/03	63	退清処分を受く		
450	11/03	63	薩摩守取押へらる		
451	11/03	63	盗むで草の中に隠す		
452	11/03	63	眼色の変つた酌婦		
453	11/03	63	大阪相撲の興行		
454	11/03	63	内地雑聞		
455	11/03	63	資産家の娘が万引き		内地雑聞
456	11/03	63	全身黒焦となる		内地雑聞
457	11/03	63	狂人火を放つ		内地雑聞

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
458	11/03	63	泥棒と同食		内地雑聞
459	11/03	63	殿下へ献上上の楽器		内地雑聞
□1907年11月4日/明治四十年十一月四日/光緒三十三年九月二十九日/月曜日/通巻第2号/朝刊/版ナン/全4面					
1	11/04	1	社説 速に上海航路を開始すべし		社説
2	11/04	1	対々評言		
3	11/04	1	切水録(二)		
4	11/04	1	文芸募集		
5	11/04	1	■■■■五行文■■■■		
6	11/04	1	満洲雑詠	肋骨	
7	11/04	1	漂泊(一の二)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
8	11/04	2	東京特電 二日特派員発		
9	11/04	2	東京の天長節		特電(東京)
10	11/04	2	京城特電 二日特派員発		
11	11/04	2	皇太子の遊学期		特電(京城)
12	11/04	2	遼陽特電 二日常置員発		
13	11/04	2	第十師団歓迎会		特電(遼陽)
14	11/04	2	雑録		
15	11/04	2	都督府の拝賀式		雑報
16	11/04	2	民政部の拝賀		雑報
17	11/04	2	民政部の拝賀式		雑報
18	11/04	2	都督府開兵式		雑報
19	11/04	2	警務署の焼燭		雑報
20	11/04	2	都督帰期未定		雑報
21	11/04	2	戦跡視察と謝状		雑報
22	11/04	2	満鉄叢報		
23	11/04	2	汽車時間の改正		満鉄叢報
24	11/04	2	奉天満鉄公所		満鉄叢報
25	11/04	2	決算出来		満鉄叢報
26	11/04	2	長春ホテル		満鉄叢報
27	11/04	2	建築材料運搬		満鉄叢報
28	11/04	2	小蒸気の注文		満鉄叢報
29	11/04	2	満鉄バンド		満鉄叢報
30	11/04	2	遼陽と營口のホテル		満鉄叢報
31	11/04	2	露国の極東徴兵命令		
32	11/04	2	浦塩付近の支那苦力		
33	11/04	2	■■鉄道の収入		
34	11/04	2	門司通信 特置員報		
35	11/04	2	対外的門司下関		通信(門司)
36	11/04	2	対清貿易		通信(門司)
37	11/04	2	対韓貿易		通信(門司)
38	11/04	2	虎疫と門司		通信(門司)
39	11/04	2	浅野セメント拡張		通信(門司)
40	11/04	2	鉄嶺通信		
41	11/04	2	経済小評		
42	11/04	2	天長節雑観		
43	11/04	2	風声雨声		
44	11/04	2	万国聯合会社		
45	11/04	2	祝電		
46	11/04	2	本日の紙面四頁		
47	11/04	2	本紙付録(府報第百四十七号を添ふ)		
48	11/04	3	宮本二刀伝(二)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
49	11/04	3	雑報		
50	11/04	3	天長節祝賀犬運動会		
51	11/04	3	天長節の賑ひ		
52	11/04	3	蝦蟇道楽		
□1907年11月5日/明治四十一年十一月五日/光緒三十三年九月三十日/火曜日/通巻第3号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/05	1	社説 清人銀行の設立を奨励すべし		社説
2	11/05	1	反省を促がす		
3	11/05	1	満洲日報停止願末書の発表		
4	11/05	1	切水録(三)		
5	11/05	1	世界叢刊		
6	11/05	1	文芸募集		
7	11/05	1	読者文欄 五行文		
8	11/05	1	頓悟	■■ 酔仲仕	
9	11/05	1	秋雑吟	星天楼	
10	11/05	1	漂泊(■) (一の三)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
11	11/05	2	東京特電 四日特置員発		
12	11/05	2	議会召集内定		特電(東京)
13	11/05	2	露国総選挙		特電(東京)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
14	11/05	2	佐世保特電 四日特置員弁		
15	11/05	2	虎刺刺発生		特電(佐世保)
16	11/05	2	雑報		
17	11/05	2	露国寺院引渡		雑報
18	11/05	2	高等官会議		雑報
19	11/05	2	■■■■債権取締		雑報
20	11/05	2	旅順の新水源		雑報
21	11/05	2	軍票未回収高		雑報
22	11/05	2	第十師団の駐屯期		雑報
23	11/05	2	露商の防寒具買入		雑報
24	11/05	2	露国陸軍新募兵		雑報
25	11/05	2	東清鉄道運費割引		雑報
26	11/05	2	関東地境談判		雑報
27	11/05	2	二年兵役令発布		雑報
28	11/05	2	■■兵馬賊の衝突		雑報
29	11/05	2	露西亜町区号改正		雑報
30	11/05	2	旧庶務課の事務		雑報
31	11/05	2	旅順の日本橋		雑報
32	11/05	2	手荷物■■■■		雑報
33	11/05	2	旅順の清潔法		雑報
34	11/05	2	警務課の異動		雑報
35	11/05	2	民政部宿舍移動期		雑報
36	11/05	2	大連商品陳列館残務		雑報
37	11/05	2	■代同志会発会式		雑報
38	11/05	2	第一艦隊航程		雑報
39	11/05	2	白玉山の埋骨式		雑報
40	11/05	2	営口競馬会株式募集		雑報
41	11/05	2	台湾彩票の廃止		雑報
42	11/05	2	移住民の増加		雑報
43	11/05	2	鉄嶺の天長節		雑報
44	11/05	2	萩原総領事の満洲談		雑報
45	11/05	2	経済小評		雑報
46	11/05	2	風声雨声		雑報
47	11/05	2	集会		
48	11/05	2	人事		
49	11/05	2	船客往来		
50	11/05	3	家庭		
51	11/05	3	美術造花術(二)	大日本婦人技芸会長 錦島晴袈袋	連載
52	11/05	3	訪問談 露国革命談	法学士 夏秋亀一 談	
53	11/05	3	雑報		
54	11/05	3	比律賓の貿易(二)		
55	11/05	3	小説 龍 (中)	山本露葉	連載(小説)
56	11/05	3	屍体[ママ]	露国ゴーリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
57	11/05	3	正金銀行為替相場		
58	11/05	4	宮本二刀伝(三)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
73	11/05	5	金髮夜叉(二)		連載
74	11/05	5	疑似虎烈刺患者?		
75	11/05	5	母親の注意		
76	11/05	5	棧橋の短銃騒ぎ		
77	11/05	5	自称ハイカラ紳士の自■		
78	11/05	5	何方もお目出度い		
79	11/05	5	無心言ふのが癖		
80	11/05	5	逢坂町だより		
81	11/05	5	驚いて又肩が■■■		
82	11/05	5	誘拐された女の始末		
83	11/05	5	■治郎は注意して読め		
84	11/05	5	逢坂町の賑ひ		
85	11/05	5	真夜中の大連	■■■	
86	11/05	5	東西南北		
□1907年11月6日/明治四十年十一月六日/光緒三十三年十月一日/水曜日/通巻第4号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/06	1	社説 其志を戒む		社説
2	11/06	1	哈爾濱経営方針		
3	11/06	1	桂侯危篤の報		
4	11/06	1	雑録		
5	11/06	1	切水録(四)		
6	11/06	1	読者文欄 五行文		
7	11/06	1	文芸募集		
8	11/06	1	文苑		
9	11/06	1	世界畫聞		
10	11/06	1	漂泊(四) (二の一)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
11	11/06	2	東京特電 五日特派員発		
12	11/06	2	皇太子殿下		特電(東京)
13	11/06	2	新男爵親授		特電(東京)
14	11/06	2	予算と閣議		特電(東京)
15	11/06	2	馬関特電 五日特派員発		
16	11/06	2	桂侯危篤		特電(門司)
17	11/06	2	營口特電 五日特派員発		
18	11/06	2	滿洲日報の引揚		特電(營口)
19	11/06	2	雑報		
20	11/06	2	露国海軍大計画		雑報
21	11/06	2	卑爾泰鉄道敷設費		雑報
22	11/06	2	露国兵員召集免除		雑報
23	11/06	2	大連衛生事業の拡張		雑報
24	11/06	2	電鉄敷設と計画調査		雑報
25	11/06	2	小学校の増設の必要		雑報
26	11/06	2	旅順の下水工事		雑報
27	11/06	2	土地家屋私下発表期		雑報
28	11/06	2	安奉線収入金輸送法		雑報
29	11/06	2	清吏の教育風俗調査		雑報
30	11/06	2	露国鉄道建設予算会議		雑報
31	11/06	2	警務署員更迭		雑報
32	11/06	2	青木大佐の帰朝		雑報
33	11/06	2	入港船の注意		雑報
34	11/06	2	農業試験場試料		雑報
35	11/06	2	金剛の巡航		雑報
36	11/06	2	渤海丸の終航		雑報
37	11/06	2	北京近信		
38	11/06	2	鉄嶺通信		
39	11/06	2	哈爾浜通信		
40	11/06	2	加藤韓国顧問		
41	11/06	2	村松總兵大佐		
42	11/06	2	久能砲兵大佐		
43	11/06	2	商工人名録の編集		
44	11/06	2	経済小評		
45	11/06	2	風声雨声		
46	11/06	2	人事		
47	11/06	2	やまとホテル宿泊氏名		
48	11/06	2	社告 (七日より奉天及營口に新支局開設)		社告
49	11/06	2	本日付録 府報第七十七号を添ふ		附録
50	11/06	3	家庭		
51	11/06	3	美術造花術(三)	大日本婦人技芸会長 鍋島晴裂嬢	連載
52	11/06	3	雑報		
53	11/06	3	比律賓の貿易(三)		
54	11/06	3	京奉鉄道貨率		
55	11/06	3	商工叢談		
56	11/06	3	棉花の話		
57	11/06	3	屍体(三)	露国ゴリキヤ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
58	11/06	3	出稼人(下)	窪田空穂	
59	11/06	3	正金銀行為替相場		
60	11/06	4	宮本二刀伝(四)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
61	11/06	4	一口断		
62	11/06	4	東西南北		
80	11/06	5	銃狼の話	石本鎮太郎氏 談	
81	11/06	5	黄菊白菊 農事試験場の丹精		
82	11/06	5	又又疑似虎列刺発生す		
83	11/06	5	湖月の徳栄逃げる		
84	11/06	5	酌婦を連出して宿屋住居		
85	11/06	5	内地雑聞		
86	11/06	5	不埒なる日本人		
87	11/06	5	飲むと盗み度いが癖		
88	11/06	5	靴が無いとて乱暴		
89	11/06	5	日本水兵の割盗		
90	11/06	5	支那人のゴソゴソ		
91	11/06	5	十月中の伝染病患者数		
92	11/06	5	大連来往数		
93	11/06	5	大阪大相撲		
94	11/06	5	花月席の新築		
95	11/06	5	馬車人力車の検査		
96	11/06	5	興行もの		
97	11/06	5	流行の洋服		
98	11/06	5	金髪夜叉(三)		連載

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
□1907年11月7日/明治四十年十一月七日/光緒三十三年十月二日/木曜日/通巻第5号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/07	1	社説 果樹園栽培の奨励		社説
2	11/07	1	雑録		
3	11/07	1	切水録(五)		
4	11/07	1	文芸募集		
5	11/07	1	文苑		
6	11/07	1	世界叢聞		
7	11/07	1	漂泊(五) (二の二)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
8	11/07	2	東京特電 六日特派員発		特電(東京)
9	11/07	2	新授爵説		特電(東京)
10	11/07	2	馬関特電 六日特置員発		特電(門司)
11	11/07	2	桂侯の症状		特電(門司)
12	11/07	2	雑録		
13	11/07	2	露国新市街建設企画		雑報
14	11/07	2	満鉄の附属地経営		雑報
15	11/07	2	満鉄の半期成績		雑報
16	11/07	2	大連旅順間の複線		雑報
17	11/07	2	那桐氏の書		雑報
18	11/07	2	対間島政策の一変		雑報
19	11/07	2	新黒岡鉄道の敷設		雑報
20	11/07	2	警務課人員の異動		雑報
21	11/07	2	大連の貯蓄機関		雑報
22	11/07	2	守備兵警乗と馬賊		雑報
23	11/07	2	吉林の馬賊猖獗		雑報
24	11/07	2	山東鉄道事情		雑報
25	11/07	2	露兵■に庫倫へ入る		雑報
26	11/07	2	平南鉄道の布設		雑報
27	11/07	2	東清鉄道の貨物吸収数		雑報
28	11/07	2	烏鉄の本年上半期収入		雑報
29	11/07	2	蒙古を省と為すの議		雑報
30	11/07	2	薩符軍の帰任		雑報
31	11/07	2	白玉山納骨祠の祭典		雑報
32	11/07	2	第二十四回勸業債券売出		雑報
33	11/07	2	旅費規則改正		雑報
34	11/07	2	龍岩浦航路の終航		雑報
35	11/07	2	風声雨声		
36	11/07	2	集会		
37	11/07	2	人事		
38	11/07	2	本日附録(府報第百七十八号を添ふ)		附録
39	11/07	3	家庭		
40	11/07	3	美術造花術(四)	大日本婦人技芸会長 錦島晴裂装	連載
41	11/07	3	訪問		
42	11/07	3	大連の将来	米国大使館一等書記官 水野幸吉氏 談	
43	11/07	3	露国革命談(二)	法学士 夏秋亀一氏 談	
44	11/07	3	雑録		
45	11/07	3	比律賓の貿易(四)		
46	11/07	3	屍体(四)	露国ゴーリキヤ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
47	11/07	3	爺(下)の一	山本露葉	連載(小説)
48	11/07	4	宮本二刀伝(五)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
49	11/07	4	東西南北		
50	11/07	4	川柳 読者文欄 毎日募集		
51	11/07	4	一口噺		
57	11/07	5	銃狼の話(つづき)	石本鎮太郎氏 談	
72	11/07	5	婦人流行の冬物(三越呉服店)		
73	11/07	5	老鉄山近付[ママ]の難破船		
74	11/07	5	ジャンク難破す		
75	11/07	5	不親切な旅館叱る		
76	11/07	5	大石橋の汽車泥棒		
77	11/07	5	梅毒を苦にして給死す		
78	11/07	5	駆落者の遣り損ね		
79	11/07	5	東洋軒のおしげ		
80	11/07	5	女髪結説論を受く		
81	11/07	5	薄情な男説論を受く		
82	11/07	5	魚貝野菜類の相場		
83	11/07	5	金利のゴタゴタ		
84	11/07	5	弟の行方を探す		
85	11/07	5	清国人の行倒れ		
86	11/07	5	英国水夫脱走す		
87	11/07	5	満鉄宿舎のボヤ		
88	11/07	5	料理店組合の評議		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
89	11/07	5	興行もの		
90	11/07	5	内地雜聞		
□1907年11月8日/明治四十年十一月八日/光緒三十三年十月三日/金曜日/通巻第6号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/08	1	社説 満鉄附屬地の経営(上)		社説
2	11/08	1	増税する勿れ		
3	11/08	1	雑録		
4	11/08	1	行雲流水		連載
5	11/08	1	文芸募集		
6	11/08	1	文苑		
7	11/08	1	読者文欄 五行文		
8	11/08	1	宮本二刀伝(六)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
9	11/08	1	小説 漂泊 記事の都合により休載		
10	11/08	2	東京特電 七日東京特員員発		
11	11/08	2	御遷啓奉迎準備		特電(東京)
12	11/08	2	親操武官入京		特電(東京)
13	11/08	2	烏港特電 六日特員員発		
14	11/08	2	暴動後の烏港		特電(ウラジオストク)
15	11/08	2	鉄嶺特電 七日特員員発		
16	11/08	2	交代軍歓迎準備		特電(鉄嶺)
17	11/08	2	高橋男爵歓迎会		特電(鉄嶺)
18	11/08	2	雑報		
19	11/08	2	満洲鉱山問題		雑報
20	11/08	2	土地料金の徴収(露国時代売買下の)		雑報
21	11/08	2	郵便問題落着		雑報
22	11/08	2	浦塩暴動詳報		雑報
23	11/08	2	台湾の鉄道		雑報
24	11/08	2	露国鉄道新計画		雑報
25	11/08	2	昨日の風雪と鉄道		雑報
26	11/08	2	台湾彩票前途		雑報
27	11/08	2	赤十字病院の引継		雑報
28	11/08	2	鉄嶺大豆の出荷		雑報
29	11/08	2	河北停車場の修築		雑報
30	11/08	2	満韓実業協会設立		雑報
31	11/08	2	北京短信		
32	11/08	2	夏軍門の謁見		短信(北京)
33	11/08	2	倫貝子の東渡		短信(北京)
34	11/08	2	資政院の増員		短信(北京)
35	11/08	2	松岡外事課長送別会		
36	11/08	2	安東県航路終航		
37	11/08	2	高等官会議		
38	11/08	2	公主嶺の病院設備		
39	11/08	2	十月中營口大豆輸出数營口[ママ]		
40	11/08	2	中央試験場移転期		
41	11/08	2	暴風雨警戒解除		
42	11/08	2	千金業建設事務所廃止		
43	11/08	2	營口大豆豆粕概況		
44	11/08	2	経済小評		
45	11/08	2	風声雨声		
46	11/08	2	人事		
47	11/08	2	本日附録(府報第百七十九号を添ふ)		附録
48	11/08	3	家庭		
49	11/08	3	家庭小話 新しいそつぶ物語(二)	須磨の浦人	連載(小説)
50	11/08	3	調査		
51	11/08	3	自本年七月至九月 関東州漁況		
52	11/08	3	東洋各港近事		
53	11/08	3	東京特信 十一月二日 特派員発		
54	11/08	3	雑録		
55	11/08	3	物故名士の面影(一)	黒頭巾	連載
56	11/08	3	屍体(五)	露国ゴーリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
57	11/08	4	爺(下)の二	山本露葉	連載(小説)
58	11/08	4	寿座素人評		
59	11/08	4	東西南北		
66	11/08	5	釣魚の話	石本鏡太郎氏 談	
67	11/08	5	千代田丸沈没す		
68	11/08	5	小蒸気と帆船の遭難		
69	11/08	5	降雪と寒気		
70	11/08	5	玉の助泣いて断はる		
71	11/08	5	家賃二十四円を猫■にす		
72	11/08	5	甘言を以て婦女を誘ふ		
73	11/08	5	支那人二人苦めらる		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
74	11/08	5	不正の旅館告発さる		
75	11/08	5	婦女誘拐者取押へらる		
76	11/08	5	強盗と硝子窓の注意		
77	11/08	5	寒気と氣管支加答児		
78	11/08	5	豚の迷い児		
79	11/08	5	満鉄宿舍の出火に就て		
80	11/08	5	第一勇傑の祝相撲		
81	11/08	5	松茸の缶詰発売		
82	11/08	5	内地雜聞		
83	11/08	5	興行もの		
84	11/08	5	旅順の大相撲		
85	11/08	5	羽織と長襦袢と帯		
□1907年11月9日/明治四十年十一月九日/光緒三十三年十月四日/土曜日/通巻第7号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/09	1	社説 満鉄附屬地の経営(下)		社説
2	11/09	1	黒竜鉄道の敷設		
3	11/09	1	発明の歌		
4	11/09	1	読者文欄 五行文		
5	11/09	1	文苑		
6	11/09	1	宮本二刀伝(七)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
7	11/09	1	小説 漂泊 記事の都合により休載		
8	11/09	2	東京特電 七日特置員発		
9	11/09	2	元老院会議		特電(東京)
10	11/09	2	大博覧会敷地		特電(東京)
11	11/09	2	タフト氏		特電(東京)
12	11/09	2	為替取扱中止		特電(東京)
13	11/09	2	若槻財務官		特電(東京)
14	11/09	2	加奈陀農務大臣		特電(東京)
15	11/09	2	米大使の新披露		特電(東京)
16	11/09	2	タフト氏と米紙		特電(東京)
17	11/09	2	米大使の総裁訪問		特電(東京)
18	11/09	2	軍旗親授		特電(東京)
19	11/09	2	祝民政長言		特電(東京)
20	11/09	2	外務省予算		特電(東京)
21	11/09	2	■■整理案の提出		特電(東京)
22	11/09	2	遣米艦隊		特電(東京)
23	11/09	2	門司特電 七日特置員発		
24	11/09	2	皇太子殿下		特電(門司)
25	11/09	2	鉄嶺特電 八日特派員発		
26	11/09	2	高橋是清男		特電(鉄嶺)
27	11/09	2	雑報		
28	11/09	2	家屋貸下諸規定		雑報
29	11/09	2	軍票銀券流通高		雑報
30	11/09	2	欧州行小包郵便		雑報
31	11/09	2	齊々哈爾清軍反乱		雑報
32	11/09	2	北京短信		
33	11/09	2	ハート氏の辞職		短信(北京)
34	11/09	2	丁振鐸等の加街[ママ]		短信(北京)
35	11/09	2	陰昌の弁解的訓示		短信(北京)
36	11/09	2	奉天の銀貨発行		
37	11/09	2	支那村落の焼払		
38	11/09	2	營口の自治制施行		
39	11/09	2	競売地区払下規則		
40	11/09	2	新任駐露清国公使の動静		
41	11/09	2	長春に於ける高橋男		
42	11/09	2	村松領事の着任		
43	11/09	2	東洋語学校の授校学生		
44	11/09	2	程巡撫の胸暇療養		
45	11/09	2	巴府の陸軍建築事業		
46	11/09	2	■■兵軍団の清語試験		
47	11/09	2	藤田組の阿里山森林事業		
48	11/09	2	叙任及辞令		
49	11/09	2	哈爾浜の温度		
50	11/09	2	平壤無煙炭の試売		
51	11/09	2	電信尚不通		
52	11/09	2	寛城子宣教師大会		
53	11/09	2	大風雪と營口		
54	11/09	2	市内の金融		
55	11/09	2	近江丸の門司寄港復旧		
56	11/09	2	減員と警察事務		
57	11/09	2	経済小評		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
58	11/09	2	風声雨声		
59	11/09	2	人事		
60	11/09	3	雑報		
61	11/09	3	皇孫殿下御近状		
62	11/09	3	調査		
63	11/09	3	関東州の産金地		
64	11/09	3	雑録		
65	11/09	3	物故名士の面影(二)	黒頭巾	連載
66	11/09	3	関西の最近経済界 十一月三日大阪特派員発		
67	11/09	3	家庭		
68	11/09	3	家庭小話 新しいそつぶ物語(三)	須磨の浦人	連載(小説)
69	11/09	3	商工叢談		
70	11/09	3	紡績の話(上)		商工叢談
71	11/09	3	屍体(六)	露国ゴリキイ傑作 明石奇筆訳	連載(小説)
72	11/09	3	物価一斑 十一月八日 朽網商店		
73	11/09	4	省日記(一)	丙午生	連載(小説)
74	11/09	4	川柳 読者文芸		
89	11/09	5	釣魚の話	石本鎮太郎氏 談	
90	11/09	5	千代田丸浮揚らむ		
91	11/09	5	支那ジャンクの遭難		
92	11/09	5	徳栄仁川にて捕はる		
93	11/09	5	流行の男物		
94	11/09	5	ダイナマイトの泥桶捕まる		
95	11/09	5	飛むだ拾ひ物して困る		
96	11/09	5	抛り出された迷ひ釣婦		
97	11/09	5	遭難漁船救助さる		
98	11/09	5	居住届と注意		
99	11/09	5	鉄嶺丸の虎列刺患者		
100	11/09	5	柳行李のまは誰か		
101	11/09	5	秋季種痘の延期		
102	11/09	5	材木から大目玉		
103	11/09	5	内地雑聞		
104	11/09	5	旅順の大相撲		
105	11/09	5	農行もの		
106	11/09	5	誘拐されたる婦人の運命 《救世軍婦人救護所の現況》		連載
□1907年11月10日/明治四十年十一月十日/光緒三十三年十月五日/日曜日/通巻第8号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/10	1	社説 現時の中央政界	在京長星	社説
2	11/10	1	賞と罰		
3	11/10	1	予の見たる満洲 「興味ある冬の満洲」	遼東豚	連載
4	11/10	1	文苑		
5	11/10	1	漂泊(六)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
6	11/10	2	倫敦特電 八日発電		
7	11/10	2	総選挙の結果		特電(ロンドン)
8	11/10	2	北京特電 八日特置員発		
9	11/10	2	穀類の輸出		特電(北京)
10	11/10	2	京城特電 八日特置員発		
11	11/10	2	皇儲遊学期		特電(京城)
12	11/10	2	東京特電 八日特置員発		
13	11/10	2	五日の予算会議		特電(東京)
14	11/10	2	門司特電 八日特置員発		
15	11/10	2	桂侯軽快		特電(門司)
16	11/10	2	營口特電 八日(不通常着)支局発		
17	11/10	2	清商の差押		特電(營口)
18	11/10	2	難破船と溺死者		特電(營口)
19	11/10	2	公主嶺特電 八日特置員発		
20	11/10	2	出火		特電(公主嶺)
21	11/10	2	雑報		
22	11/10	2	境界問題交渉進歩(間島問題と租借地境界)		雑報
23	11/10	2	為替取扱中止に就て		雑報
24	11/10	2	東清沿線探炭条約条件		雑報
25	11/10	2	露国寺院運付打合会		雑報
26	11/10	2	直轄病院と赤十字病院		雑報
27	11/10	2	新邱炭鉱の価値		雑報
28	11/10	2	松花江流域の商業(外国人商業の現状)		雑報
29	11/10	2	大連衛生組合組織変更		雑報
30	11/10	2	旅順の本社披露会		雑報
31	11/10	2	長春官煙専売所の拡張		雑報
32	11/10	2	松岡外事課長の帰朝		雑報
33	11/10	2	久保田警務課長の巡視		雑報
34	11/10	2	高橋男の長春再来		雑報

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
35	11/10	2	新民知府の更任		
36	11/10	2	無煙火柴の焼棄		
37	11/10	2	駅留置車輛の保安方		
38	11/10	2	自働電話設置		
39	11/10	2	芝罘通信 十一月七日	■生	
40	11/10	2	出稼労働者の帰来		通信(芝罘)
41	11/10	2	錢舖の繁忙と一般商業		通信(芝罘)
42	11/10	2	何道台の帰任		通信(芝罘)
43	11/10	2	天長節の盛況		通信(芝罘)
44	11/10	2	撫順短信		
45	11/10	2	千金楽の初音		短信(撫順)
46	11/10	2	河相工学士		短信(撫順)
47	11/10	2	中島局長送別会		短信(撫順)
48	11/10	2	瓦房店短信		
49	11/10	2	中村警部の着任		短信(瓦房店)
50	11/10	2	新旧警部の送迎会		短信(瓦房店)
51	11/10	2	社宅の修繕工事		短信(瓦房店)
52	11/10	2	商況一斑		短信(瓦房店)
53	11/10	2	營業種別		短信(瓦房店)
54	11/10	2	經濟小評		
55	11/10	2	風声雨声		
56	11/10	2	本日附録(府報号外を添へたり)		附録
57	11/10	3	南滿鉄道案内(一)	井田子	連載
58	11/10	3	東京特電 三日特派員発		
59	11/10	3	屍体(七)	露国ゴリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
60	11/10	3	思潮一斑		
61	11/10	3	家庭		
62	11/10	3	家庭小話 新一そつぶ物語(四)	須磨の浦人	連載(小説)
63	11/10	3	読者の紙面		
64	11/10	3	鉄道員と禁酒	し、ち、	読者の紙面
65	11/10	3	為替相場 十一月九日		
66	11/10	3	宿泊氏名 十一月九日		
67	11/10	3	社告 (副刊号録附録の増刷)		社告
68	11/10	4	宮本二刀伝(八)	邑井一 講演 山中古河 挿画	連載(請談)
69	11/10	4	雀日記(二)	丙午生	連載(小説)
72	11/10	5	誘拐される婦人の運命(二) (救世軍婦人救済会現況)		連載
73	11/10	5	漁船覆没す		
74	11/10	5	開城丸強風に逢ふ		
75	11/10	5	暴風雨と人命救助		
76	11/10	5	妻子を忘れた大工		
77	11/10	5	女房に逃げらる		
78	11/10	5	大連迄大きに御苦勞		
79	11/10	5	自暴を起こして詐偽を働く		
80	11/10	5	千勝館勝次の思案投首		
81	11/10	5	稼業替へは泥棒		
82	11/10	5	巡捕の真似して尻を叩かる		
83	11/10	5	友人の金を猫ばゞにする		
84	11/10	5	酔ふて苦力を撰る		
85	11/10	5	■品を捨てて逃げる		
86	11/10	5	大切な物を落す		
87	11/10	5	酌婦お灸をすえられる		
88	11/10	5	内地雜聞		
89	11/10	5	興行もの		
□1907年11月11日/明治四十年十一月十一日/光緒三十三年十月六日/月曜日/通巻第9号/朝刊/版ナン/全4面					
1	11/11	1	社説 露国議会の形勢		社説
2	11/11	1	韓国皇儲御遊学		
3	11/11	1	被誘拐の婦人		
4	11/11	1	予の見たる滿洲[ママ](二) 「我帝国の威信を代表するものは何物ぞ」	遠東豚	連載
5	11/11	1	物故名士の面影(三)	黒頭巾	連載
6	11/11	1	文苑		
7	11/11	1	世界畫聞		
8	11/11	1	漂泊(七)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	11/11	2	桑港特電 (九日発電)		
10	11/11	2	比島海軍根拠地		特電(サンフランシスコ)
11	11/11	2	銀行利子引止		特電(サンフランシスコ)
12	11/11	2	東京特電 (十日発電)		
13	11/11	2	外国武官の注意		特電(東京)
14	11/11	2	都督総裁の訪問		特電(東京)
15	11/11	2	特旨叙位		特電(東京)

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
16	11/11	2	营口特電 (十日発電)		
17	11/11	2	市場稍々静謐		特電(营口)
18	11/11	2	鉄嶺特電 (十日発)		
19	11/11	2	交代軍の歓迎会		特電(鉄嶺)
20	11/11	2	撫順特電 (十日発電)		
21	11/11	2	高橋男往来		特電(撫順)
22	11/11	2	雑報		
23	11/11	2	日清郵便問題経過		雑報
24	11/11	2	官有地 ■■■ 貸付内規(当事者に下せる内調)		雑報
25	11/11	2	タフト氏の帰路確定		雑報
26	11/11	2	徴税問題と徐総督		雑報
27	11/11	2	民政部庶務課規定改正		雑報
28	11/11	2	客貨取扱開始		雑報
29	11/11	2	松花江流域の商業(承前) (外国人商業の現状)		雑報
30	11/11	2	埠頭待合所新設		雑報
31	11/11	2	奉天通信 八日 奉天支局発		
32	11/11	2	初雪と電報不通		通信(奉天)
33	11/11	2	英国領事館祝賀		通信(奉天)
34	11/11	2	高橋男一行通過		通信(奉天)
35	11/11	2	高橋副総裁と感謝状		通信(奉天)
36	11/11	2	安東師団長の來奉		通信(奉天)
37	11/11	2	警務所移庁式		通信(奉天)
38	11/11	2	营口金融界の大恐慌(豪商東盛和の閉店詳報)		
39	11/11	2	曹民の北滿移住中止		
40	11/11	2	鉄嶺に於ける高橋男		
41	11/11	2	朝鮮氏の大連輸入		
42	11/11	2	奉天総督衙門の竣工期		
43	11/11	2	黒龍鉄道と山東苦力		
44	11/11	2	遼陽の道路改修工事		
45	11/11	2	大阪商船の北清航路変更		
46	11/11	2	東蒙匪徒の猖獗		
47	11/11	2	芝罘通信 十一月八日 ■■■ 生		
48	11/11	2	梁総弁の死去と其影響		通信(芝罘)
49	11/11	2	英商コルナへの氏永眠		通信(芝罘)
50	11/11	2	駐青島露領事の赴任		通信(芝罘)
51	11/11	2	林公使歓迎準備		
52	11/11	2	千金賽電報敷及料金		
53	11/11	2	遼陽の電話工費		
54	11/11	2	仲仕苦力合宿所新設		
55	11/11	2	経済小評		
56	11/11	2	風声雨声		
57	11/11	2	宿泊氏名 十一月十日		
58	11/11	3	宮本二刀伝(九)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
59	11/11	3	雑報		
60	11/11	3	風流鳥城燒		
61	11/11	3	千代田丸浮揚は今日?		
62	11/11	3	脱走水兵取押へらる		
63	11/11	3	虫の宜い願書		
64	11/11	3	酌婦を立かず泥棒		
65	11/11	3	清人博徒捕はる		
66	11/11	3	十月中警務課事故		
67	11/11	3	粵の浦一行帰阪す		
68	11/11	3	興行もの		
69	11/11	3	東西南北		
70	11/11	3	誘拐されたる婦人の運命(三) (概む可き実例の一)		連載
□1907年11月12日/明治四十年十一月十二日/光緒三十三年十月七日/火曜日/通巻第10号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/12	1	論説 増裕する勿れ	蒼川	論説
2	11/12	1	日清郵便問題		
3	11/12	1	東盛和氏の破産		
4	11/12	1	予の見たる滿洲(三)「我帝國の威信を代表するものは何物ぞ(承前)」	遼東豚	連載
5	11/12	1	実業百家短評(一) 男爵洪沢栄一		
6	11/12	1	読書文芸 五行文		
7	11/12	1	文苑		
8	11/12	1	漂泊(八)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	11/12	2	烏港特電 (十一日発)		
10	11/12	2	米相到着期		特電(ウラジオストク)
11	11/12	2	東京特電 (十一日発)		
12	11/12	2	英皇の御誕辰		特電(東京)
13	11/12	2	台湾追加予算案		特電(東京)
14	11/12	2	近衛將校の特別供奉		特電(東京)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
15	11/12	2	大演習と各大臣		
16	11/12	2	為替取引中止は誤伝		
17	11/12	2	門司特電（十一日発）		
18	11/12	2	御見舞品下賜		特電（門司）
19	11/12	2	奉天特電（十一日発）		
20	11/12	2	米国総領事出発		特電（奉天）
21	11/12	2	汽車運転復旧		特電（奉天）
22	11/12	2	雑報		
23	11/12	2	東清鉄道社線連絡		雑報
24	11/12	2	借款問題と浙人の激昂		雑報
25	11/12	2	満鉄の時間改正		雑報
26	11/12	2	旅大広軌運転期		雑報
27	11/12	2	露国の東洋航路		雑報
28	11/12	2	徐総督の北滿視察		雑報
29	11/12	2	台湾の鉄道ホテル		雑報
30	11/12	2	芝罘本年の柞蚕繭		雑報
31	11/12	2	門司通信（六日発 特置員報）		
32	11/12	2	桂侯の病態		通信（門司）
33	11/12	2	長き思召と見舞状		通信（門司）
34	11/12	2	鉄嶺丸の虎疫		通信（門司）
35	11/12	2	門司の石炭		通信（門司）
36	11/12	2	門司の金融界		通信（門司）
37	11/12	2	満洲の酒と煙草（烏港を経て輸入したる）		
38	11/12	2	護照の不便と其改正		
39	11/12	2	避難韓民保護の誤伝		
40	11/12	2	満洲大官称呼の廃止		
41	11/12	2	満鉄の旅順ホテル		
42	11/12	2	定期船発着時間変更		
43	11/12	2	独逸砲艦の入港		
44	11/12	2	千金寨の郵便取扱数		
45	11/12	2	経済小評		
46	11/12	2	風声雨声		
47	11/12	2	在港船舶 十一月十一日		
48	11/12	2	出入船舶 十一月十一日		
49	11/12	2	荷役船舶 十一月十一日		
50	11/12	2	埠頭集散貨物 十一月九日		
51	11/12	2	為替相場 十一月十一日		
52	11/12	3	南滿鉄道案内(二)	井田子	連載
53	11/12	3	商工叢談		
54	11/12	3	紡績の話(下)		
55	11/12	3	物吉[ママ]名士の面影(三)[ママ]	黒頭巾	連載
56	11/12	3	慰勞一班		
57	11/12	3	家庭		
58	11/12	3	家庭小話 新しいそつぶ物語(五)	須磨の浦人	連載(小説)
59	11/12	3	屍体(八)	露国ゴーリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
60	11/12	4	宮本二刀伝(十)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
61	11/12	4	雀日記(三)の二	丙午生	連載(小説)
62	11/12	4	「よるづ案内欄」を説く		
63	11/12	4	よるづ案内		
68	11/12	5	大連屠獸場(経営は当地の大和商行)		
69	11/12	5	男に馬鹿にされて弱る		
70	11/12	5	扇芳亭萬治の大痛事		
71	11/12	5	豹婦狐様には好かれる		
72	11/12	5	不埒なる料理店主の申込		
73	11/12	5	危ない処を押へらる		
74	11/12	5	遙に東京から捜査願		
75	11/12	5	泥棒と言はれて乱暴		
76	11/12	5	支那人を馬鹿にする野郎		
77	11/12	5	実兄から捜査願		
78	11/12	5	主人の金を使ひ込む		
79	11/12	5	苦力誤つて負傷す		
80	11/12	5	検印を紛失す		
81	11/12	5	旅順玉突き競技会		
82	11/12	5	光岡市作の公判開廷		
83	11/12	5	料理店組合に就て		
84	11/12	5	当地演芸界の景気		
85	11/12	5	日本勳員の支那娼家		
86	11/12	5	興行もの		
87	11/12	5	内地雑聞		
88	11/12	5	誘拐されたる婦人の運命(四) (悲惨なる豹婦等の実例)		連載

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
□1907年11月13日/明治四十年十一月十三日/光緒三十三年十月八日/水曜日/通巻第11号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/13	1	論説 博物館を設立せよ	一清先生	論説
2	11/13	1	林有造氏と林友幸伯		
3	11/13	1	雑報		
4	11/13	1	予の見たる満洲[ママ](四)「南満洲と開墾事業」	遼東豚	
5	11/13	1	物古[ママ]名士の面影(四)[ママ]	黒頭巾	連載
6	11/13	1	実業百家短評(二) 益田孝氏		
7	11/13	1	文苑		
8	11/13	1	漂泊(九)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	11/13	2	東京特電 (十二日発)		
10	11/13	2	行幸		特電(東京)
11	11/13	2	議会開会		特電(東京)
12	11/13	2	御親電		特電(東京)
13	11/13	2	元老大臣会議		特電(東京)
14	11/13	2	満洲興業会社解散		特電(東京)
15	11/13	2	紐育特電 (十一日発)		
16	11/13	2	金融緩和		特電(ニューヨーク)
17	11/13	2	桑港市長		特電(ニューヨーク)
18	11/13	2	香港特電 (十二日発)		
19	11/13	2	独逸勢力伸張		特電(香港)
20	11/13	2	營口特電 (十二日発)		
21	11/13	2	破産後報		特電(營口)
22	11/13	2	高橋頭取		特電(營口)
23	11/13	2	長春特電 (十一日発)		
24	11/13	2	新旧領事		特電(長春)
25	11/13	2	鉄嶺特電 (十一日発)		
26	11/13	2	安東師団長		特電(鉄嶺)
27	11/13	2	烏港特電 (十一日発)		
28	11/13	2	露国議院		特電(ウラジオストク)
29	11/13	2	警戒尚厳		特電(ウラジオストク)
30	11/13	2	タフト氏		特電(ウラジオストク)
31	11/13	2	雑報		
32	11/13	2	大連市の海運		雑報
33	11/13	2	満鉄と清商との懇話		雑報
34	11/13	2	埠頭の近況		雑報
35	11/13	2	寺院引渡の延期		雑報
36	11/13	2	衛生組合評議員会		雑報
37	11/13	2	滿鉄叢報		
38	11/13	2	改造二等車		滿鉄叢報
39	11/13	2	北公園の水滑		滿鉄叢報
40	11/13	2	洗濯部の穿井		滿鉄叢報
41	11/13	2	旅順のホテル		滿鉄叢報
42	11/13	2	温室の竣成		滿鉄叢報
43	11/13	2	鉄道、ホテル案内記		滿鉄叢報
44	11/13	2	火災取締の訓諭		滿鉄叢報
45	11/13	2	金銀換算率変更		滿鉄叢報
46	11/13	2	鉄嶺通信		
47	11/13	2	高橋男の来着		通信(鉄嶺)
48	11/13	2	交代軍隊歓迎会		通信(鉄嶺)
49	11/13	2	鉄嶺の商況		
50	11/13	2	東洋拓殖会社組織		
51	11/13	2	満洲と火災保険		
52	11/13	2	滿鉄株主総会		
53	11/13	2	寛城子駅延長運転		
54	11/13	2	海底電線の修復		
55	11/13	2	高橋男爵歓迎会		
56	11/13	2	東盛和氏破産影響		
57	11/13	2	海運の盛況		
58	11/13	2	遺骨の取纏		
59	11/13	2	佐世保の小演習		
60	11/13	2	ニコリスク軍団の動揺		
61	11/13	2	経済小評		
62	11/13	2	風声雨声		
63	11/13	2	人事		
64	11/13	2	集会		
65	11/13	2	在港船舶 十一月十二日		
66	11/13	2	出入船舶 十一月十二日		
67	11/13	2	荷役船舶 十一月十二日		
68	11/13	2	埠頭集散貨物 十一月十日		
69	11/13	2	漂泊氏名 十一月十一日		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
70	11/13	3	南満鉄道案内(三)	井田子	連載
71	11/13	3	調査		
72	11/13	3	四十上半期満洲の流通貨幣		調査
73	11/13	3	商行叢談		
74	11/13	3	柞蚕の話(上)		商行叢談
75	11/13	3	思潮一斑		
76	11/13	3	大連公学堂		
77	11/13	3	屍体(八)	露国ゴーリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
78	11/13	3	為替相場 十一月十二日		
79	11/13	3	社告 ■■■■		社告
80	11/13	4	宮本二刀伝(十一)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
81	11/13	4	雀日記(五)の二	丙午生	連載(小説)
82	11/13	4	「よるづ案内欄」を設く		
83	11/13	4	よるづ案内		
90	11/13	5	大連屠獸場(続)		
91	11/13	5	旅順の刃傷		
92	11/13	5	他人の女屋に客を取せる		
93	11/13	5	腕の速い婆ア仲屋		
94	11/13	5	勘定高い瓦房店の酌婦		
95	11/13	5	寿座のそき		
96	11/13	5	家賃を踏倒して逃る		
97	11/13	5	喰ひ逃げ押らる		
98	11/13	5	岡山孤兒院の幻灯会		
99	11/13	5	鳥渡散歩に往つてました		
100	11/13	5	酒の上から喧嘩		
101	11/13	5	雇人二千元を扱帶す		
102	11/13	5	車夫大目玉を喰はさる		
103	11/13	5	成三洋行の新荷到着す		
104	11/13	5	興業もの		
105	11/13	5	内地雜聞		
106	11/13	5	哈爾濱の娘子軍(一)		連載
□1907年11月14日/明治四十年十一月十四日/光緒三十三年十月九日/木曜日/通巻第12号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/14	1	社説 銀塊下落の大連に及ぼす影響		社説
2	11/14	1	露国議會開会		
3	11/14	1	雜錄		
4	11/14	1	予の見たる満洲(五) 「南満洲と開墾事業(つゞき)」	遼東豚	連載
5	11/14	1	物古[ママ]名士の面影(五)[ママ]	黒頭巾	連載
6	11/14	1	実業百家短評(三) 中野武營氏		
7	11/14	1	読者文芸		
8	11/14	1	漂泊(十)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	11/14	2	東京特電 (一三日発)		
10	11/14	2	大島都督		特電(東京)
11	11/14	2	後藤総裁の招宴		特電(東京)
12	11/14	2	満鉄総会		特電(東京)
13	11/14	2	外務総長任命		特電(東京)
14	11/14	2	元老大臣会議		特電(東京)
15	11/14	2	井上大使		特電(東京)
16	11/14	2	金利歩合引上		特電(東京)
17	11/14	2	馬関特電 (十三日発)		
18	11/14	2	桂侯		特電(馬関)
19	11/14	2	京城特電 (十一日発)		
20	11/14	2	虎疫猖獗		特電(京城)
21	11/14	2	營口特電 (十三日発)		
22	11/14	2	葉氏及店員拘引		特電(營口)
23	11/14	2	高橋男歓迎会		特電(營口)
24	11/14	2	雜報		
25	11/14	2	■■■極東政策の變革		雜報
26	11/14	2	減債基金収支		雜報
27	11/14	2	関東州教育会組織		雜報
28	11/14	2	千金薬市街地賃貸規則		雜報
29	11/14	2	間嶋[ママ]韓民保護		雜報
30	11/14	2	遼陽通信 特置員		
31	11/14	2	清国官憲と万寿節		通信(遼陽)
32	11/14	2	安東第十師団長		通信(遼陽)
33	11/14	2	諸石顧問		通信(遼陽)
34	11/14	2	満鉄叢報		
35	11/14	2	満鉄の火災予防法		満鉄叢報
36	11/14	2	満鉄材料と哈爾濱		満鉄叢報
37	11/14	2	満鉄の哩程改正		満鉄叢報
38	11/14	2	賃金改正		満鉄叢報

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
39	11/14	2	駅名の改呼		満鉄叢報
40	11/14	2	民政長官上京期		
41	11/14	2	所有者不明の家屋		
42	11/14	2	やまとホテル宿泊者数		
43	11/14	2	電話開通		
44	11/14	2	満洲仏教青年会		
45	11/14	2	瓦房店兵舎検分		
46	11/14	2	奉天の新銀貨		
47	11/14	2	馬賊清官を捕ふ		
48	11/14	2	安東県商案会議所		
49	11/14	2	経済小評		
50	11/14	2	風声雨声		
51	11/14	2	為替相場 十一月十三日		
52	11/14	2	人事		
53	11/14	2	在港船舶 十一月十三日		
54	11/14	2	出入船舶 十一月十三日		
55	11/14	2	荷役船舶 十一月十三日		
56	11/14	2	埠頭集積貨物 十一月十一日		
57	11/14	2	宿泊氏名 十一月十三日		
58	11/14	2	本日附録(大連民政署署報第十九号)		附録
59	11/14	3	南滿鉄道案内(四)	井田子	連載
60	11/14	3	調査		
61	11/14	3	満洲金融一斑(四十年上半期における)		調査
62	11/14	3	旅順郵便の成績		調査
63	11/14	3	商工叢談		
64	11/14	3	柞蚕の話(下)		商工叢談
65	11/14	3	思潮一斑		
66	11/14	3	交通叢報		
67	11/14	3	屍体(九)	露国ゴーリキヤ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
68	11/14	3	社告 (廃刊した満洲日報と満洲日日新聞は無関係)		社告
69	11/14	4	宮本二刀伝(十二)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
70	11/14	4	雀日記(六)の二	丙午生	連載(小説)
71	11/14	4	「よろづ案内」を説く		
72	11/14	4	よろづ案内		
81	11/14	5	満洲の玉突界	山川浅吉 談	
82	11/14	5	千代田丸浮揚る		
83	11/14	5	支那強盗出没す		
84	11/14	5	展芳亭よし子の空顔み		
85	11/14	5	松の家婆子憎気る		
86	11/14	5	久吉さんお気の毒		
87	11/14	5	流行の冬物と其の価格		
88	11/14	5	勝岡の主人閉口す		
89	11/14	5	払ひの汚い牛肉店主人		
90	11/14	5	旅費を送つて捜査願		
91	11/14	5	表戸を盗む支那泥棒		
92	11/14	5	勘定を踏倒して終ふ		
93	11/14	5	料理店組合の奮発		
94	11/14	5	興業もの		
95	11/14	5	内地雑聞		
96	11/14	5	坊七級の人夫乱暴す		
97	11/14	5	市川高麗蔵問題		
98	11/14	5	哈爾濱の娘子軍(二)		連載
□1907年11月15日/明治四十年十一月十五日/光緒三十三年十月十日/金曜日/通巻第13号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/15	1	社説 奉祝万寿聖節		社説
2	11/15	1	雑録		
3	11/15	1	西太后の御事ども		
4	11/15	1	実業百家短評(四) 馬越森平氏		
5	11/15	1	文苑		
6	11/15	1	漂泊(十一)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
7	11/15	2	東京特電 十四日発		
8	11/15	2	陸軍武官の大異動		特電(東京)
9	11/15	2	御歌初御題		特電(東京)
10	11/15	2	紐育特電 十四日発		
11	11/15	2	銀行の臨時休業		特電(ニューヨーク)
12	11/15	2	金利昇騰す		特電(ニューヨーク)
13	11/15	2	南米通貨欠乏		特電(ニューヨーク)
14	11/15	2	倫敦特電 十四日発		
15	11/15	2	独帝と皇后		特電(ロンドン)
16	11/15	2	清国公使		特電(ロンドン)
17	11/15	2	雑報		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
18	11/15	2	満鉄悲親説に就て		雑報
19	11/15	2	高橋男と奉天新貨幣		雑報
20	11/15	2	大連税関設置の影響		雑報
21	11/15	2	大連の小学校		雑報
22	11/15	2	万国装飾品及家具博覧会		雑報
23	11/15	2	陸軍武官大交迭		雑報
24	11/15	2	満鉄の鉄位受入		雑報
25	11/15	2	大連税関の貨物集散		雑報
26	11/15	2	浦塩通信	■■■■	
27	11/15	2	航海学校設立		通信(ウラジオストク)
28	11/15	2	半官報の発行		通信(ウラジオストク)
29	11/15	2	金坑発見		通信(ウラジオストク)
30	11/15	2	マンモースの採掘		通信(ウラジオストク)
31	11/15	2	満鉄叢報		
32	11/15	2	函書取扱規程		満鉄叢報
33	11/15	2	大石橋出張所移転		満鉄叢報
34	11/15	2	千金薬市街賃規則		
35	11/15	2	奉天新停車場の未決定		
36	11/15	2	郵便事務の繁劇		
37	11/15	2	市内消防の夜警		
38	11/15	2	旅順の断水		
39	11/15	2	換算差額の整理		
40	11/15	2	露国官憲の不法		
41	11/15	2	哈爾濱の狭軌鉄道		
42	11/15	2	高橋男の着連		
43	11/15	2	高橋男の旅行日程		
44	11/15	2	中村長官の晩餐会		
45	11/15	2	高橋男歓迎会		
46	11/15	2	経済小評		
47	11/15	2	人事		
48	11/15	2	為替相場 十一月十四日		
49	11/15	2	在港船舶 十一月十四日		
50	11/15	2	出入船舶 十一月十四日		
51	11/15	2	荷役船舶 十一月十四日		
52	11/15	2	埠頭集散貨物 十一月十四日		
53	11/15	2	宿泊氏名 十一月十四日		
54	11/15	2	本日附録(府報第百八十二号を添ふ)		附録
55	11/15	3	南滿鉄道案内(五)	井田子	連載
56	11/15	3	予の見たる満洲(六)「南滿洲と開墾事業」「南瓦房店の現在と将来」	遠東豚	連載
57	11/15	3	調査		
58	11/15	3	満洲の金利		調査
59	11/15	3	商工叢談		
60	11/15	3	満洲煙草之話		商工叢談
61	11/15	3	物故名士の面影(六)	黒頭巾	連載
62	11/15	3	屍体(十)	露国ゴリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
63	11/15	3	読者の紙面		
64	11/15	3	中村長官の英断	半人	
65	11/15	4	宮本二刀伝(十三)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
66	11/15	4	雀日記(八)	丙午生	連載(小説)
67	11/15	4	東西南北		
68	11/15	4	一口断		
69	11/15	4	「よろづ案内欄」を設く		
70	11/15	4	よろづ案内		
77	11/15	4	社告 (本社新聞販売、広告、特約店)		社告
78	11/15	5	満洲の玉突界(続)	山川浅吉 談	
79	11/15	5	旅順刃傷の後聞		
80	11/15	5	色男と客の鉢合せ		
81	11/15	5	不量見なる女性		
82	11/15	5	不貞腐女相まる		
83	11/15	5	金州城沿岸の海賊		
84	11/15	5	苦力の泥桶六十余人		
85	11/15	5	又々不正料理店現はる		
86	11/15	5	酌婦二人に逃げられる		
87	11/15	5	家賃を払はぬ飲食店		
88	11/15	5	老母泣いて訴ふ		
89	11/15	5	手の長い酌婦捕まる		
90	11/15	5	苦力縊死せんとす		
91	11/15	5	満洲風[ママ]に犯される		
92	11/15	5	金髪夜刃[ママ]現はる		
93	11/15	5	火の用心をすべし		
94	11/15	5	花月席		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
95	11/15	5	都勤商場の開業		
96	11/15	5	興業もの		
97	11/15	5	哈爾濱の娘子軍(三)		連載
□1907年11月16日/明治四十年十一月十六日/光緒三十三年十月十一日/土曜日/通巻第14号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/16	1	社説 倉庫設立の急務		社説
2	11/16	1	予の見たる滿洲(六)「ママ」 「南瓦房店の現在と将来(続)」	遼東豚	連載
3	11/16	1	物故名士の面影(七)	黒頭巾	連載
4	11/16	1	実業自家短評(五) 朝吹英二氏		
5	11/16	1	読者文芸		
6	11/16	1	世界叢談		
7	11/16	1	漂泊(十二)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
8	11/16	2	東京特電 十五日支局発		
9	11/16	2	大演習の方略		特電(東京)
10	11/16	2	北京特電 十五日特置員発		
11	11/16	2	万寿節		特電(北京)
12	11/16	2	營口特電 十五日支局発		
13	11/16	2	東盛和破産の後聞		特電(營口)
14	11/16	2	奉天特電 十五日支局発		
15	11/16	2	奉天の万寿節		特電(奉天)
16	11/16	2	大風雪		特電(奉天)
17	11/16	2	雑報		
18	11/16	2	高橋男の対満意見		雑報
19	11/16	2	營口東盛和破産の裏面		雑報
20	11/16	2	奉天の銀貨と紙幣		雑報
21	11/16	2	満洲水産会社の設立		雑報
22	11/16	2	満洲小学教育の困難		雑報
23	11/16	2	大連の万寿節		雑報
24	11/16	2	滿鉄叢報		
25	11/16	2	夏目館の工事		滿鉄叢報
26	11/16	2	近江町の宿舎		滿鉄叢報
27	11/16	2	貨物賃計算法の改正		滿鉄叢報
28	11/16	2	安田氏と森氏と着任		滿鉄叢報
29	11/16	2	泡子崖信号所廃止		滿鉄叢報
30	11/16	2	埠頭の繁忙		滿鉄叢報
31	11/16	2	列車時間改正の要点		滿鉄叢報
32	11/16	2	大連公演雑聞		
33	11/16	2	營口競馬会認可取消		
34	11/16	2	奉天城内の戸口数		
35	11/16	2	東盛和破産と電報		
36	11/16	2	内地行電信不通		
37	11/16	2	遼東報の虚構		
38	11/16	2	高橋男の行程		
39	11/16	2	瓦房店短信		
40	11/16	2	京城短信		
41	11/16	2	風声雨声		
42	11/16	2	人事		
43	11/16	2	集会		
44	11/16	2	為替相場 十一月十五日		
45	11/16	2	在港船舶 十一月十五日		
46	11/16	2	出入船舶 十一月十五日		
47	11/16	2	荷役船舶 十一月十五日		
48	11/16	2	埠頭集積貨物 十一月十五日		
49	11/16	2	本日附録 府報第百八十三号を添ふ		附録
50	11/16	3	商行叢談		
51	11/16	3	滿洲麻の話		商行叢談
52	11/16	3	南滿鉄道案内(六)	井田子	連載
53	11/16	3	内国紀事「ママ」		
54	11/16	3	各省予算		内国紀事
55	11/16	3	外務省		内国紀事
56	11/16	3	内務省		内国紀事
57	11/16	3	陸軍省		内国紀事
58	11/16	3	海軍省		内国紀事
59	11/16	3	司法省		内国紀事
60	11/16	3	文部省		内国紀事
61	11/16	3	農商務省		内国紀事
62	11/16	3	逓信省		内国紀事
63	11/16	3	台湾総督府予算		内国紀事
64	11/16	3	議會召集期		内国紀事
65	11/16	3	思潮一斑		
66	11/16	3	居候だつたらば(上)	一清 先生	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
67	11/16	3	都落	王秋哉	
68	11/16	3	屍体(十一)	露国ゴーリキイ傑作 明石奇峯訳	連載(小説)
69	11/16	3	読者の紙面	宿田呆人	読者の紙面
70	11/16	4	宮本二刀伝(十四)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
71	11/16	4	雀日記(九)	丙午生	連載(小説)
72	11/16	4	東西南北		
73	11/16	4	「よるづ案内欄」を設く		
74	11/16	4	よるづ案内		
79	11/16	5	満洲の玉突界(続)	山川浅吉 談	
80	11/16	5	寿座は何うなるのか		
81	11/16	5	他人の■■■■		
82	11/16	5	間抜なお客を探す		
83	11/16	5	酌婦鑑札の替へ玉		
84	11/16	5	改心か狂言の身役か		
85	11/16	5	新年御題		
86	11/16	5	人間を墜す穴		
87	11/16	5	苦し紛れに取込詐偽を働く		
88	11/16	5	哀れなる苦力の発狂		
89	11/16	5	強情なる支那泥棒		
90	11/16	5	酔ふて乱暴する奴		
91	11/16	5	正直な金髪夜刈[ママ]		
92	11/16	5	昼鷹逃げ損ふ		
93	11/16	5	賭博最中へ御用		
94	11/16	5	カヒンガー号のボヤ		
95	11/16	5	興行もの		
96	11/16	5	内地雑聞		
97	11/16	5	哈爾浜の娘子軍(四)		連載
□1907年11月17日/明治四十年十一月十七日/光緒三十三年十月十二日/日曜日/通巻第15号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/17	1	社説 教を高橋男爵に乞ふ		
2	11/17	1	予の見たる満洲(七) 「前途多望なる四平街」	遼東豚	連載
3	11/17	1	実業自家短評(六) 大倉善八郎氏		
4	11/17	1	物故名士の面影(八)	黒頭巾	連載
5	11/17	1	読者文芸		
6	11/17	1	世界異聞		
7	11/17	1	宮本二刀伝(十五)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
8	11/17	2	倫敦特電 (十五日発)		
9	11/17	2	独帝の演説		特電(ロンドン)
10	11/17	2	英国海軍の活動		特電(ロンドン)
11	11/17	2	東京特電 (十五日発)		
12	11/17	2	軍事費削減		特電(東京)
13	11/17	2	加奈陀農務大臣		特電(東京)
14	11/17	2	比律賓要塞建設		特電(東京)
15	11/17	2	観菊御宴		特電(東京)
16	11/17	2	犬養毅氏		特電(東京)
17	11/17	2	長崎特電 (十五日特置員発)		
18	11/17	2	タフト氏		特電(長崎)
19	11/17	2	雑報		
20	11/17	2	紐育恐慌の真相		雑報
21	11/17	2	旅順病院の開始		雑報
22	11/17	2	地方院の繁忙		雑報
23	11/17	2	満鉄叢報		満鉄叢報
24	11/17	2	撫順炭鉱の人員		満鉄叢報
25	11/17	2	時間改正に就て		満鉄叢報
26	11/17	2	工作課の繁忙		満鉄叢報
27	11/17	2	棧橋工場間の広軌運転		満鉄叢報
28	11/17	2	彩票の地方別統計		
29	11/17	2	一昨日来の気象		
30	11/17	2	満鉄延長敷地買収交渉		
31	11/17	2	瀋陽馬車鉄道会社の工場		
32	11/17	2	囚人被告人押送規則		
33	11/17	2	電話所の利用		
34	11/17	2	電信開通		
35	11/17	2	公道価格変更		
36	11/17	2	衛生組合長の選挙		
37	11/17	2	西部西比利亜の不作		
38	11/17	2	露本国の毛皮の輸入		
39	11/17	2	營口通信		
40	11/17	2	視察者と投資		通信(營口)
41	11/17	2	遼河の結氷期と終航		通信(營口)
42	11/17	2	帝国軍艦の冬籠		通信(營口)

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
43	11/17	2	外国銀行支店開設計画		通信(營口)
44	11/17	2	撫順通信		
45	11/17	2	奉天通信		
46	11/17	2	高橋男歓迎会		
47	11/17	2	経済小評		
48	11/17	2	風声雨声		
49	11/17	2	為替相場		
50	11/17	2	在港船舶 十一月十五日		
51	11/17	2	出入船舶 十一月十五日		
52	11/17	2	荷役船舶 十一月十五日		
53	11/17	2	埠頭集積貨物 十一月十五日		
54	11/17	2	船舶氏名 十一月十五日		
55	11/17	2	本日附録 府報第百八十四号		附録
56	11/17	3	商工叢談		
57	11/17	3	製糖業の話(上)		商工叢談
58	11/17	3	南滿鉄道案内(七)	井田子	連載
59	11/17	3	内国記事		
60	11/17	3	皇上演習御日程		内国記事
61	11/17	3	樺太劃境地準期		内国記事
62	11/17	3	日露工業権登録規約		内国記事
63	11/17	3	農商務省予算査定		内国記事
64	11/17	3	外務省予算査定		内国記事
65	11/17	3	統監府予算		内国記事
66	11/17	3	北滿の早魃		
67	11/17	3	居候だつたらば(中)	一清 先生	
68	11/17	3	満洲に行く友を送て	神戸吹浦	
69	11/17	3	故郷入(上)[ママ]	王秋哉	
70	11/17	3	杜翁の書翰		
71	11/17	4	別恋	銀葉	小説
72	11/17	4	夫婦喧嘩	夢助	小説
73	11/17	4	「よろづ案内欄」を設く		
74	11/17	4	よろづ案内		
92	11/17	5	汽車脱線す		
93	11/17	5	文無しの大尺客		
94	11/17	5	斧にて二人を斬る		
95	11/17	5	清国人を殴り殺す		
96	11/17	5	虫の宜い帳場の書置		
97	11/17	5	珍無類のお葬式		
98	11/17	5	千金塞に於ける浮風		
99	11/17	5	革命党員捕はる		
100	11/17	5	二度目のお灸を喰ふ		
101	11/17	5	強いて少女に婚法を薦む		
102	11/17	5	親の心子知らず		
103	11/17	5	無法者の銃いちり		
104	11/17	5	暴風と残橋の警戒		
105	11/17	5	芸妓酌婦等の福音		
106	11/17	5	やに下つた処をコロコラ		
107	11/17	5	内地雑聞		
108	11/17	5	アラマア情ない事だね		
109	11/17	5	お客を咬へて拘留		
110	11/17	5	旅順宝町の出火		
111	11/17	5	■造軍票と取調		
112	11/17	5	人名救助と賞与		
113	11/17	5	人隠しの穴に就て		
114	11/17	5	興業[ママ]も		
115	11/17	5	哈爾濱の娘子軍(六)[ママ]		連載
□1907年11月18日/明治四十年十一月十八日/光緒三十三年十月十三日/月曜日/通巻第16号/朝刊/版ナン/全4面					
1	11/18	1	社説 吉長鉄道如何		社説
2	11/18	1	於戲、龍次兵衛		
3	11/18	1	之を完備せよ		
4	11/18	1	予の見たる満洲(八) 「前途多望なる四平街」	遼東豚	連載
5	11/18	1	物故名士の面影(九)	黒頭市	連載
6	11/18	1	実業百家短評(七) 住友吉左右衛門氏		
7	11/18	1	世界異聞		
8	11/18	1	文芸		
9	11/18	1	宮本二刀伝(十六)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
10	11/18	1	本日本紙 四頁		
11	11/18	2	東京特電 十七日支局発		
12	11/18	2	贈位		特電(東京)
13	11/18	2	奉天特電 十七日支局発		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
14	11/18	2	満洲日報の再刊		特電(奉天)
15	11/18	2	徐総督出発準備		特電(奉天)
16	11/18	2	神尾参謀長		特電(奉天)
17	11/18	2	徐総督北行の先発		特電(奉天)
18	11/18	2	鉄嶺特電 十七日特置員発		
19	11/18	2	衛戍病院長と衛生会		特電(鉄嶺)
20	11/18	2	倫敦特電 十六日発		
21	11/18	2	英国首相病む		特電(ロンドン)
22	11/18	2	露国議会開会式		特電(ロンドン)
23	11/18	2	議長選挙		特電(ロンドン)
24	11/18	2	雑報		
25	11/18	2	次期の英国大統領		雑報
26	11/18	2	露紙の見たる安奉線		雑報
27	11/18	2	遼陽附属地境界に就て		雑報
28	11/18	2	水産物無税の運動		雑報
29	11/18	2	千金賽居留民会解散		雑報
30	11/18	2	吉林官銀局の騒擾		雑報
31	11/18	2	各省近事		
32	11/18	2	要政四事の上奏		各省近事
33	11/18	2	醇親王の各省官制意見		各省近事
34	11/18	2	開島問題		各省近事
35	11/18	2	各省諮議■期確定		各省近事
36	11/18	2	滿鉄叢報		
37	11/18	2	撫順炭の減価		滿鉄叢報
38	11/18	2	三線軌条の工程		滿鉄叢報
39	11/18	2	築港計画		滿鉄叢報
40	11/18	2	旅大間試運転期		滿鉄叢報
41	11/18	2	時間改正に就て		滿鉄叢報
42	11/18	2	徐総督の学制■一策		
43	11/18	2	長距離電話		
44	11/18	2	日本売薬の危機		
45	11/18	2	鉄嶺の方春節		
46	11/18	2	民政部統計事務		
47	11/18	2	防疫員の費与		
48	11/18	2	高橋男爵の寄附		
49	11/18	2	奉天短信		
50	11/18	2	安東県通信		
51	11/18	2	十月の輸出入額		通信(安東県)
52	11/18	2	新義州専管居留地		通信(安東県)
53	11/18	2	鉄嶺短信		
54	11/18	2	経済小評		
55	11/18	2	為替相場 十一月十七日		
56	11/18	2	在港船舶 十一月十七日		
57	11/18	2	出入船舶		
58	11/18	2	荷役船舶 十一月十七日		
59	11/18	2	埠頭集載貨物 十一月十七日		
60	11/18	2	宿泊氏名 十一月十五日		
61	11/18	2	本日附録 府報第八十四号		附録
62	11/18	3	義太夫の話	竹本井筒大夫 談	
63	11/18	3	小崗子の惨劇		
64	11/18	3	清国股打致死詳報		
65	11/18	3	旅順の悪料理店		
66	11/18	3	舌力三名圧死す		
67	11/18	3	革命党員と取調		
68	11/18	3	商売の損失から兄妹争ひ		
69	11/18	3	書家藤崎青汀氏来る		
70	11/18	3	加害者は無いか		
71	11/18	3	幼女銀貨を拾ふ		
72	11/18	3	兵事に関係ある人々へ		
73	11/18	3	又々金髪夜夜刃[ママ]		
74	11/18	3	興業もの		
75	11/18	3	内地雑聞		
76	11/18	3	哈爾濱の娘子軍(七)[ママ]		連載
77	11/18	4	東西南北		
78	11/18	4	よろづ案内		
104	11/18	4	社告 (本社新聞販売、広告、特約店)		社告
□1907年11月19日/明治四十年十一月十九日/光緒三十三年十月十四日/火曜日/通巻第17号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/19	1	社説 常識の勝利		社説
2	11/19	1	仏教徒の活動		
3	11/19	1	満洲日報の再刊		

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載 面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
4	11/19	1	予の見たる満州(九) 「前途多望なる四平街(続)」	遼東豚	連載
5	11/19	1	実業百家短評(八) 岩下清周氏		連載
6	11/19	1	行雲流水	切水軒	連載
7	11/19	1	読者文芸		
8	11/19	1	宮本二刀伝(十七)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
9	11/19	2	倫敦特電 十七日発		
10	11/19	2	若槻財務官		特電(ロンドン)
11	11/19	2	伯林特電 十七日発		
12	11/19	2	明年度東方経営		特電(ベルリン)
13	11/19	2	聖京特電 十七日発		
14	11/19	2	議長と宣言		特電(ベルブルグ)
15	11/19	2	東京特電 十八日支局発		
16	11/19	2	加奈陀移民問題		特電(東京)
17	11/19	2	遣米艦隊の帰航		特電(東京)
18	11/19	2	石井通商局長		特電(東京)
19	11/19	2	倫貝子接待委員		特電(東京)
20	11/19	2	伯爵議員当選		特電(東京)
21	11/19	2	井上大使帰朝		特電(東京)
22	11/19	2	大演習観閲式		特電(東京)
23	11/19	2	実業家御召		特電(東京)
24	11/19	2	吉野又四郎氏		特電(東京)
25	11/19	2	西大将と能勢領事		特電(東京)
26	11/19	2	島村少将		特電(東京)
27	11/19	2	東洋汽船と蒙洲		特電(東京)
28	11/19	2	紐育特電 十七日発		
29	11/19	2	恐慌原因一説		特電(ニューヨーク)
30	11/19	2	バー子一氏自殺		特電(ニューヨーク)
31	11/19	2	浦塩特電 十八日特置員発		特電(ニューヨーク)
32	11/19	2	タフト氏		特電(ウラジオストク)
33	11/19	2	蔵相の航路視察		特電(ウラジオストク)
34	11/19	2	馬関特電 十八日特置員発		
35	11/19	2	桂侯帰京		特電(馬関)
36	11/19	2	台北特電 十八日特置員発		
37	11/19	2	生蕃の大反抗		特電(台北)
38	11/19	2	營口特電 十八日支局発		
39	11/19	2	營口水電会社総会		特電(營口)
40	11/19	2	長春特電 十七日特置員発		
41	11/19	2	安東師団長		特電(長春)
42	11/19	2	久保田警務課長		特電(長春)
43	11/19	2	長春駅開始		特電(長春)
44	11/19	2	雑録		
45	11/19	2	奉天新銀元の告示		雑報
46	11/19	2	海務局の新設		雑報
47	11/19	2	風害と海底電線		雑報
48	11/19	2	大連築港の将来		雑報
49	11/19	2	各省近事		
50	11/19	2	商標規則の解釈		各省近事
51	11/19	2	京外各官補欠規則		各省近事
52	11/19	2	総務司の撥権		各省近事
53	11/19	2	東三省警務大臣		各省近事
54	11/19	2	滿鉄彙報		
55	11/19	2	陸揚用広軌竣工		滿鉄彙報
56	11/19	2	石炭運費計算方		滿鉄彙報
57	11/19	2	石炭専用車		滿鉄彙報
58	11/19	2	大連旅順開港時間		滿鉄彙報
59	11/19	2	冬季の郵船航路		
60	11/19	2	電柱の風害		
61	11/19	2	沿海州の不漁		
62	11/19	2	満州日報の再刊		
63	11/19	2	警務課の移転		
64	11/19	2	本願寺の法要		
65	11/19	2	経済小評		
66	11/19	2	風声雨声		
67	11/19	2	人事		
68	11/19	2	為替相場 十一月十八日		
69	11/19	2	在港船舶 十一月十八日		
70	11/19	2	出入船舶		
71	11/19	2	荷役船舶 十一月十七日		
72	11/19	2	埠頭集散貨物 十一月十六日		
73	11/19	2	宿泊氏名 十一月十八日		
74	11/19	2	本日附録 府報百八十六号添		附録

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
75	11/19	3	訪問		
76	11/19	3	柴田長春副領事談		
77	11/19	3	商工叢談		
78	11/19	3	製糖業の話(二)		
79	11/19	3	南滿鉄道案内(八)	井田子	連載
80	11/19	3	内国記事		
81	11/19	3	予算問題の経過		内国記事
82	11/19	3	来年度鉄道予算		内国記事
83	11/19	3	買取価格の増加		内国記事
84	11/19	3	大博敷地決定事情		内国記事
85	11/19	3	遣外艦隊消息		内国記事
86	11/19	3	■■練兵地細目		内国記事
87	11/19	3	思潮一斑		
88	11/19	3	居候だつたらば(下)	一清 先生	
89	11/19	3	故郷人[ママ]	王秋哉	
90	11/19	4	家庭欄の新設		家庭
91	11/19	4	露西亜の家庭(上)		家庭
92	11/19	4	幼稚園の玩具		家庭
93	11/19	4	満洲園芸談		家庭
94	11/19	4	家庭日記(一)	櫻子	家庭
95	11/19	4	人工營養と注意		家庭
96	11/19	4	料理と術語		家庭
97	11/19	4	よろず案内		
106	11/19	5	義太夫の話(続)	竹本井筒大夫 談	
107	11/19	5	小岡子惨劇後聞		
108	11/19	5	千奴の有知山熱		
109	11/19	5	客に欺される女郎		
110	11/19	5	楼主たらしの勝次目玉の■■■		
111	11/19	5	未広館かよ子の朝鮮熱		
112	11/19	5	大連紅筆だより		
113	11/19	5	千代田丸の入渠準備		
114	11/19	5	妻は淫売 良人は見張		
115	11/19	5	辻便所が出来るぞ		
116	11/19	5	関東婦人会臨時大会		
117	11/19	5	大連小学校の小火		
118	11/19	5	煙草泥棒捕はる		
119	11/19	5	間拔な支那娼妓孕む		
120	11/19	5	苦力続々退出す		
121	11/19	5	往来で筒舐ひに及ぶ		
122	11/19	5	金時計を掲られる		
123	11/19	5	興行もの		
124	11/19	5	内地雑聞		
125	11/19	5	哈爾濱の娘子軍(八)[ママ]		連載
147	11/19	6	社告 (本社新聞販売、広告、特約店)		社告
□1907年11月20日/明治四十年十一月二十日/光緒三十三年十月十五日/水曜日/通巻第18号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/20	1	社説 露国議長の宣言		社説
2	11/20	1	古事類苑成る		
3	11/20	1	予の見たる滿洲(十)「寒い滿洲と暖かい滿洲」	遼東豚	連載
4	11/20	1	実業百家短評(九) 大江卓氏		連載
5	11/20	1	読者文芸		
6	11/20	1	世界異聞		
7	11/20	1	漂泊(十三)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
8	11/20	2	倫敦特電 十八日発		
9	11/20	2	軍艦爆破		特電(ロンドン)
10	11/20	2	西、葡皇族の婚儀		特電(ロンドン)
11	11/20	2	巨艦初航海		特電(ロンドン)
12	11/20	2	首相快癒		特電(ロンドン)
13	11/20	2	銀行利率		特電(ロンドン)
14	11/20	2	東京特電 十九日支局発		
15	11/20	2	大演習と勅語		特電(東京)
16	11/20	2	親菊会と行啓		特電(東京)
17	11/20	2	俘虜収容費		特電(東京)
18	11/20	2	金利騰貴		特電(東京)
19	11/20	2	「淀」進水式		特電(東京)
20	11/20	2	桂侯帰京		特電(東京)
21	11/20	2	雑報		
22	11/20	2	駐滿領事の職掌		雑報
23	11/20	2	金か銀か		雑報
24	11/20	2	露国鉄道守備兵		雑報
25	11/20	2	營口豆粕税の免除		雑報

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
26	11/20	2	新奉鉄道改築工事		雑報
27	11/20	2	納骨雑聞		雑報
28	11/20	2	各省近事		
29	11/20	2	暹羅領事館新設の議		各省近事
30	11/20	2	露清探鉱条約		各省近事
31	11/20	2	蘇浙鉄道問題の調停		各省近事
32	11/20	2	滿鉄叢報		
33	11/20	2	定期総会		滿鉄叢報
34	11/20	2	副總裁理事等の上京		滿鉄叢報
35	11/20	2	二等車の設備		滿鉄叢報
36	11/20	2	暖炉の据付		滿鉄叢報
37	11/20	2	民政長官代理		
38	11/20	2	吉長鉄道起工期		
39	11/20	2	奉天憲兵学校の創設		
40	11/20	2	営口水道電気会社の総会		
41	11/20	2	常盤橋の架橋工事		
42	11/20	2	滿鉄調弁所の近況		
43	11/20	2	水道の竣工期		
44	11/20	2	本年の下水工事		
45	11/20	2	鉄嶺在郷軍人会組織		
46	11/20	2	風声雨声		
47	11/20	2	人事		
48	11/20	2	為替相場 十一月十九日		
49	11/20	2	在港船舶 十一月十九日		
50	11/20	2	出入船舶		
51	11/20	2	埠頭集載貨物 十一月十七日		
52	11/20	2	宿泊氏名 十一月十九日		
53	11/20	3	商工叢談		
54	11/20	3	製糖業の証(三)		
55	11/20	3	南滿鉄道案内(九)	井田子	連載
56	11/20	3	内国記事		
57	11/20	3	大演習御統監地		内国記事
58	11/20	3	東宮殿下御帰東		内国記事
59	11/20	3	倫貝子御旅程		内国記事
60	11/20	3	税法案提出確定		内国記事
61	11/20	3	予算全部確定期		内国記事
62	11/20	3	農省提出諸法案		内国記事
63	11/20	3	全国鉱産額		内国記事
64	11/20	3	英国銀行金利暴騰の例		
65	11/20	3	時々独居案(一)	長橋生	連載
66	11/20	3	寄書		
67	11/20	4	宮本二刀伝(十八)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
68	11/20	4	家庭ページ		
69	11/20	4	露西亜の家庭(中)		家庭
70	11/20	4	満洲園芸談		家庭
71	11/20	4	料理と術語(続)		家庭
72	11/20	4	よろづ案内		
79	11/20	5	鷹飼の話	池畑平次郎氏 談	
80	11/20	5	少女危ふきを逃れて喜ぶ		
81	11/20	5	横着女叱られて放たる		
82	11/20	5	誘拐されたる女二人		
83	11/20	5	客に惚気を聞かず女房		
84	11/20	5	車の貧賈から傷を負はず		
85	11/20	5	支那車夫酷い目に逢ふ		
86	11/20	5	脏品を着込む横着者		
87	11/20	5	借金からギウと言はされる		
88	11/20	5	大連小学校の父兄懇親会		
89	11/20	5	日東丸の入港と千代田丸		
90	11/20	5	雇人口入屋叱られる		
91	11/20	5	大山湯叱られる		
92	11/20	5	支那小泥棒一束		
93	11/20	5	時計指環の新荷到着		
94	11/20	5	堀久呉服店の大売り出し		
95	11/20	5	興行もの		
96	11/20	5	内地雑聞		
97	11/20	5	取消 左の申込みあたり		
98	11/20	5	東西南北		
99	11/20	5	哈爾濱の娘子軍(完)		連載
□1907年11月21日/明治四十年十一月廿一日/光緒三十三年十月十六日/木曜日/通巻第19号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/21	1	社説 營口と過炉銀		社説

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
2	11/21	1	大演習の終了		
3	11/21	1	仔細収容費受了		
4	11/21	1	通報艦定の進水		
5	11/21	1	予の見たる満洲(十一)「寒い満洲と暖かい満洲(続)」	遼東豚	連載
6	11/21	1	実業百家短評(十) 森村市左衛門氏		連載
7	11/21	1	行雲流水(二)	切水軒	連載
8	11/21	1	読者文芸		
9	11/21	1	漂泊(十四)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	11/21	2	紐育特電 十九日発		
11	11/21	2	六会社の破産		特電(ニューヨーク)
12	11/21	2	恐慌救済案		特電(ニューヨーク)
13	11/21	2	倫敦特電 十九日発		
14	11/21	2	爆発の原因		特電(ロンドン)
15	11/21	2	伯林特電 十九日発		
16	11/21	2	海軍予算増加		特電(ベルリン)
17	11/21	2	海軍計画		特電(ベルリン)
18	11/21	2	東京特電 二十日支局発		
19	11/21	2	還御		特電(東京)
20	11/21	2	倫貝子歓迎会		特電(東京)
21	11/21	2	京城特電 二十日発		
22	11/21	2	統監優遇		特電(京城)
23	11/21	2	浦塩特電 二十日特置員発		
24	11/21	2	タフト氏		特電(ウラジオストク)
25	11/21	2	長春特電 二十日特置員発		
26	11/21	2	清兵着発		特電(長春)
27	11/21	2	雄報		
28	11/21	2	東盛和破綻内情		雄報
29	11/21	2	哈爾浜の製粉業		雄報
30	11/21	2	滿鉄彙報		
31	11/21	2	材料陸揚の進捗		滿鉄彙報
32	11/21	2	会計課長と販売課長		滿鉄彙報
33	11/21	2	積卸請負駅		滿鉄彙報
34	11/21	2	市区計画と技術員		滿鉄彙報
35	11/21	2	公主嶺小学校開校		滿鉄彙報
36	11/21	2	老虎灘漁村の設立		滿鉄彙報
37	11/21	2	大連市場の近況		
38	11/21	2	海務局設置に就て		
39	11/21	2	旅順新市街と医院		
40	11/21	2	貸座敷用地規則発布		
41	11/21	2	墓地の引渡		
42	11/21	2	奉天出発の清兵		
43	11/21	2	納骨規定		
44	11/21	2	奉天通信		
45	11/21	2	総領事館晩餐会		通信(奉天)
46	11/21	2	滿鉄囃氏医死去		通信(奉天)
47	11/21	2	経済小評		
48	11/21	2	人事		
49	11/21	2	集会		
50	11/21	2	為替相場 十一月二十日		
51	11/21	2	在港船舶 十一月二十日		
52	11/21	2	出入船舶		
53	11/21	2	荷役船舶 十一月二十日		
54	11/21	2	埠頭集積貨物 十一月十八日		
55	11/21	2	本日附録 附報第八十七号及旅順民政署報第二十五号を添ふ		附録
56	11/21	3	商工叢談		
57	11/21	3	棉糸の話(上)		
58	11/21	3	南滿鉄道案内(十一)[ママ]	井田子	連載
59	11/21	3	内閣記事		
60	11/21	3	韓国皇后陛下へ謝電		
61	11/21	3	水産局の予算		
62	11/21	3	来年度航海補助費		
63	11/21	3	監獄作業改良		
64	11/21	3	開島第二期地質調査		
65	11/21	3	地質調査二十五年会		
66	11/21	3	本年度財政経過		
67	11/21	3	門司通信 (十五日発) 特置員発		
68	11/21	3	門司大里会議の■■■■■		
69	11/21	3	門司の昨年の炭況		
70	11/21	3	旅順重砲大隊補充員		
71	11/21	3	北韓帰來者談		
72	11/21	3	思潮一斑		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
73	11/21	3	時々独居楽(二)	長橋生	連載
74	11/21	4	宮本二刀伝(十九)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(談話)
75	11/21	4	家庭ページ		
76	11/21	4	露西亜の家庭(下)		家庭
77	11/21	4	満洲園芸談(続)		家庭
78	11/21	4	よろづ案内		
84	11/21	5	鷹飼の話(続)	池畑平次郎氏 談	
85	11/21	5	旅順の大疑獄		
86	11/21	5	情婦斬犯人捕へらる		
87	11/21	5	手の切れた妾の毒計		
88	11/21	5	不埒な亭主の説諭願		
89	11/21	5	大連小学校父兄懇話会		
90	11/21	5	断念の悪い支那泥棒		
92	11/21	5	金三十円失くなりました		
93	11/21	5	心中娼妓の髪切り騒ぎ		
94	11/21	5	居住者に注意		
95	11/21	5	横着な酌婦二人		
96	11/21	5	厄介な薩摩守殿		
97	11/21	5	旅順座の盛況		
98	11/21	5	岡山孤児院一行来る		
99	11/21	5	料理店の爺叱られる		
100	11/21	5	詐偽漢捕へらる		
101	11/21	5	遺失して訴へ出す		
102	11/21	5	志岐組雜貨部大売出し		
103	11/21	5	興行もの		
104	11/21	5	内地雜聞		
105	11/21	5	東西南北		
□1907年11月22日/明治四十年十一月廿二日/光緒三十三年十月十七日/金曜日/通巻第20号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/22	1	論説 小獅子起つ	吐虹	論説
2	11/22	1	程、於戲遠い哉		
3	11/22	1	太得人を得たり		
4	11/22	1	三度、東盛和号		
5	11/22	1	予の見たる満洲(一)(二)[ママ]「名ほど無き遠隔」	遼東豚	連載
6	11/22	1	行雲流水(三)	切水軒	連載
7	11/22	1	文苑		
8	11/22	1	宮本二刀伝(二十)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(談話)
9	11/22	2	倫敦特電 (十九日)		
10	11/22	2	金利暴落		特電(ロンドン)
11	11/22	2	ステツセルの審問		特電(ロンドン)
12	11/22	2	東京特電 (二十日支局発)		
13	11/22	2	敦賀港修築		特電(東京)
14	11/22	2	兵学校卒業式		特電(東京)
15	11/22	2	京城特電 (二十一日発)		
16	11/22	2	皇太子遊学期		特電(京城)
17	11/22	2	營口特電 (二十日支局発)		
18	11/22	2	日清実業協会		特電(營口)
19	11/22	2	雑報		
20	11/22	2	東盛和事件と營口外商		雑報
21	11/22	2	税関特別取扱手続		雑報
22	11/22	2	各省近事		
23	11/22	2	各省巡 ■■		各省近事
24	11/22	2	海軍部の設置		各省近事
25	11/22	2	蘇杭寧鉄道と外務部		各省近事
26	11/22	2	滿鉄叢報		
27	11/22	2	組立車輛数		滿鉄叢報
28	11/22	2	未着手車輛数		滿鉄叢報
29	11/22	2	旅大間試運転		滿鉄叢報
30	11/22	2	埠頭敷地料金減額		滿鉄叢報
31	11/22	2	沈道台の奉天行		滿鉄叢報
32	11/22	2	東三省官報		滿鉄叢報
33	11/22	2	民政署長不在中の事務		
34	11/22	2	大連税関と日本大祭日		
35	11/22	2	記者懇親会		
36	11/22	2	長春近況		
37	11/22	2	停車場の盛況		近況(長春)
38	11/22	2	乗客ホーム		近況(長春)
39	11/22	2	新市街		近況(長春)
40	11/22	2	日清貿易		近況(長春)
41	11/22	2	日露貿易		近況(長春)
42	11/22	2	經濟小評		近況(長春)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
43	11/22	2	風声雨声		
44	11/22	2	人事		
45	11/22	2	為替相場 十一月廿一日		
46	11/22	2	在港艦船		
47	11/22	2	出入船舶		
48	11/22	2	荷役船舶 十一月廿一日		
49	11/22	2	埠頭集積貨物 十一月十九日		
50	11/22	2	宿泊氏名 十一月廿一日		
51	11/22	3	訪問		
52	11/22	3	青年と仏教	西本願寺顧問 藤島了穂師	訪問
53	11/22	3	商工叢談		
54	11/22	3	棉糸の話(下)		商工叢談
55	11/22	3	南滿鉄道案内(一二)[ママ]	井田子	連載
56	11/22	3	内国記事		
57	11/22	3	一千万円の炭鉱		内国記事
58	11/22	3	■■■■■		内国記事
59	11/22	3	高等学校増設費		内国記事
60	11/22	3	高等学校制度改正		内国記事
61	11/22	3	国債規則の改正		内国記事
62	11/22	3	今年の米作		内国記事
63	11/22	3	時々独居案(三)	長橋生	連載
64	11/22	3	里心	王秋哉	
65	11/22	3	読者の紙面		
66	11/22	3	汽笛一氏に借問す	H.M.生	
67	11/22	4	家庭ページ		
68	11/22	4	補遺 露国の家庭		
69	11/22	4	家庭料理		
70	11/22	4	育児と心得		
71	11/22	4	童の栽培法		
72	11/22	4	家庭日記(二)	櫻子	
73	11/22	4	吸乳器と注意		
74	11/22	4	暖炉の焚き方心得		
75	11/22	4	よろづ案内		
86	11/22	5	本願寺出張所の成績		
87	11/22	5	旅順大監獄後聞		
88	11/22	5	一昨夜の記者懇親会		
89	11/22	5	飛むだ厄介女房を貰ふ		
90	11/22	5	文久生まれの芸妓現はる		
91	11/22	5	親不孝の豹婦		
92	11/22	5	金城ホテルの芸妓		
94	11/22	5	無法なお客を乗せる		
95	11/22	5	十五銭の勘定が出来ぬ		
96	11/22	5	露西亜町の掻払三十三人		
97	11/22	5	自転車泥棒捕はる		
98	11/22	5	横着なる下卑女郎		
99	11/22	5	掻払ひの遣り損ね		
100	11/22	5	亜鉛板の泥棒		
101	11/22	5	堂口仏教婦人会例会		
102	11/22	5	興行もの		
103	11/22	5	内地雜聞		
104	11/22	5	東西南北		
105	11/22	5	大連基督教慈善病院(一)		連載
□1907年11月23日/明治四十年十一月廿三日/光緒三十三年十月十八日/土曜日/通巻第21号/朝刊/版ア申/全6面					
1	11/23	1	社説 所謂利権熱		社説
2	11/23	1	降将ス氏を憐む		
3	11/23	1	予の見たる満洲(十三) 「寒い満洲と暖かい満洲」	遠東豚	連載
4	11/23	1	実業百家短評(十一) 高橋是清氏		連載
5	11/23	1	行雲流水(四)	切水軒	連載
6	11/23	1	読者文芸		
7	11/23	1	宮本二刀伝(二十一)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
8	11/23	2	倫敦特電 二十一日発		
9	11/23	2	葡萄牙の庄制政策		特電(ロンドン)
10	11/23	2	准士官の予備編入		特電(ロンドン)
11	11/23	2	陸軍疑獄		特電(ロンドン)
12	11/23	2	紐育特電 廿一日[ママ]発		
13	11/23	2	日本人追放		特電(ニューヨーク)
14	11/23	2	対運河方針		特電(ニューヨーク)
15	11/23	2	東京特電 二十二日支局発		
16	11/23	2	露紙の発刊		特電(東京)
17	11/23	2	倫貝子の来朝期		特電(東京)

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
18	11/23	2	浦塩特電 二十二日特置員発		
19	11/23	2	露人の航路視察		特電(ウラジオストク)
20	11/23	2	北京特電 二十二日発		
21	11/23	2	対孫逸仙問題		特電(北京)
22	11/23	2	奉天特電 二十二日支局発		
23	11/23	2	徐総督出発確定		特電(奉天)
24	11/23	2	東盛和事件の余波		特電(奉天)
25	11/23	2	營口特電 二十二日支局発		
26	11/23	2	東盛和救済策		
27	11/23	2	雑報		
28	11/23	2	露国極東政策の大発展		雑報
29	11/23	2	長春通貨の混乱		雑報
30	11/23	2	旅大試運転は好果		雑報
31	11/23	2	陸軍糧秣の現況と将来		雑報
32	11/23	2	各省近事		
33	11/23	2	英蔵条約の改訂		各省近事
34	11/23	2	岑春煊の声望		各省近事
35	11/23	2	漢■■■■及萍鄉炭鉱の民弁		各省近事
36	11/23	2	滿鉄彙報		
37	11/23	2	来年度の土木事業		滿鉄彙報
38	11/23	2	旅順のやまとホテル		滿鉄彙報
39	11/23	2	脱線		滿鉄彙報
40	11/23	2	通関手続と輸出入統計		
41	11/23	2	民政部の宿舎配当替		
42	11/23	2	発電機の不完		
43	11/23	2	報聘大使出発準備		
44	11/23	2	犬養氏巡覧		
45	11/23	2	吉野工作課長氏工程		
46	11/23	2	芝罘通信		
47	11/23	2	商議会総弁		通信(芝罘)
48	11/23	2	道路の改修		通信(芝罘)
49	11/23	2	銭荘の閉店		通信(芝罘)
50	11/23	2	水師学堂の建築		通信(芝罘)
51	11/23	2	長春通信		
52	11/23	2	大石橋通信		
53	11/23	2	経済小評		
54	11/23	2	集会		
55	11/23	2	人事		
56	11/23	2	為替相場 十一月廿二日		
57	11/23	2	在港艦船		
58	11/23	2	出入船舶		
59	11/23	2	荷役船舶 十一月廿二日		
60	11/23	2	埠頭集積貨物 十一月二十日[ママ]		
61	11/23	2	宿泊氏名 十一月廿二日		
62	11/23	2	注意 明日と明後日は四頁		
63	11/23	3	訪問		
64	11/23	3	満洲経営策	代議士 犬養毅氏 談	
65	11/23	3	満洲貿易観		
66	11/23	3	商工叢談		
67	11/23	3	支那に於ける糧穀業		商工叢談
68	11/23	3	南滿鉄道案内(十三)	井田子	連載
69	11/23	3	内国記事		
70	11/23	3	親菊会行啓		内国記事
71	11/23	3	労働大臣謁見		内国記事
72	11/23	3	功臣顕備へ贈位		内国記事
73	11/23	3	明年度陸軍予算		内国記事
74	11/23	3	通信費決定		内国記事
75	11/23	3	航海補助費		内国記事
76	11/23	3	全国移民会社大会		内国記事
77	11/23	3	水害補助概算		内国記事
78	11/23	4	家庭ページ		
79	11/23	4	戦線の家庭(台湾隘勇線の事)		家庭
80	11/23	4	印度の結婚の話(上)		家庭
81	11/23	4	善意と悪意		家庭
82	11/23	4	家庭日記(三)	櫻子	家庭
83	11/23	4	育児の心得(続)[ママ]		家庭
84	11/23	4	よろづ案内		
92	11/23	5	本願寺出張所の成[ママ](続)		
93	11/23	5	營口元神廟街の出火		
94	11/23	5	旅順入久組の余罪		
95	11/23	5	日清両夫婦の喧嘩騒ぎ		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
96	11/23	5	愚かなる親不孝の娘		
97	11/23	5	酌婦子を抱いて泣く		
98	11/23	5	一文無しの迷ひ女		
99	11/23	5	汽車に夾まれて即死す		
101	11/23	5	貨車に触れて死す		
102	11/23	5	徴兵適齢者は注意せよ		
103	11/23	5	墜落して軽傷を負ふ		
104	11/23	5	腐つた首を拾ふ		
105	11/23	5	給与を半分しか遣らぬ		
106	11/23	5	胸犬の主人は氣を付けよ		
107	11/23	5	三十三人の仲間揃まる		
108	11/23	5	大工道具を担ぎ出す		
109	11/23	5	支那人の大豆泥棒		
110	11/23	5	十円軍票の偽造		
111	11/23	5	恰一枚のコソコソ		
112	11/23	5	洋服商組合の組織		
113	11/23	5	興行もの		
114	11/23	5	東西南北		
115	11/23	5	大連基督教慈恵病院(二)		連載
□1907年11月24日/明治四十年十一月廿四日/光緒三十三年十月十三日/日曜日/通巻第22号/朝刊/版ナシ/全4面					
1	11/24	1	社説 独帝の英国訪問		社説
2	11/24	1	孫文氏を羨む		
3	11/24	1	風采を想望せしむ		
4	11/24	1	往や七洲之健勇児		
5	11/24	1	予の見たる満洲(十四) 「名ほど無き遼陽(続)」	遼東豚	連載
6	11/24	1	行雲流水(五)	切水軒	連載
7	11/24	1	読者文芸		
8	11/24	1	世界異聞		
9	11/24	1	宮本一刀伝(二十二)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
10	11/24	2	倫敦特電 (二十三日発)		
11	11/24	2	仏国人口増加		特電(ロンドン)
12	11/24	2	機関手罷工は不成功		特電(ロンドン)
13	11/24	2	印度の石炭欠乏		特電(ロンドン)
14	11/24	2	聖京特電 (二十三日発)		
15	11/24	2	東清總裁遺族の窮乏		特電(ベルブルグ)
16	11/24	2	東京特電 (二十三日支局発)		
17	11/24	2	歳入不足と財源		特電(東京)
18	11/24	2	沈没原因は日本人		特電(東京)
19	11/24	2	奉天特電 (二十三日支局発)		
20	11/24	2	徐総督の出発		特電(奉天)
21	11/24	2	天津特電 (廿四日発)		
22	11/24	2	倫里子発程		特電(天津)
23	11/24	2	營口特電 (二十三日支局発)		
24	11/24	2	火災損害高		特電(營口)
25	11/24	2	雑報		
26	11/24	2	東盛和事件と營口実業界		雑報
27	11/24	2	奉天の銀貨欠乏		雑報
28	11/24	2	林公使の意見と露紙		雑報
29	11/24	2	東清鉄道の清人優待		雑報
30	11/24	2	長橋水産共進会		雑報
31	11/24	2	満鉄彙報		
32	11/24	2	貯金成績		満鉄彙報
33	11/24	2	埠頭仲仕の貯金		満鉄彙報
34	11/24	2	制服制帽		満鉄彙報
35	11/24	2	第二棧橋と広軌		満鉄彙報
36	11/24	2	叙任辞令		
37	11/24	2	露国艦艇の類別		
38	11/24	2	督練所管官の鳳凰城行		
39	11/24	2	衛生組合長副組合長の選挙		
40	11/24	2	収入役の兼掌事務		
41	11/24	2	鱈の盛漁期		
42	11/24	2	早稲田臨時校友会		
43	11/24	2	犬養氏招待会		
44	11/24	2	経済小評		
45	11/24	2	風声雨声		
46	11/24	2	人事		
47	11/24	2	為替相場 十一月廿三日		
48	11/24	2	在港艦船		
49	11/24	2	出入船舶		
50	11/24	2	埠頭集散貨物 十一月二十一日[ママ]		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
51	11/24	2	宿泊氏名 十一月廿三日		
52	11/24	2	本日附録 府報第八十八号添		附録
53	11/24	3	本願寺出張所の成績(続)		
54	11/24	3	営口出火の詳報		
55	11/24	3	扇芳亭と扇屋の取組		
56	11/24	3	魯かし文句が自由廃業		
57	11/24	3	勸商場から盗むだ靴		
58	11/24	3	性の悪い芸妓掴まる		
60	11/24	3	白米泥棒捕へらる		
61	11/24	3	腹の黒い羅人の泥棒		
62	11/24	3	厄介な駄駄響に困る		
63	11/24	3	妻の不注意から小火		
64	11/24	3	苦力生利となる		
65	11/24	3	塵溜に火を捨てて		
66	11/24	3	吝しい日本人		
67	11/24	3	内地雑聞		
68	11/24	3	興行もの		
69	11/24	3	東西南北		
70	11/24	3	大連基督教慈善病院(三)		連載
□1907年11月25日/明治四十年十一月廿五日/光緒三十三年十月二十日/月曜日/通巻23号/朝刊/版ナン/全4面					
1	11/25	1	社説 徐総督の北行		社説
2	11/25	1	天意公ありや		
3	11/25	1	増税に決せり		
4	11/25	1	船長の罪なり		
5	11/25	1	予の見たる滿洲(十五)「小学校開設は滿洲経営の第一基礎」	遼東豚	連載
6	11/25	1	行雲流水(六)	切水軒	連載
7	11/25	1	読者文芸		
8	11/25	1	世界異聞		
9	11/25	1	宮本一刀伝(二十三)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講演)
10	11/25	2	柏林特電 (二十四日発)		
11	11/25	2	漢堡の恐慌		特電(ベルリン)
12	11/25	2	精神病会延期		特電(ベルリン)
13	11/25	2	倫敦特電 (二十四日発)		
14	11/25	2	葡萄牙軍隊		特電(ロンドン)
15	11/25	2	印度罷業形勢不穩		特電(ロンドン)
16	11/25	2	聖京特電 (二十四日発)		
17	11/25	2	印度鉄道の計画		特電(ベルブルグ)
18	11/25	2	營口特電 (二十三日支局発)		
19	11/25	2	東盛和救済は事実		特電(營口)
20	11/25	2	鉄嶺特電 (二十四日特置員発)		
21	11/25	2	徐総督一行		特電(鉄嶺)
22	11/25	2	長春特電 (二十四日特置員発)		
23	11/25	2	米国総領事		特電(長春)
24	11/25	2	蠟崎大佐		特電(長春)
25	11/25	2	雜報		
26	11/25	2	帝国財政難		雜報
27	11/25	2	滿鉄材料と関税		雜報
28	11/25	2	東西西北利線直通		雜報
29	11/25	2	滿鉄と瓦斯事業		雜報
30	11/25	2	関税手続の改正		雜報
31	11/25	2	滿鉄附属地界標		雜報
32	11/25	2	奉天の毛皮商況		雜報
33	11/25	2	各省近事		
34	11/25	2	西江の海賊捕縛問題		各省近事
35	11/25	2	楊士琦南洋視察状況		各省近事
36	11/25	2	蘇抗俄鉄道問題		各省近事
37	11/25	2	吸煙禁止の辨法		各省近事
38	11/25	2	奉天省塩務一手取扱の請願		
39	11/25	2	安東県に英国領事館設置		
40	11/25	2	營口結氷と大連埠頭		
41	11/25	2	鴨綠江の結氷		
42	11/25	2	日本商の北滿雄飛		
43	11/25	2	沿海州の不漁		
44	11/25	2	倉庫貨物の堆積		
45	11/25	2	換算相場改定		
46	11/25	2	東波止場埋立工場		
47	11/25	2	民政署の多忙		
48	11/25	2	滿韓実業協会組織成る		
49	11/25	2	堀加藤二氏渡欧		
50	11/25	2	長春短信		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
51	11/25	2	集会		
52	11/25	2	人事		
53	11/25	2	為替相場 十一月廿四日		
54	11/25	2	在港艦船		
55	11/25	2	出入船舶		
56	11/25	2	荷役船舶 十一月廿四日		
57	11/25	2	埠頭集積貨物 十一月二十四日[ママ]		
58	11/25	2	宿泊氏名 十一月廿四日		
59	11/25	2	本日本紙 四頁		
60	11/25	3	蒙古犬の話(一)	池畑平次郎氏 談	
61	11/25	3	舌力三名圧死す		
62	11/25	3	御前振られ結ぶ		
63	11/25	3	四十余人泣いて訴ふ		
64	11/25	3	反対に説諭される		
66	11/25	3	同情ある人々の恵与		
67	11/25	3	殊勝の船夫は誰か		
68	11/25	3	悪宿引目玉を喰ふ		
69	11/25	3	山遊楼へ説諭して下さい		
70	11/25	3	外国水兵酔ふて叱らる		
71	11/25	3	料理店組合の懇親会		
72	11/25	3	舌力三名の死体		
73	11/25	3	山万の新築落成		
74	11/25	3	内地雑聞		
75	11/25	3	興行もの		
76	11/25	3	東西南北		
77	11/25	3	大連基督教慈恵病院(四)		連載
□1907年11月26日/明治四十年十一月廿六日/光緒三十三年十月三十日[ママ]/火曜日/通巻24号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/26	1	社説 桂侯爵の地位	在京長星	社説
2	11/26	1	目を刮して見む		
3	11/26	1	奚を盗心多きや		
4	11/26	1	予の見たる満洲(十六) 「小学校開設は満洲経営の基礎」	遼東豚	連載
5	11/26	1	行雲流水(七)	切水軒	連載
6	11/26	1	読者文芸		
7	11/26	1	宮本二刀伝(二十四)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(談話)
8	11/26	2	倫敦特電 (二十五日発)		
9	11/26	2	汽船遭難		特電(ロンドン)
10	11/26	2	紐育特電 (二十五日発)		
11	11/26	2	救済金借入		特電(ニューヨーク)
12	11/26	2	棉花の昂騰		特電(ニューヨーク)
13	11/26	2	東京特電 (二十五日支局発)		
14	11/26	2	東宮御晩餐会		特電(東京)
15	11/26	2	名古屋開港式		特電(東京)
16	11/26	2	陸軍大学卒業式		特電(東京)
17	11/26	2	中村民政長官		特電(東京)
18	11/26	2	北京特電 (二十五日発)		
19	11/26	2	清国借款問題		特電(北京)
20	11/26	2	奉天特電 (二十五日支局発)		
21	11/26	2	犬養一行		特電(奉天)
22	11/26	2	營口特電 (二十五日支局発)		
23	11/26	2	救済協議		特電(營口)
24	11/26	2	雑報		
25	11/26	2	清国海軍拡張		雑報
26	11/26	2	清国借款問題		雑報
27	11/26	2	清国借款問題経過		雑報
28	11/26	2	東盛和事件の救済金支出		雑報
29	11/26	2	南滿と東清の融合		雑報
30	11/26	2	長寛間鉄道開通		雑報
31	11/26	2	徐総督出發光景		雑報
32	11/26	2	徐総督と長春駅の歓迎		雑報
33	11/26	2	東埠頭線の改造		雑報
34	11/26	2	衛生組合常議委員		雑報
35	11/26	2	第一回の豆類輸出		雑報
36	11/26	2	日本蜜柑の輸出		雑報
37	11/26	2	滿韓及内地の交通連絡		雑報
38	11/26	2	衛戍病院の移転		雑報
39	11/26	2	修繕家屋と雇員		雑報
40	11/26	2	鉄嶺郵便出張所の移転		雑報
41	11/26	2	吉長新齊両鉄道		雑報
42	11/26	2	安東師団長以下の着連		雑報
43	11/26	2	山越調査役韓国行		雑報

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
44	11/26	2	満鉄の換算率改正		雑報
45	11/26	2	貔子窩近況		雑報
46	11/26	2	台湾塩の販売近況		雑報
47	11/26	2	東亜煙草株式会社拡張		雑報
48	11/26	2	各省近事		
49	11/26	2	山東省の支那人經過鉄道		各省近事
50	11/26	2	山東巡撫の新任		各省近事
51	11/26	2	日本輸出来		各省近事
52	11/26	2	袁世凱と蘇浙甬鉄道問題		各省近事
53	11/26	2	庫倫銀行紙幣		各省近事
54	11/26	2	張庫鉄道の布設		各省近事
55	11/26	2	風声雨声		
56	11/26	2	人事		
57	11/26	2	為替相場 十一月廿五日		
58	11/26	2	在港艦船		
59	11/26	2	出入船舶		
60	11/26	2	荷役船舶 十一月廿五日		
61	11/26	2	埠頭集載貨物 十一月二十三日[ママ]		
62	11/26	2	宿泊氏名 十一月廿五日		
63	11/26	3	商行叢談		
64	11/26	3	大連と瓦斯業	東京瓦斯会社技師 内藤遊氏 談	
65	11/26	3	関東州の漁業		
66	11/26	3	内国記事		
67	11/26	3	皇上還御		内国記事
68	11/26	3	親菊会		内国記事
69	11/26	3	皇太子出発準備		内国記事
70	11/26	3	加奈陀大臣の巡覽		内国記事
71	11/26	3	隘勇叛乱公報		内国記事
72	11/26	3	対外野球評		
73	11/26	3	南滿洲鉄道案内[ママ](十四)	井田子	連載
74	11/26	3	船中三日	王秋哉	
75	11/26	3	読者の紙面		
76	11/26	3	飲酒に就て	酒中仙	読者の紙面
77	11/26	4	家庭ページ		
78	11/26	4	印度の結婚の話(つづき)		家庭
79	11/26	4	家庭料理		家庭
80	11/26	4	育児の心得(続)		家庭
83	11/26	5	藤八拳(一)	口川舎四代目家元 島村善之介氏 談	
84	11/26	5	彩票抽籤の結果		
85	11/26	5	愛媛県人懇親会		
86	11/26	5	瓢六縮尻物語		
87	11/26	5	お嫁の口はござるませんか		
88	11/26	5	山猫およしの見当違ひ		
89	11/26	5	駈落が得意の芸妓		
90	11/26	5	営口火災後報		
91	11/26	5	怪しいかる支那人の振舞		
92	11/26	5	営業停止を喰ふ料理店		
93	11/26	5	返すか返さぬか		
94	11/26	5	西瓦房店の火事		
95	11/26	5	一昨夜の火事		
96	11/26	5	被害者は届出でよ		
97	11/26	5	千金樂の強窃盗数		
98	11/26	5	純良石映の好評		
99	11/26	5	興行もの		
100	11/26	5	内地雜聞		
101	11/26	5	東西南北		
□1907年11月27日/明治四十年十一月廿七日/光緒三十三年十月廿二日/水曜日/通巻25号/朝刊/版/南/全6面					
1	11/27	1	論説 度量衡の統一	青山	論説
2	11/27	1	救済金借入		
3	11/27	1	南滿東清の融合		
4	11/27	1	東鉄市営問題		
5	11/27	1	予の見たる滿洲(十七) 「安奉線の風致」	遼東隊	連載
6	11/27	1	実業自家短評(十二) 早川千吉郎氏		連載
7	11/27	1	政界氣焰録		
8	11/27	1	読者文芸		
9	11/27	1	宮本二刀伝(二十五)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講演)
10	11/27	2	倫敦特電 二十六日発		
11	11/27	2	俘虜費授受		特電(ロンドン)
12	11/27	2	罷業鎮静		特電(ロンドン)
13	11/27	2	仏国の討伐隊		特電(ロンドン)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
14	11/27	2	婦人参政権運動猖獗		特電(ロンドン)
15	11/27	2	北京特電 二十六日発		
16	11/27	2	間島森林協商		特電(北京)
17	11/27	2	張之洞氏		特電(北京)
18	11/27	2	京城特電 二十六日発		
19	11/27	2	遊学昭勅		特電(京城)
20	11/27	2	東京特電 二十六日発		
21	11/27	2	財政審議		特電(東京)
22	11/27	2	中村長官の訪問		特電(東京)
23	11/27	2	佐藤調査役の倫貝子出迎		特電(東京)
24	11/27	2	後藤総裁の出獄		特電(東京)
25	11/27	2	遼陽特電 二十六日特置員発		
26	11/27	2	久保田警務課長		特電(遼陽)
27	11/27	2	雑報		
28	11/27	2	西比利亞河川調査		雑報
29	11/27	2	成海蘇間鉄道通[ママ]		雑報
30	11/27	2	沈没船引揚中止		雑報
31	11/27	2	法院出張所廃止と弁護士		雑報
32	11/27	2	各省近事		
33	11/27	2	湖北省の外債		各省近事
34	11/27	2	漢口の墨士口領事館		各省近事
35	11/27	2	上海会審衙門破壊賠償分増額		各省近事
36	11/27	2	西藏の輸出入税		各省近事
37	11/27	2	外務部と蘇浙甬鉄道問題		各省近事
38	11/27	2	両広総督交渉の風説		各省近事
39	11/27	2	千代田丸と海務局		
40	11/27	2	大連小学校竣成期		
41	11/27	2	大連興信所設立		
42	11/27	2	満韓実業協会評議員会		
43	11/27	2	古物競売所新設		
44	11/27	2	満鉄検札掃除駅改正		
45	11/27	2	貨物取扱難		
46	11/27	2	連絡航路開始		
47	11/27	2	電柱建立と交通遮断		
48	11/27	2	金州在郷軍人会第二回總會		
49	11/27	2	仏国大使と特別列車		
50	11/27	2	力石民政署長着任期		
51	11/27	2	奉天駅出入荷物		
52	11/27	2	塊炭発売		
53	11/27	2	芝罘通信 (二十日発)		
54	11/27	2	借款問題		通信(芝罘)
55	11/27	2	魏荘閉店後の問題		通信(芝罘)
56	11/27	2	威海衛の大火		通信(芝罘)
57	11/27	2	撫順通信 (二十五日発)		
58	11/27	2	降車の注意		通信(撫順)
59	11/27	2	郵便局の改正		通信(撫順)
60	11/27	2	森林官米坑		通信(撫順)
61	11/27	2	在郷軍人秋季大会		通信(撫順)
62	11/27	2	玉突大会		通信(撫順)
63	11/27	2	居留民会民務引渡		通信(撫順)
64	11/27	2	坂口調査役		通信(撫順)
65	11/27	2	奉天短信 二十五日発		
66	11/27	2	経済小評		
67	11/27	2	人事		
68	11/27	2	為替相場 十一月廿六日		
69	11/27	2	在港艦船		
70	11/27	2	出入船舶		
71	11/27	2	埠頭集散貨物 十一月二十四日[ママ]		
72	11/27	2	宿泊氏名 十一月廿六日		
73	11/27	2	本日附録 府報八十九号添		附録
74	11/27	3	大連宏済局第八十五次彩票当籤表		
75	11/27	3	商工叢談		
76	11/27	3	支那に於る樟脳業(中)[ママ]		商工叢談
77	11/27	3	対外野球戦評(上)		
78	11/27	3	内国記事		
79	11/27	3	総選挙期日決定		内国記事
80	11/27	3	新設事業調		内国記事
81	11/27	3	香取乗組員賢所参拝		内国記事
82	11/27	3	両院議員の菊花拝観		内国記事
83	11/27	3	戦時編制の改正		内国記事
84	11/27	3	大博覧会の審査規程		内国記事

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
85	11/27	3	中学年限延長と英語教授		内国記事
86	11/27	3	下級司法官増俸		内国記事
87	11/27	4	家庭ページ		
88	11/27	4	埃及の婦人(上)		家庭
89	11/27	4	復習の必要		家庭
90	11/27	4	次郎の十五分間		家庭
91	11/27	4	館掛の作り方		家庭
92	11/27	4	育児の心得(続)		家庭
93	11/27	4	家庭教育(一)	大連小学校 櫻本生	家庭
96	11/27	5	絵画の話	藤崎青汀氏 談	
97	11/27	5	社外船と乗客		
98	11/27	5	野呂間亭主の鼻の下		
99	11/27	5	松の家力弥逃げる		
100	11/27	5	孤憑[ママ]は踏仆しの魂胆		
101	11/27	5	悪料理店の恐慌		
102	11/27	5	凄い女五人現はる		
103	11/27	5	昨日の雪		
104	11/27	5	ジャンクの持主に注意		
105	11/27	5	念の入った無銭遊興		
106	11/27	5	機関車に触れて重傷		
107	11/27	5	悪雇人の顔ひ下		
108	11/27	5	不注意から小火		
109	11/27	5	左側通行の励行		
110	11/27	5	偽造銀貨を行使す		
111	11/27	5	興行もの		
112	11/27	5	内地雑聞		
113	11/27	5	東西南北		
114	11/27	5	大連基督教慈惠病院(五)		連載
□1907年11月28日/明治四十年十一月廿八日/光緒三十三年十月廿三日/曜日/通巻第26号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	11/28	1	論説 商業会議所設立の議	木花	論説
2	11/28	1	ル氏重任説		
3	11/28	1	間島問題		
4	11/28	1	韓国棉花栽培		
5	11/28	1	予の見たる滿洲(十八) 「安奉線の風致」	遼東豚	連載
6	11/28	1	実業百家短評(十三) 中橋徳五郎氏		連載
7	11/28	1	読者文芸		
8	11/28	1	世界畫聞		
9	11/28	1	漂泊(十五)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	11/28	2	倫敦特電 (二十七日発)		
11	11/28	2	討伐隊の接戦		特電(ロンドン)
12	11/28	2	独逸海軍予算		特電(ロンドン)
13	11/28	2	紐育特電 (二十七日発)		
14	11/28	2	棉花耕作反別制限		特電(ニューヨーク)
15	11/28	2	香港電報 (二十七日特置員発)		
16	11/28	2	救世軍活動		電報(香港)
17	11/28	2	敦賀特電 (二十七日発)		
18	11/28	2	露人の東方視察		特電(敦賀)
19	11/28	2	奉天特電 (二十七日支局発)		
20	11/28	2	大義毅氏[ママ]		特電(奉天)
21	11/28	2	遼陽特電 (二十七日特置員発)		
22	11/28	2	安東第十師団長		特電(遼陽)
23	11/28	2	久保田警務課長		特電(遼陽)
24	11/28	2	營口特電 (二十七日支局発)		
25	11/28	2	師団長視察		特電(營口)
26	11/28	2	雑報		
27	11/28	2	西寛城子と長春		雑報
28	11/28	2	露人の太平洋漁業		雑報
29	11/28	2	鴨緑江岸森林製材		雑報
30	11/28	2	東盛和事件の市場救済		雑報
31	11/28	2	陸軍糧秣と購買地		雑報
32	11/28	2	大連海務局の新築		雑報
33	11/28	2	東埠頭線改造見合		雑報
34	11/28	2	東埠頭の新設線路		雑報
35	11/28	2	大連衛生組合総会		雑報
36	11/28	2	各省近事		
37	11/28	2	学生言論禁止の諭旨		各省近事
38	11/28	2	浙江巡撫着任		各省近事
39	11/28	2	福建省鉱山權回復運動		各省近事
40	11/28	2	北海南寧鉄道		各省近事
41	11/28	2	汴洛鉄道落成		各省近事

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
42	11/28	2	満鉄叢報		
43	11/28	2	職員特別採用規程		満鉄叢報
44	11/28	2	停車場の廃置		満鉄叢報
45	11/28	2	長春寛城子間旅客取扱方		満鉄叢報
46	11/28	2	長春行賞金		満鉄叢報
47	11/28	2	大連旅順間の時間		満鉄叢報
48	11/28	2	運賃の計算		満鉄叢報
49	11/28	2	谷技師の出張		満鉄叢報
50	11/28	2	膠州湾租借十年記念会		
51	11/28	2	大連罐弁会の設立		
52	11/28	2	防寒具の配布		
53	11/28	2	千代田丸引揚慰労金		
54	11/28	2	警務課長巡閲		
55	11/28	2	力石民政署長出発期		
56	11/28	2	営口最近の本邦在留民		
57	11/28	2	遼陽通信（二十五日発）		
58	11/28	2	于冲漢氏の招待会		通信(遼陽)
59	11/28	2	軽便鉄道の昨今		通信(遼陽)
60	11/28	2	加茂方外氏		通信(遼陽)
61	11/28	2	市区改正		通信(遼陽)
62	11/28	2	安東通信		
63	11/28	2	列車回数増加		通信(安東)
64	11/28	2	安東貯蓄会の盛況		通信(安東)
65	11/28	2	安東電気の近況		通信(安東)
66	11/28	2	市街の測量		通信(安東)
67	11/28	2	風声雨声		
68	11/28	2	人事		
69	11/28	2	為替相場 十一月廿七日		
70	11/28	2	在港艦船		
71	11/28	2	出入船舶		
72	11/28	2	荷役船舶 十一月廿七日		
73	11/28	2	埠頭集積貨物 十一月二十五日[ママ]		
74	11/28	2	宿泊氏名 十一月廿七日		
75	11/28	3	支那内地の鉱業		
76	11/28	3	商工叢談		
77	11/28	3	支那に於る樟脳業(下)		商工叢談
78	11/28	3	英文一口癖		
79	11/28	3	南滿洲鉄道案内(十四)[ママ]	井田子	連載
80	11/28	3	内国記事		
81	11/28	3	財政当局の苦衷		内国記事
82	11/28	3	来年度北海道経営		内国記事
83	11/28	3	大博の年度割変更		内国記事
84	11/28	3	駐独大使更迭		内国記事
85	11/28	3	間島の首府		
86	11/28	3	読者の紙面		
87	11/28	3	苦味一読	吉田生	読者の紙面
88	11/28	4	宮本二刀伝(二十六)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
89	11/28	4	家庭ページ		
90	11/28	4	埃及の婦人(下)		家庭
91	11/28	4	家庭教育(二)	大連小學校 櫻本生	家庭
99	11/28	5	絵面の話(続)	藤崎青汀氏 談	
100	11/28	5	警官派出所の犬		
101	11/28	5	悪請負業者入久組の連累者か		
102	11/28	5	種痘と日其割[ママ]		
103	11/28	5	逃亡して泥棒を働く兵士		
104	11/28	5	欺されて取られた離縁状		
105	11/28	5	情夫に説諭して下さい		
106	11/28	5	四人組の悪支那人		
107	11/28	5	警務課小事故		
108	11/28	5	鷺鳥のうるうる		
109	11/28	5	汽車に石を投げる子供		
110	11/28	5	感心な支那人		
111	11/28	5	在郷軍人に注意す		
112	11/28	5	興行もの		
113	11/28	5	内地雑聞		
114	11/28	5	藤八拳(二)	口川舎四代目家元 島村善之介氏 談	
□1907年11月29日/明治四十年十一月廿九日/光緒三十三年十月廿四日/金曜日/通巻27号/朝刊/版ナン/全6面					
1	11/29	1	論説 支那語の必要(鉄道の諸員に望む)	柳樹	論説
2	11/29	1	旨味ある哉.言		
3	11/29	1	東方政策は什麼		

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
4	11/29	1	善し矣其方法や		
5	11/29	1	予の見たる満洲(十九) 「安奉線の風致」	遼東豚	連載
6	11/29	1	行雲流水(八)	切水軒	連載
7	11/29	1	読者文芸		
8	11/29	1	漂泊(十六)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	11/29	2	東京特電 二十八日支扇発		
10	11/29	2	馬政長官更迭説		特電(東京)
11	11/29	2	新設師団設備		特電(東京)
12	11/29	2	総選挙期日		特電(東京)
13	11/29	2	雑報		
14	11/29	2	海務局の新設		雑報
15	11/29	2	大連港則出づ		雑報
16	11/29	2	京奉鉄道運賃低減		雑報
17	11/29	2	遼河水運と両鉄道		雑報
18	11/29	2	清国鉄道予定線		雑報
19	11/29	2	複線工事現況		雑報
20	11/29	2	旅大広軌車に就て		雑報
21	11/29	2	營口に於ける撫順炭の初輸出		雑報
22	11/29	2	クレーン延着の影響		雑報
23	11/29	2	各省近事		
24	11/29	2	山西省鉱山権回復運動		各省近事
25	11/29	2	日本僧侶布教問題		各省近事
26	11/29	2	雲南と仏国宣教師		各省近事
27	11/29	2	滿鉄叢報		
28	11/29	2	旅順線乗降場		滿鉄叢報
29	11/29	2	時間改正に際する整理		滿鉄叢報
30	11/29	2	煙房署と駅夫		滿鉄叢報
31	11/29	2	保線区々域の変更		滿鉄叢報
32	11/29	2	スレートと大連市街		
33	11/29	2	鉄嶺の煉瓦事業		
34	11/29	2	電灯取付費免除		
35	11/29	2	水産会社の創設準備		
36	11/29	2	昨日の衛生組合総会		
37	11/29	2	郵便局の繁忙		
38	11/29	2	埃太利公使夫人の帰国		
39	11/29	2	幼稚園の移転		
40	11/29	2	營口通信 (二十七日発)		
41	11/29	2	遼河結氷		通信(營口)
42	11/29	2	過炉銀価格の恢復		通信(營口)
43	11/29	2	經濟小評		
44	11/29	2	人事		
45	11/29	2	為替相場 十一月廿八日		
46	11/29	2	在港艦船		
47	11/29	2	出入船舶		
48	11/29	2	荷役船舶 十一月廿八日		
49	11/29	2	埠頭集散貨物 十一月二十六日		
50	11/29	2	本日府報第百九十八号		附録
51	11/29	3	商工叢談		商工叢談
52	11/29	3	高粱の話		
53	11/29	3	南滿洲鉄道案内(十五)	井田子	連載
54	11/29	3	英語一口晰		
55	11/29	3	訪問		
56	11/29	3	満洲商業観	大蔵省官吏 宮崎駿児氏 談	
57	11/29	3	思潮一斑		
58	11/29	3	内国記事		
59	11/29	3	商業会議所改正議		内国記事
60	11/29	3	留学生予算と給費額増加		内国記事
61	11/29	3	勸銀農銀合同案		内国記事
62	11/29	3	露探露国に去らんとす		内国記事
63	11/29	3	欧米列国歳計		内国記事
64	11/29	3	日韓本年の構作		内国記事
65	11/29	3	南米移民と外務省		内国記事
66	11/29	3	全国製肥連合会の成立		内国記事
67	11/29	3	特設部隊の解散		内国記事
68	11/29	3	寄書 大連民団発達史		
69	11/29	4	宮本二刀伝(二十七)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
70	11/29	4	家庭ページ		
71	11/29	4	家庭雑感		家庭
72	11/29	4	小学生徒と服装		家庭
73	11/29	4	家庭教育(三)	大連小学校 榎本生	家庭
74	11/29	4	よるづ案内		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
89	11/29	5	書の話	渡邊鳥城氏 談	
90	11/29	5	木曾川丸の行衛		
91	11/29	5	短銃強盗捕はる		
92	11/29	5	支那ジャンク沈没す		
93	11/29	5	厄介な女郎に飛込まれる		
94	11/29	5	一夜に三度賊を逐ふ		
95	11/29	5	汽船から落ちて重傷		
96	11/29	5	大賭博の手入れ		
97	11/29	5	踏み損つて乱暴する		
98	11/29	5	警務課小事故		
99	11/29	5	病院の開業と施療		
100	11/29	5	開暮集会所の新設		
101	11/29	5	興行もの		
102	11/29	5	内地雑聞		
103	11/29	5	正誤申込		
104	11/29	5	旅順座の景況		
□1907年11月30日/明治四十年十一月三十日/光緒三十三年十月廿五日/土曜日/通巻28号/朝刊/版3面/全6面					
1	11/30	1	論説 二箇の風教問題	長星	論説
2	11/30	1	売比律賓問題		
3	11/30	1	蘇抗甬借款		
4	11/30	1	帝国議會		
5	11/30	1	予の見たる満洲(二十) 「憐れむべき酌婦」	遼東豚	連載
6	11/30	1	実業百家短評(十四) 福沢桃介氏		連載
7	11/30	1	読者文芸		
8	11/30	1	漂泊(十七)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	11/30	2	倫敦特電 (二十八日発)		
10	11/30	2	遠征隊の追撃		特電(ロンドン)
11	11/30	2	英国の大旋風		特電(ロンドン)
12	11/30	2	自働車の衝突		特電(ロンドン)
13	11/30	2	紐育特電 (二十八日発)		
14	11/30	2	軽気球と電話		特電(ニューヨーク)
15	11/30	2	營口特電 (二十九日発)		
16	11/30	2	安東師団長		特電(營口)
17	11/30	2	満鉄街線抗議		特電(營口)
18	11/30	2	東盛和号救済法考究		特電(營口)
19	11/30	2	奉天特電 (二十九日発)		
20	11/30	2	犬養毅氏		特電(奉天)
21	11/30	2	開原特電 (二十九日日常置員発)		
22	11/30	2	犬養氏通過		特電(開原)
23	11/30	2	雑報		
24	11/30	2	清露採炭条約		雑報
25	11/30	2	戦役賠償要求		雑報
26	11/30	2	清露森林条約		雑報
27	11/30	2	東亜汽船開航		雑報
28	11/30	2	愈よ吉長線踏査		雑報
29	11/30	2	新奉線に対する物議		雑報
30	11/30	2	清国鉄道敷設決定		雑報
31	11/30	2	列強駐京軍増加説		雑報
32	11/30	2	露国の蒙古測量		雑報
33	11/30	2	奉天行省公署の事務		雑報
34	11/30	2	徐総督北行の要旨		雑報
35	11/30	2	大連衛生組合規約		雑報
36	11/30	2	各省近事		
37	11/30	2	福建省鉄道問題		各省近事
38	11/30	2	蘇抗甬鉄道問題		各省近事
39	11/30	2	京張鉄道の燃料		各省近事
40	11/30	2	海務局の新築費		
41	11/30	2	陸軍糧食と韓国米		
42	11/30	2	奉天森林学堂		
43	11/30	2	遼陽教練所の設置		
44	11/30	2	関東州水産組合評議員		
45	11/30	2	清国調査事業と東亜同文会		
46	11/30	2	棧橋待合所の設備		
47	11/30	2	營口競馬会社株式募集		
48	11/30	2	満鉄換算相場		
49	11/30	2	奉天雑信 (二十七日発)		
50	11/30	2	大石橋遊信 (二十八日発)		
51	11/30	2	久保田警務課長		通信(大石橋)
52	11/30	2	倶楽部組織		通信(大石橋)
53	11/30	2	大連病院大石橋出張所来任		通信(大石橋)

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
54	11/30	2	瓦房店通信 (二十八日発)		
55	11/30	2	布教師米瓦		通信(瓦房店)
56	11/30	2	混浴禁止		通信(瓦房店)
57	11/30	2	為替相場 十一月廿九日		
58	11/30	2	在港艦船		
59	11/30	2	出入船舶		
60	11/30	2	荷役船舶 十一月廿九日		
61	11/30	2	埠頭集載貨物 十一月二十七日[ママ]		
62	11/30	2	宿泊氏名 十一月廿九日		
63	11/30	2	本日附録 大連民政署報第二十号		
64	11/30	3	清国国内の鉱業		
65	11/30	3	関東州の漁業(続)		
66	11/30	3	南滿洲鉄道案内(十六)	井田子	連載
67	11/30	3	英文一口喃		
68	11/30	3	名士名画を購ふ(後藤総裁の義侠)		
69	11/30	3	内国記事		
70	11/30	3	製艦業の新紀元		内国記事
71	11/30	3	有力機関車製造		内国記事
72	11/30	3	愛国婦人会の救護願		内国記事
73	11/30	3	京城通信 (廿二日発)		
74	11/30	3	韓国皇儲御待遇		
75	11/30	3	統監に賜れる勅語		
76	11/30	3	東宮御遊学の詔勅		
77	11/30	3	伊藤統監の帰朝		
78	11/30	3	内部新官制		
79	11/30	3	関税局新設		
80	11/30	3	仁川開港記念祭		
81	11/30	3	鴨緑江の島嶼		
82	11/30	3	寄書 大連民団発達史(下)		
83	11/30	4	宮本二刀伝(二十八)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
84	11/30	4	家庭ページ		
85	11/30	4	家庭教育(四)	大連小学校 榎本生	
86	11/30	4	土産		
87	11/30	4	よろづ案内		
88	11/30	4	革製洋式帳簿製造 小林又七支店		
89	11/30	4	哈爾濱 新設 日本ホテル		
90	11/30	4	和洋雜貨 林洋行		
91	11/30	4	文明厨炉 島田支店		
92	11/30	4	玩具卸 湖月商会		
94	11/30	4	防寒各種 金大登洋行		
95	11/30	4	■■■■		
96	11/30	4	金物 船具 器械 塗具 原田組商業部		
97	11/30	4	哈爾濱 東洋旅館		
98	11/30	4	石綿万代瓦 鎌村商会		
99	11/30	5	書の話(続)	渡邊島城氏 談	
100	11/30	5	木曾川丸は無事		
102	11/30	5	牛家屯の強盗殺人		
103	11/30	5	酌婦を斃節にして逃げらる		
104	11/30	5	飛んだ無法者に殴らる		
105	11/30	5	火災予防と警邏表		
106	11/30	5	警務課小事故		
107	11/30	5	營口の彩票当籤者		
108	11/30	5	旅順の酌婦斬		
109	11/30	5	興行もの		
110	11/30	5	内地雜聞		
111	11/30	5	岡山孤児院の事ども		
□1907年12月1日/明治四十年十二月一日/光緒三十三年十月廿六日/日曜日/通巻29号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/01	1	論説 京奉線の競争	両崖	論説
2	12/01	1	衛生会組織成る		
3	12/01	1	何ぞ滑稽なるや		
4	12/01	1	海務局の創設		
5	12/01	1	予の見たる滿洲(二十一)「醫れむべき酌婦(続)」 「滿洲の温泉」	遼東隊	連載
6	12/01	1	行雲流水(九)	切水軒	連載
7	12/01	1	読者文芸		
8	12/01	1	世界異聞		
9	12/01	1	漂泊(十八)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	12/01	2	紐育特電 (二十八日発)		
11	12/01	2	紳商の捕縛と自殺		特電(ニューヨーク)
12	12/01	2	聖都特電 (二十六日発)		
13	12/01	2	鉄道費と勅語		特電(ベルブルグ)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
14	12/01	2	軍艦模型購入		特電(ペテルブルグ)
15	12/01	2	京城特電 (三十日常置員発)		
16	12/01	2	露総領事帰国		特電(京城)
17	12/01	2	東京特電 (三十日支局発)		
18	12/01	2	大島都督帰期		特電(東京)
19	12/01	2	雑報		
20	12/01	2	斉昂鉄道と東清鉄道		雑報
21	12/01	2	地方税則の改正		雑報
22	12/01	2	旅順民政署長訓示		雑報
23	12/01	2	大連市の道路改修		雑報
24	12/01	2	營口附近の警戒		雑報
25	12/01	2	安東師団長の旅程		雑報
26	12/01	2	大連衛生組合規約		雑報
27	12/01	2	鉄道共済組合成績		雑報
28	12/01	2	各省近事		
29	12/01	2	蒙古と行省制		各省近事
30	12/01	2	滿漢人畛域廢止		各省近事
31	12/01	2	蒙古に於る清露航約		各省近事
32	12/01	2	外務部と雲南仏國領事		各省近事
33	12/01	2	湖南省日本輸出来		各省近事
34	12/01	2	袁張二氏の優遇		各省近事
35	12/01	2	奉天に於ける犬養氏		各省近事
36	12/01	2	海務局職員		
37	12/01	2	四等補充券の設備		
38	12/01	2	埠頭の豆粕増加		
39	12/01	2	松花江結氷		
40	12/01	2	旅順の衛生統計		
41	12/01	2	十一月中旬の漁況		
42	12/01	2	吉林在留の邦人		
43	12/01	2	鉄嶺通信 (二十九日発)		
44	12/01	2	矢野支庫長送別会		通信(鉄嶺)
45	12/01	2	道路改修		通信(鉄嶺)
46	12/01	2	居留民会の事業		通信(鉄嶺)
47	12/01	2	軍旗祭		通信(鉄嶺)
48	12/01	2	天野領事		通信(鉄嶺)
49	12/01	2	郵便局		通信(鉄嶺)
50	12/01	2	警務支局		通信(鉄嶺)
51	12/01	2	出張所と病院		通信(鉄嶺)
52	12/01	2	風声雨声		
53	12/01	2	集余		
54	12/01	2	人事		
55	12/01	2	為替相場 十一月三十日		
56	12/01	2	在港艦船		
57	12/01	2	出入艦船		
58	12/01	2	荷役船舶 十一月三十日		
59	12/01	2	埠頭集散貨物 十一月三十日		
60	12/01	2	宿泊氏名 十一月三日[ママ]		
61	12/01	2	本日附録 改正汽車時間表及十一月中府報目録		附録
62	12/01	3	支那内地の鉱業(二) 福公司		
63	12/01	3	商工叢談		
64	12/01	3	大豆		商工叢談
65	12/01	3	英文一口断		
66	12/01	3	南滿洲鉄道案内(十七)	井田子	連載
67	12/01	3	思潮一斑		
68	12/01	3	豪傑譚	草老泉	
69	12/01	3	内国記事		
70	12/01	3	韓太子御一行		内国記事
71	12/01	3	改正陸軍刑法		内国記事
72	12/01	3	坐艦艦連		内国記事
73	12/01	3	トルストイ伯論叢 意思の自由(一)	きはら生 訳	
74	12/01	4	宮本二刀伝(二十九)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
75	12/01	4	家庭ページ		
76	12/01	4	家庭教育(五)	大連小学校 櫻本生	家庭
77	12/01	4	賢母良妻主義		家庭
78	12/01	4	杜蠟料理法	千勝館 能仁章吉氏 談	家庭
79	12/01	4	よろづ案内		
86	12/01	5	書の話(続)	渡邊鳥城氏 談	
87	12/01	5	岡山孤児院の事ども 続		
88	12/01	5	劇場寿座の成行如何		
89	12/01	5	新年給附録		予告
90	12/01	5	旅順酌婦斬り後聞		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
91	12/01	5	江戸児芸妓反り返る		
92	12/01	5	妾悔悟して縊首す		
93	12/01	5	酔漢怪気焔を吐く		
94	12/01	5	飛むだ支配人を置く		
95	12/01	5	横着女の糞度胸		
96	12/01	5	子を思ふ親の心はこれ		
97	12/01	5	無法なる日本人三名		
98	12/01	5	芸妓と娼妓の自由廃業		
99	12/01	5	他人の妻と共謀の泥棒		
100	12/01	5	苦力の死体漂流す		
101	12/01	5	鼻の下のご用心		
102	12/01	5	警務課小事故		
103	12/01	5	異行もの		
104	12/01	5	内地雑聞		
105	12/01	5	取消と正誤		
□1907年12月2日/明治四十年十二月二日/光緒三十三年十月廿七日/日曜日/通巻30号/朝刊/版ナン/全4面					
1	12/02	1	論説 速やかに柳樹屯を経営せよ		論説
2	12/02	1	タフト氏開国		
3	12/02	1	時勢とせざる也		
4	12/02	1	支那に於ける墳墓及び風水		連載
5	12/02	1	予の見たる満洲(二十二) 「満洲の温泉(続)」	遠東豚	連載
6	12/02	1	行雲流水(十)	切水軒	連載
7	12/02	1	実業百家短評(十五) 滝兵衛門氏[ママ]		連載
8	12/02	1	漂泊(十九)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/02	2	倫敦特電 (一日発)		
10	12/02	2	仏国海軍の悲観		特電(ロンドン)
11	12/02	2	救済金送付		特電(ロンドン)
12	12/02	2	名士の訃		特電(ロンドン)
13	12/02	2	紐育特電 (一日発)		
14	12/02	2	仲買人の自殺		特電(ニューヨーク)
15	12/02	2	遼陽特電 (一日特置員発)		
16	12/02	2	巡警局開始		特電(遼陽)
17	12/02	2	雑報		
18	12/02	2	奉天省の財政困難		雑報
19	12/02	2	奉天鑄貨と紙幣		雑報
20	12/02	2	営口競馬の成立難		雑報
21	12/02	2	満鉄大連病院組織変更		雑報
22	12/02	2	大連衛生組合規約(続)		雑報
23	12/02	2	各省近事		
24	12/02	2	張庫鉄道の延長		各省近事
25	12/02	2	広東人民と軍艦派遣		各省近事
26	12/02	2	財政と度支部		各省近事
27	12/02	2	蒙古の報効国民捐		各省近事
28	12/02	2	三省陸軍兵会操		各省近事
29	12/02	2	蘇浙甬問題代表者の入京		各省近事
30	12/02	2	浙江省の匪乱		各省近事
31	12/02	2	黒竜江巡撫弾劾さる		各省近事
32	12/02	2	王文鎮の辞任		各省近事
33	12/02	2	鴨綠江移民募集		
34	12/02	2	満鉄附属地小学校の冬期休暇		
35	12/02	2	州外警察の状況		
36	12/02	2	大連衛生組合常議員会		
37	12/02	2	満鉄宿舍の新設		
38	12/02	2	氷滑場竣工期		
39	12/02	2	鉄道材料陸揚の困難		
40	12/02	2	奉天の官煙改定価格		
41	12/02	2	貔子窩塩業の近況		
42	12/02	2	蓋平のベスト		
43	12/02	2	十月中営口輸出品		
44	12/02	2	奉天短信		
45	12/02	2	金州短信		
46	12/02	2	附属地産出入比較(会社直営前後に於ける)		
47	12/02	2	風声雨声		
48	12/02	2	人事		
49	12/02	2	為替相場 十一月三十日		
50	12/02	2	在港艦船 十二月一日		
51	12/02	2	出入船舶		
52	12/02	2	埠頭集散貨物 十一月二十九日		
53	12/02	2	宿泊氏名 十一月三日		
54	12/02	3	藤八拳(三)	口川舎四代目家元 島村善之介氏 談	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
55	12/02	3	慈善演芸会と貴婦人		
56	12/02	3	大連病院の大手術		
57	12/02	3	古塚の首舌力を走らす		
58	12/02	3	松の家の女将憎気返る		
59	12/02	3	不埒なる継母の毒計		
60	12/02	3	新年絵附録		
61	12/02	3	姉と弟の親み合ひ		
62	12/02	3	古板一枚が争ひの種		
63	12/02	3	不埒なる大工と酌婦		
64	12/02	3	無頼の露人退散す		
65	12/02	3	劇場で晒した赤恥		
66	12/02	3	江戸兒芸妓の勝利		
67	12/02	3	遼陽東洋美団の好況		
68	12/02	3	退去者遼陽をうるつく		
69	12/02	3	小気味の宜い料理店の迷惑		
70	12/02	3	支那小泥棒と取締		
71	12/02	3	無鑑札の酌婦叱らる		
72	12/02	3	不正支那旅館の検査		
73	12/02	3	吝な泥棒二人		
74	12/02	3	貪利支那人のお灸		
75	12/02	3	興行もの		
76	12/02	3	内地雜門		
77	12/02	3	東西南北		
78	12/02	4	宮本二刀依(三十)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
□1907年12月3日/明治四十年十二月三日/光緒三十三年十月廿八日/火曜日/通巻31号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/03	1	論説 速やかに柳樹屯を経営せよ(続)	櫻白	論説
2	12/03	1	蠢愚用ゆべき哉		
3	12/03	1	馬既に逸せり矣		
4	12/03	1	成功せり大連病院		
5	12/03	1	予の見たる満洲(二十三) 「満洲の温泉(続)」	遼東豚	連載
6	12/03	1	行雲流水(十一)	切水軒	連載
7	12/03	1	読者文芸		
8	12/03	1	漂泊(二十)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/03	2	倫敦特電 (二日発)		
10	12/03	2	口元帥の成功		特電(ロンドン)
11	12/03	2	名婦の表彰		特電(ロンドン)
12	12/03	2	同盟麗業の失敗		特電(ロンドン)
13	12/03	2	圧搾空気爆発		特電(ロンドン)
14	12/03	2	証券不景集		特電(ロンドン)
15	12/03	2	紐育特電 (二日発)		
16	12/03	2	南垂の叛乱		特電(ニューヨーク)
17	12/03	2	フ氏の言明		特電(ニューヨーク)
18	12/03	2	伯林特電 (二日発)		
19	12/03	2	独相の公言		特電(ベルリン)
20	12/03	2	東京特電 (二日支局発)		
21	12/03	2	倫貝子		特電(東京)
22	12/03	2	石井通商局長帰朝		特電(東京)
23	12/03	2	シーボフ氏饗宴		特電(東京)
24	12/03	2	判任官行費発表		特電(東京)
25	12/03	2	松岡洋右氏転任		特電(東京)
26	12/03	2	遼陽特電 (二日発)		
27	12/03	2	旅団長巡回		特電(遼陽)
28	12/03	2	郵便局移庁式		特電(遼陽)
29	12/03	2	度支司来着		特電(遼陽)
30	12/03	2	雑報		
31	12/03	2	徐総督北行に就て		
32	12/03	2	新民屯附近の石炭		
33	12/03	2	度量衡規則の制定		
34	12/03	2	大連市内の金融		
35	12/03	2	大連衛生組合規約(続)		
36	12/03	2	各省近事		
37	12/03	2	西江捕魚權と外務部		各省近事
38	12/03	2	亜片専売法の実施		各省近事
39	12/03	2	各省州県官久任命令		各省近事
40	12/03	2	間島問題と吉林巡撫		各省近事
41	12/03	2	運輸部内地大連間定期		
42	12/03	2	奉天馬鉄の開始期		
43	12/03	2	東棧橋線改造と貨物		
44	12/03	2	乗船切符共同販売		
45	12/03	2	旅順の陸軍晩餐会		

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
46	12/03	2	洋服商組合の成立		
47	12/03	2	韓米の満洲輸入高		
48	12/03	2	大連の製氷事業		
49	12/03	2	遼河の流水		
50	12/03	2	浦塩に於ける外国人		
51	12/03	2	民政署移転延期		
52	12/03	2	瓦房店短信 (二日発)		
53	12/03	2	新旧駅長の送迎会		短信(瓦房店)
54	12/03	2	遼陽警務署長		短信(瓦房店)
55	12/03	2	満鉄附屬地公費予算		
56	12/03	2	経済小評		
57	12/03	2	人事		
58	12/03	2	為替相場 十二月二日		
59	12/03	2	在港艦船		
60	12/03	2	出入船舶		
61	12/03	2	荷役船舶 十二月二日		
62	12/03	2	埠頭集積貨物 十一月三十日		
63	12/03	2	宿泊氏名 十二月二日		
64	12/03	2	宿泊氏名 十二月二日		
65	12/03	2	電話増設		社告
66	12/03	3	英国領事満洲貿易観	奉天 英国領事	
67	12/03	3	支那内地の鉱業(二) 福公司		
68	12/03	3	思潮一斑		
69	12/03	3	南満洲鉄道案内(十八)	井田子	
70	12/03	3	内国記事		
71	12/03	3	外国品に関する通牒		内国記事
72	12/03	3	燐寸税新設の説		内国記事
73	12/03	3	新年号と初刊		社告
74	12/03	3	製茶貿易の前途		内国記事
75	12/03	3	米価騰貴と台湾米		内国記事
76	12/03	3	全国農事会大会		内国記事
77	12/03	3	トルストイ伯論叢 意思の自由(二)	きはら生 訳	
78	12/03	3	読者の紙面		
79	12/03	3	満洲民族の衰微	上成子	読者の紙面
80	12/03	4	宮本二刀伝(三十一)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
81	12/03	4	家庭ページ		
82	12/03	4	家庭教育(六)	大連小学校 櫻本生	家庭
83	12/03	4	下女と家庭		家庭
84	12/03	4	凍瘡と子供		家庭
85	12/03	4	よるづ案内		
90	12/03	5	層級の話(上)		
91	12/03	5	惨殺屍体詳報		
92	12/03	5	旅順の謀殺未遂事件		
93	12/03	5	酔漢女湯を鬧がす		
94	12/03	5	児ある家庭へ注意		
95	12/03	5	男も男 女も女なり		
96	12/03	5	消防夫へ訓示		
97	12/03	5	危い子供の悪戯		
99	12/03	5	劇場で威張る厄介医者		
100	12/03	5	支那人の行付け		
101	12/03	5	青柳華嬢内地へ帰る		
102	12/03	5	岡山孤児院へ寄附		
103	12/03	5	山口商店の売出し		
104	12/03	5	興行もの		
105	12/03	5	内地雑聞		
106	12/03	5	東西南北		
107	12/03	5	芸妓身上判断		予告
108	12/03	5	活地獄(其一)		
□1907年12月4日/明治四十年十二月四日/光緒三十三年十月廿九日/水曜日/通巻32号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/04	1	論説 大棧橋の屋根と停車場	瀧耳生	論説
2	12/04	1	新邱炭の採炭		
3	12/04	1	支那に於ける墳墓及び風水(二)	野鶴生	連載
4	12/04	1	予の見たる満洲(二十四) 「満洲の温泉(続)」	遼東豚	連載
5	12/04	1	読者文芸		
6	12/04	1	宮本二刀伝(三十二)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
7	12/04	2	倫敦特電 三日発		
8	12/04	2	金融緩和		特電(ロンドン)
9	12/04	2	東京特電 三日支局発		
10	12/04	2	大島都督消息		特電(東京)
11	12/04	2	シーボフ氏		特電(東京)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
12	12/04	2	後藤総裁の招待		特電(東京)
13	12/04	2	中村民政長官		特電(東京)
14	12/04	2	判任官行賞		特電(東京)
15	12/04	2	加奈陀大臣		特電(東京)
16	12/04	2	营口特電 三日支局発		
17	12/04	2	豪商の破綻		特電(营口)
18	12/04	2	東盛和事件決済		特電(营口)
19	12/04	2	馬賊の捕縛		特電(营口)
20	12/04	2	鉄嶺特電 三日特置員発		
21	12/04	2	汽車の中の馬賊		特電(鉄嶺)
22	12/04	2	雑報		
23	12/04	2	营口満鉄延長線と東清鉄道条約		
24	12/04	2	露国私有財産引渡		
25	12/04	2	日露両鉄道連絡後報		
26	12/04	2	遼陽市の商況		
27	12/04	2	満韓と内地交通		
28	12/04	2	海底通信の譲渡		
29	12/04	2	台湾陸軍の叛乱		
30	12/04	2	各省近事		
31	12/04	2	西江浦塩問題と広東人		各省近事
32	12/04	2	膠済鉄道電線と清国電線		各省近事
33	12/04	2	農務大臣設置の議		各省近事
34	12/04	2	山西省巡撫の交迭		各省近事
35	12/04	2	各省官地調査		各省近事
36	12/04	2	黄河大鉄橋と黄河水利		各省近事
37	12/04	2	満鉄叢報		
38	12/04	2	寛城子発着荷客取扱方		満鉄叢報
39	12/04	2	安奉線所要石炭		満鉄叢報
40	12/04	2	社員用石炭代		満鉄叢報
41	12/04	2	交代兵の来着		
42	12/04	2	満鉄の客車等級		
43	12/04	2	大連商品陳列館出品物の競売		
44	12/04	2	弁護士組合設置		
45	12/04	2	鴨緑江の結氷		
46	12/04	2	守備隊への謝礼		
47	12/04	2	鉄嶺通信 二日発		
48	12/04	2	松本軍医監		通信(鉄嶺)
49	12/04	2	半田病院長		通信(鉄嶺)
50	12/04	2	仏教婦人会		通信(鉄嶺)
51	12/04	2	経済小評		
52	12/04	2	人事		
53	12/04	2	為替相場 十二月三日		
54	12/04	2	在港艦船		
55	12/04	2	出入船舶		
56	12/04	2	荷役船舶 十二月三日		
57	12/04	2	宿泊氏名 十二月三日		
58	12/04	3	商工叢談		
59	12/04	3	油屋の話(一)		商工叢談
60	12/04	3	支那内地の鉱業(二) 福公司		商工叢談
61	12/04	3	南滿洲鉄道案内(十九)	井田子	連載
62	12/04	3	英文一口癖		
63	12/04	3	時事漫言	逸民	
64	12/04	3	新年号と初刊		予告
65	12/04	3	内国記事		
66	12/04	3	加奈太[ママ]大臣謁見		内国記事
67	12/04	3	太皇運宮		内国記事
68	12/04	3	清国答礼大使		内国記事
69	12/04	3	大師の拜礼式		内国記事
70	12/04	3	三笠試運転		内国記事
71	12/04	3	トルストイ伯論叢 意志の自由(三)	きはら生 訳	
72	12/04	3	読者の紙面		
73	12/04	3	酒中仙君に答ふ	禁酒生	読者の紙面
74	12/04	4	家庭ページ		
75	12/04	4	真珠の偽造		家庭
76	12/04	4	閑院宮妃殿下		家庭
77	12/04	4	炉辺雑話	百合	家庭
78	12/04	4	茄子歯の療法		家庭
79	12/04	4	剃刀の使用		家庭
80	12/04	4	手の皮膚の粗糲		家庭
81	12/04	4	乾魚料理		家庭
82	12/04	4	よろづ案内		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
86	12/04	5	屠殺の話(一)		
87	12/04	5	旅順謀殺未遂事件後報		
88	12/04	5	不埒なる店員捕はる		
89	12/04	5	慈善演芸会と番組		
90	12/04	5	継子四人を虐待する		
91	12/04	5	哀はれなる豹婦死す		
93	12/04	5	馬賊と思つたは鼠賊		
94	12/04	5	虎口を逃れて国元へ		
95	12/04	5	朋輩の身の上を憫む		
96	12/04	5	宮口の写真展覧会		
97	12/04	5	扇芳亭の新顔		
98	12/04	5	妾と年増の金髪夜叉		
99	12/04	5	米二俵の泥棒掴まる		
100	12/04	5	興行もの		
101	12/04	5	東西南北		
102	12/04	5	芸妓身上判断		予告
103	12/04	5	内地雑聞		
104	12/04	5	活地獄(其二)		
□1907年12月5日/明治四十年十二月五日/光緒三十三年十月卅日/木曜日/通巻33号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/05	1	論説 清国政界の急潮	二志	論説
2	12/05	1	科学と災禍		
3	12/05	1	岡山孤兒院		
4	12/05	1	予の見たる滿洲(二十五) 「千山の絶勝」	遼東豚	連載
5	12/05	1	実業百家短評(十六) 井上角五郎氏		連載
6	12/05	1	読者文芸		
7	12/05	1	宮本二刀伝(三十三)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
8	12/05	2	紐育特電 四日発		
9	12/05	2	支払請求		特電(ニューヨーク)
10	12/05	2	大統領候補者		特電(ニューヨーク)
11	12/05	2	伯林特電 四日発		
12	12/05	2	独首相演説		特電(ベルリン)
13	12/05	2	聖都特電 四日発		
14	12/05	2	露議院激昂		特電(ヘルブルク)
15	12/05	2	東京特電 四日特置員発		
16	12/05	2	元老大臣会議		特電(東京)
17	12/05	2	シーボフ氏招待		特電(東京)
18	12/05	2	露国領事館開設		特電(東京)
19	12/05	2	間島暴行事件		特電(東京)
20	12/05	2	米国議院		特電(東京)
21	12/05	2	金利引下		特電(東京)
22	12/05	2	遼陽特電 四日特置員発		
23	12/05	2	速水副領事		特電(遼陽)
24	12/05	2	雑報		
25	12/05	2	原龍鉄道敷設		雑報
26	12/05	2	京義線の開業期		雑報
27	12/05	2	営口財界救済進行		雑報
28	12/05	2	満鉄運輸責任問題		雑報
29	12/05	2	広軌式列車電灯		雑報
30	12/05	2	大連電灯の現況		雑報
31	12/05	2	附属地教員恩典		雑報
32	12/05	2	各省近事		
33	12/05	2	西太后と撤簾		各省近事
34	12/05	2	蘇浙甬鉄道問題		各省近事
35	12/05	2	嶺南匪乱詳報		各省近事
36	12/05	2	正大鉄道の損失		各省近事
37	12/05	2	満蒙人の關姓		各省近事
38	12/05	2	徐総督優遇通知		各省近事
39	12/05	2	大連病院の昨今		
40	12/05	2	馬賊撃退者賞与		
41	12/05	2	大連郵便局雇員募集		
42	12/05	2	牛荘在郷軍人団組織		
43	12/05	2	営口の消防組新組織		
44	12/05	2	奉天短信		
45	12/05	2	風声雨声		
46	12/05	2	海運陸運		
47	12/05	2	埠頭着荷		
48	12/05	2	興行貨物		
49	12/05	3	米艦東航に関する欧州の言論		
50	12/05	3	商工叢談		
51	12/05	3	油房の話(二)		商行叢談

『満洲日日新聞』1907(明治40)年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
52	12/05	3	思潮一斑		
53	12/05	3	南満洲鉄道案内(二十)	井田子	連載
54	12/05	3	新年号の傍観	予告	
55	12/05	3	時事漫言	逸民	
56	12/05	3	内国記事		
57	12/05	3	生駒の成婚		内国記事
58	12/05	3	新造戦艦の兵装		内国記事
59	12/05	3	本党と対議合問題		内国記事
60	12/05	3	視学官存廃問題		内国記事
61	12/05	3	北韓の銅山		内国記事
62	12/05	3	英文一口癖		
63	12/05	4	家庭ページ		
64	12/05	4	面白い夫人の裝飾(上)		家庭
65	12/05	4	揚物の話		家庭
66	12/05	4	日記の談		家庭
67	12/05	4	家庭教育(七)	大連小学校 櫻本生	家庭
68	12/05	4	よろず案内		
75	12/05	5	長唄の話	覆面子	
76	12/05	5	旅順謀殺事件未遂の後聞		
77	12/05	5	慈善演芸会益々好況		
78	12/05	5	土方の宿屋荒し捕はる		
80	12/05	5	強欲なる樓主の取押願		
81	12/05	5	阿婆擧芸妓叱られる		
82	12/05	5	殴打して拘留を喰ふ		
83	12/05	5	常盤座のそき		
85	12/05	5	男女六名の賭博		
86	12/05	5	巻煙草泥棒捕はる		
87	12/05	5	周易易经身の上判断		予告
88	12/05	5	酌婦領事館へ駆け込む		
89	12/05	5	仲仕貨車に打たる		
90	12/05	5	青柳華娘の送別会		
91	12/05	5	水上警察出張所		
92	12/05	5	興行もの		
93	12/05	5	内地雜聞		
94	12/05	5	活地獄(其三)		
□1907年12月6日/明治四十年十二月六日/光緒三十三年十一月二日/木曜日/通巻34号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/06	1	論説 交通機関の本態(未完)		論説
2	12/06	1	清国出洋大臣来		
3	12/06	1	露国の新領事館		
4	12/06	1	露国首相の宣言		
5	12/06	1	予の見たる満洲(二十六)「千山の絶勝(続)」	遼東豚	連載
6	12/06	1	行雲流水(十三)	切水軒	連載
7	12/06	1	世界畫聞		
8	12/06	1	読者文芸		
9	12/06	1	宮本二刀伝(三十四)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
10	12/06	2	倫敦特電 五日発電		
11	12/06	2	艦砲試射結果		特電(ロンドン)
12	12/06	2	捕縛清人放免		特電(ロンドン)
13	12/06	2	半給支給		特電(ロンドン)
14	12/06	2	紐育特電 五日特置員発		
15	12/06	2	酋長の捕縛		特電(ニューヨーク)
16	12/06	2	大統領教書		特電(ニューヨーク)
17	12/06	2	議会と予算		特電(ニューヨーク)
18	12/06	2	東洋移民制限案		特電(ニューヨーク)
19	12/06	2	浦塩特電 五日特置員発		
20	12/06	2	暴動巨魁処刑		特電(ウラジオストク)
21	12/06	2	東京特電 五日支局発		
22	12/06	2	青木大使帰朝		特電(東京)
23	12/06	2	口入業の許可		特電(東京)
24	12/06	2	米大統領教書		特電(東京)
25	12/06	2	大島都督参内		特電(東京)
26	12/06	2	遼陽特電 五日特置員発		
27	12/06	2	又も汽車馬賊		特電(遼陽)
28	12/06	2	雜報		
29	12/06	2	大連築港の将来		雜報
30	12/06	2	安奉線改築交渉		雜報
31	12/06	2	連海直航路開始		雜報
32	12/06	2	満鉄運転力増加		雜報
33	12/06	2	満鉄の四大橋梁		雜報
34	12/06	2	蓋連間炸薬系課税苦情		雜報

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
35	12/06	2	達考察憲政大臣談話		雑報
36	12/06	2	清国憲政大臣招待		雑報
37	12/06	2	各省近事		
38	12/06	2	暹羅条約新結の議		各省近事
39	12/06	2	安徽省人民の躍起		各省近事
40	12/06	2	蘇浙鉄道代表員の謁見		各省近事
41	12/06	2	両宮の考察憲政大臣訓諭		各省近事
42	12/06	2	外蒙古鉱山調査		各省近事
43	12/06	2	■黨支線の落成		各省近事
44	12/06	2	ニツ家の坂路改修		
45	12/06	2	老虎灘大連間の道路改修費		
46	12/06	2	近江町の道路改正		
47	12/06	2	出逢逢坂両橋改築		
48	12/06	2	豆の商況		
49	12/06	2	関東州郵便物数		
50	12/06	2	人事		
51	12/06	2	海運陸運		
52	12/06	2	在港艦船		
53	12/06	2	出入船舶		
54	12/06	2	宿泊氏名		
55	12/06	3	支那内地の鉱業(三) 会同公司		
56	12/06	3	南滿洲鉄道案内(二一)	井田子	連載
57	12/06	3	英文一口癖		
58	12/06	3	支那に於ける墳墓及び風水(三)	夜鶴生	連載
59	12/06	3	時事漫言 「成金將軍の今昔」	逸民	
60	12/06	3	新年号の備観		予告
61	12/06	3	内国記事		
62	12/06	3	会計出納官の任用		内国記事
63	12/06	3	兵器取扱規則中改正		内国記事
64	12/06	3	砂糖官営脱再燃		内国記事
65	12/06	3	大博と交通機関		内国記事
66	12/06	3	思遊一斑		
67	12/06	4	家庭ページ		
68	12/06	4	面白い婦人の装飾(下)	坪井理學博士 談	家庭
69	12/06	4	後藤男爵夫人の書翰		家庭
70	12/06	4	家庭教育(八)		家庭
71	12/06	4	做る勿れ	茫洋女史	家庭
72	12/06	4	よろづ案内		
79	12/06	5	長唄の話(続)	覆面子	
80	12/06	5	列車中の馬賊		
81	12/06	5	博徒二十余人狼狽する		
82	12/06	5	飛むだ吾力を雇ひ入る		
83	12/06	5	餅米(多数着荷) 徳泰号		
84	12/06	5	銀貨と銅貨の間違		
85	12/06	5	困った船長の放埒		
86	12/06	5	苦力盲人を負傷せしむ		
87	12/06	5	性懲りの無い二本棒		
89	12/06	5	不埒なる芙蓉樓の主人		
90	12/06	5	三人組の支那追劇現はる		
91	12/06	5	娼妓救護所へ飛込む		
92	12/06	5	富籤類似の福引		
93	12/06	5	種痘と受検者に注意		
94	12/06	5	図太い苦力掴まる		
95	12/06	5	荷馬車に乗つて叱らる		
96	12/06	5	無提灯でお灸		
97	12/06	5	芸妓身上判断(一)		
98	12/06	5	取消		
99	12/06	5	活地獄(其四)		
□1907年12月7日/明治四十年十二月七日/光緒三十三年十一月三日/金曜日/通巻35号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/07	1	論説 交通機関の本能(続)	柳樹	論説
2	12/07	1	一層の警戒を望む		
3	12/07	1	日加移民条約協定		
4	12/07	1	予の見たる滿洲(二十七) 「千山の絶勝(続)」	遼東豚	連載
5	12/07	1	玉石同架(一)	蛟子龍	連載
6	12/07	1	読者文芸		
7	12/07	1	宮本二刀伝(三十五)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
8	12/07	2	東京電報 六日支局発		
9	12/07	2	元老大臣会議		電報(東京)
10	12/07	2	韓国皇太子発程		電報(東京)
11	12/07	2	倫貝子着京		電報(東京)

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
12	12/07	2	聖都電報 六日発		
13	12/07	2	米国陸軍部		電報(ハテルブルク)
14	12/07	2	紐育電報 六日発		
15	12/07	2	米大使交迭		電報(ニューヨーク)
16	12/07	2	雄報		
17	12/07	2	海龍城朝陽鎮近状		雑報
18	12/07	2	関東州金融状況(上)		雑報
19	12/07	2	高粱、粟と馬糧		雑報
20	12/07	2	鉄嶺の商勢		雑報
21	12/07	2	各省近事		
22	12/07	2	滿蒙学堂と西藏語		各省近事
23	12/07	2	湘潭と粵漢鉄道線路		各省近事
24	12/07	2	蘇浙甬鉄道問題		各省近事
25	12/07	2	滿鉄叢報		
26	12/07	2	職員徽章		滿鉄叢報
27	12/07	2	やまとホテルの名称		滿鉄叢報
28	12/07	2	函工見習募集		滿鉄叢報
29	12/07	2	明年度改築の停車場		滿鉄叢報
30	12/07	2	東盛和事件と遼陽		
31	12/07	2	吉林の林業状況		
32	12/07	2	密柑荷の停滞		
33	12/07	2	正金銀行金庫工事		
34	12/07	2	大連小学校移転期		
35	12/07	2	北公園氷上場竣成延期		
36	12/07	2	旅順電話機移転に就て		
37	12/07	2	郵便物搭載船予表		
38	12/07	2	赤十字社員数		
39	12/07	2	旅順重砲兵隊夜会		
40	12/07	2	民政署長事務引継		
41	12/07	2	岸本少佐転補		
42	12/07	2	竹下少佐の出發		
43	12/07	2	鉄嶺通信 五日発		
44	12/07	2	馬賊の出没		通信(鉄嶺)
45	12/07	2	代議士歓迎会		通信(鉄嶺)
46	12/07	2	津川旅団長		通信(鉄嶺)
47	12/07	2	鉄嶺倶楽部		通信(鉄嶺)
48	12/07	2	安東県短信		
49	12/07	2	人事		
50	12/07	2	為替相場 十二月六日		
51	12/07	2	在港艦船		
52	12/07	2	出入船舶		
53	12/07	2	宿泊氏名 十二月六日		
54	12/07	3	独帝訪問に関する欧州言論		
55	12/07	3	支那内地の鉱業(四) 江北借区会社		
56	12/07	3	南滿洲鉄道案内(二二)	井田子	連載
57	12/07	3	英文一口喃		
58	12/07	3	史外逸談		
59	12/07	3	新年号の備観		予告
60	12/07	3	内国記事		
61	12/07	3	鉄道補償価格		内国記事
62	12/07	3	日加移民協定		内国記事
63	12/07	3	減債基金法廃止説		内国記事
64	12/07	3	今後改正の法律案		内国記事
65	12/07	3	大博覧会関係法律案		内国記事
66	12/07	3	新設師団編成方針		内国記事
67	12/07	3	第十六師団移転期		内国記事
68	12/07	3	射撃学校改正条約		内国記事
69	12/07	3	高等教育会議召集		内国記事
70	12/07	3	逓信省予算		内国記事
71	12/07	3	林産売払法変更		内国記事
72	12/07	3	大演習毬気球成績		内国記事
73	12/07	3	思潮一斑		
74	12/07	4	後藤男爵夫人の書翰(続)		
75	12/07	4	漣船の話		
76	12/07	4	炉辺雑話	百合	
77	12/07	4	化粧の菜		
78	12/07	4	人に物品を贈る心得		
79	12/07	4	よるづ案内		
80	12/07	5	寄席の話	覆面子	
88	12/07	5	岡山孤児院慈善演芸会景況		
89	12/07	5	船底に潜む横着芸妓		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
90	12/07	5	子を持つ親は気を付けよ		
91	12/07	5	懸賞方法の方針決す		
92	12/07	5	女主人を撲つた苦力掴まる		
93	12/07	5	無法なる大工の亀公		
94	12/07	5	油断ならぬ遊客		
95	12/07	5	旅順の電線泥棒捕はる		
96	12/07	5	今後を注意せよ		
97	12/07	5	掻払ひの逃げ掛ね		
98	12/07	5	不埒なる金髪の主婦		
99	12/07	5	豆槽一俵の小泥棒		
100	12/07	5	青柳春水とごもり傘屋		
101	12/07	5	諺家屯の野火		
102	12/07	5	旅順商人の忘年会		
103	12/07	5	通行の妨害をして叱らる		
104	12/07	5	興行もの		
105	12/07	5	東西南北		
106	12/07	5	莖紋身上判断(二)		
107	12/07	5	活地獄(其五)		
□1907年12月8日/明治四十年十二月八日/光緒三十三年十一月四日/日曜日/通巻36号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/08	1	論説 貯蓄銀行設立に就て	二毛	論説
2	12/08	1	響乎、非響歎		
3	12/08	1	細説を聞かん		
4	12/08	1	門風余録(一)	白蛇生	
5	12/08	1	予の見たる滿洲(二十八) 「千山の絶勝(続)」	遼東豚	連載
6	12/08	1	世界異聞		
7	12/08	1	読者文芸		
8	12/08	1	漂泊(二十)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/08	2	紹育電報 七日発		
10	12/08	2	亜細亜人排斥		電報(ニューヨーク)
11	12/08	2	東京電報 七日発		
12	12/08	2	明年度予算		電報(東京)
13	12/08	2	大島都督帰朝		電報(東京)
14	12/08	2	後藤男爵病態		電報(東京)
15	12/08	2	奉天特電 七日支局		
16	12/08	2	満鉄公所落成披露		特電(奉天)
17	12/08	2	駐韓露國領事		特電(奉天)
18	12/08	2	雑報		
19	12/08	2	露國私有財産引渡に就て		雑報
20	12/08	2	長春の新市街		雑報
21	12/08	2	営口義勇団組織説		雑報
22	12/08	2	馬賊統帥の一原因		雑報
23	12/08	2	関東州金融状況(下)		雑報
24	12/08	2	各省近事		
25	12/08	2	西藏と英国駐兵		各省近事
26	12/08	2	倫貝子と秘密命令		各省近事
27	12/08	2	袁世凱と陸軍部尚書		各省近事
28	12/08	2	浄土宗の滿洲開教		
29	12/08	2	営口の聯合売出		
30	12/08	2	長吉線踏査期は未定		
31	12/08	2	鉄道の製粉所		
32	12/08	2	安東図書館設立		
33	12/08	2	安東県本年の輸出貨物		
34	12/08	2	竹下少佐送別会		
35	12/08	2	赤十字社委員囑託		
36	12/08	2	長春の居留民会		
37	12/08	2	奉天の人口数		
38	12/08	2	露國農会社出張所		
39	12/08	2	満鉄会社の換算相場		
40	12/08	2	門司通信 二日特置員報		
41	12/08	2	開院宮妃殿下		通信(門司)
42	12/08	2	韓国皇儲御一行		通信(門司)
43	12/08	2	商船の一等室廃止		通信(門司)
44	12/08	2	瀬戸内海航路検査廃止		通信(門司)
45	12/08	2	東洋馬匹改良株式会社		通信(門司)
46	12/08	2	閩門製氷と外資		通信(門司)
47	12/08	2	大石橋通信 六日発		
48	12/08	2	海運陸運		
49	12/08	2	人事		
50	12/08	2	為替相場		
51	12/08	2	在港艦船		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
52	12/08	2	出入船舶		
53	12/08	3	南満洲鉄道案内(二三)	井田子	連載
54	12/08	3	商工叢談		
55	12/08	3	支那に於る製紙業		
56	12/08	3	英文一口癖		
57	12/08	3	時事漫言「文芸其折ふし」	逸民	
58	12/08	3	新年号の俚観		予告
59	12/08	3	豪傑譚(二)	草老泉	
60	12/08	3	内国記事		
61	12/08	3	伯国公使の来任		内国記事
62	12/08	3	新官制訓示演説		内国記事
63	12/08	3	鉄道來年度新事業		内国記事
64	12/08	3	下り貨物費低減の議		内国記事
65	12/08	3	思潮一斑		
66	12/08	4	宮本二刀伝(三十六)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
67	12/08	4	家庭ページ		
68	12/08	4	家庭教育(九)	大連小学校 櫻本生	家庭
69	12/08	4	流行の冬物		家庭
70	12/08	4	よろづ案内		
71	12/08	5	寄席の話(続)	覆面子	
78	12/08	5	馬賊と營口の準備		
79	12/08	5	安奉線の事故		
80	12/08	5	慈善演芸会の二日目		
81	12/08	5	松の家菊家の粉粧真相		
82	12/08	5	はつ子の謝罪証文		
84	12/08	5	不埒なる色恋の役者		
85	12/08	5	横着な請負業説論さる		
86	12/08	5	厄介な吾駄蕃兵士		
87	12/08	5	誤[ママ]感心な酌婦の決議		
88	12/08	5	脱營兵士自首す		
89	12/08	5	瓦房店の検閲所出来る		
90	12/08	5	図太い支那人叱らる		
91	12/08	5	筒払い二人男		
92	12/08	5	瓦房店の衛生清潔法		
93	12/08	5	岡山孤児院への寄附		
94	12/08	5	芸妓身上判断(二)		
95	12/08	5	東西南北		
96	12/08	5	活地獄(其六)		
□1907年12月9日/明治四十年十二月九日/光緒三十三年十一月五日/月曜日/通巻37号/朝刊/版ナン/全4面					
1	12/09	1	論説 青木子と高平男	晴耕生	論説
2	12/09	1	口入業の許可		
3	12/09	1	金利引き下げ		
4	12/09	1	玉石同案(二)	孔子龍	連載
5	12/09	1	予の見たる満洲(二十九)「日清医学校開設の急務」	遼東豚	連載
6	12/09	1	読者文芸		
7	12/09	1	冬の句を募る		予告
8	12/09	1	世界異聞		
9	12/09	1	漂泊(二二)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	12/09	2	倫敦電報 八日発		
11	12/09	2	擾乱鎮圧		電報(ニューヨーク)
12	12/09	2	老雄起たん		電報(ニューヨーク)
13	12/09	2	上海電報 八日発		
14	12/09	2	海賊討伐		電報(上海)
15	12/09	2	東京電報 八日発		
16	12/09	2	日加交渉		電報(東京)
17	12/09	2	元老会議		電報(東京)
18	12/09	2	雑報		
19	12/09	2	遺留財産問題		雑報
20	12/09	2	黒龍江直營		雑報
21	12/09	2	西比利亞河川の航路		雑報
22	12/09	2	汽缶沈渣予防器		雑報
23	12/09	2	電力増加の計画		雑報
24	12/09	2	旅順発電所新設		雑報
25	12/09	2	奉天清国大官急行		雑報
26	12/09	2	東三省新米軍隊		雑報
27	12/09	2	関東州漁業昨今		雑報
28	12/09	2	各省近事		
29	12/09	2	雲南省と仏国		各省近事
30	12/09	2	鉄道学校新設の議		各省近事
31	12/09	2	■県匪徒鎮定		各省近事

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
32	12/09	2	盛宣懷上京を命ぜらる		各省近事
33	12/09	2	駐露国公使及憲政考察大臣出発		各省近事
34	12/09	2	韓国米の动向		
35	12/09	2	市場の景況		
36	12/09	2	糯米需用と輸入高		
37	12/09	2	海務局の事務		
38	12/09	2	陸軍[ママ]運輸部の昨今		
39	12/09	2	營口河北停車場と遼河		
40	12/09	2	新聞記者懇親会		
41	12/09	2	満鉄駅長会議		
42	12/09	2	民政署長事務引継		
43	12/09	2	年始状特別取扱		
44	12/09	2	郵便局員の応募者		
45	12/09	2	奉天警察署在監者		
46	12/09	2	大連港の出入船舶噸数		
47	12/09	2	満鉄会社の換算		
48	12/09	2	撫順通信 七日発		通信(撫順)
49	12/09	2	千金寨市街地賃貸		通信(撫順)
50	12/09	2	間宮工学士送別会		通信(撫順)
51	12/09	2	内藤工学士		
52	12/09	2	奉天短信		
53	12/09	2	海運陸運		
54	12/09	2	人事		
55	12/09	2	為替相場 十二月八日		
56	12/09	2	在港艦船		
57	12/09	2	出入船舶		
58	12/09	2	宿泊氏名 十二月八日		
59	12/09	2	本日附録 (府報)百九十一号		
60	12/09	3	寄席の話(続)	覆面子	
61	12/09	3	慈善演芸会の三日目		
62	12/09	3	奥床しき集會		
63	12/09	3	疑はしき行衛不明者		
64	12/09	3	山遊樓の奸策露見す		
65	12/09	3	偽巡捕の書し損ね		
66	12/09	3	無分別なる小娘二人		
67	12/09	3	何方が太いか判らぬ		
68	12/09	3	花鳥のお目出度話		
69	12/09	3	營口の花柳便り		
71	12/09	3	飛むだ悪人の三角同盟		
72	12/09	3	旅順の料理店驚く		
73	12/09	3	阿婆摺女の窮状		
74	12/09	3	支那工夫の妾死		
75	12/09	3	營口領事館の擧刺場		
76	12/09	3	本年の悪疫患者数		
77	12/09	3	料理店組合の救護所		
78	12/09	3	興行もの		
79	12/09	3	芸妓身上判断(四)		
80	12/09	3	取消		
81	12/09	3	活地獄(其七)		
82	12/09	4	宮本二刀伝(三十七)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
□1907年12月10日/明治四十年十二月十日/光緒三十三年十一月五日[ママ]/火曜日/通巻38号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/10	1	論説 海務局の新設	山東	論説
2	12/10	1	関東婦人会		
3	12/10	1	明年度予算		
4	12/10	1	捫風余録(二)	白蛇生	
5	12/10	1	予の見たる満洲(三十)「日清医学校開設の急務(続)」	遼東豚	連載
6	12/10	1	読者文芸		
7	12/10	1	新年度文芸募集		予告
8	12/10	1	漂泊(二三)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/10	2	東京電報 9日発		
10	12/10	2	都督府官制		電報(東京)
11	12/10	2	外交官移動		電報(東京)
12	12/10	2	都督の出發		電報(東京)
13	12/10	2	韓国太子入京		電報(東京)
14	12/10	2	兪貝子参内		電報(東京)
15	12/10	2	雑報		
16	12/10	2	露国歳計予算		雑報
17	12/10	2	露国の蒙古貿易		雑報
18	12/10	2	遺留財産処分		雑報
19	12/10	2	満鉄の広軌車輛		雑報

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
20	12/10	2	大連市の電灯業		雑報
21	12/10	2	鉄嶺総局屠獸所		雑報
22	12/10	2	撫順炭鉱の昨今		雑報
23	12/10	2	各省近事		
24	12/10	2	黄浦江浚渫工事と列国		各省近事
25	12/10	2	蘇浙甯鉄道問題		各省近事
26	12/10	2	西江捕盜問題と英国		各省近事
27	12/10	2	日本僧侶布教と広東省		各省近事
28	12/10	2	交通彙報		
29	12/10	2	三線工事の進程		交通彙報
30	12/10	2	順撫[ママ]支線橋梁土工		交通彙報
31	12/10	2	電信の不通		交通彙報
32	12/10	2	瓦房店駅長会議		
33	12/10	2	遼陽駅長会議		
34	12/10	2	力石署長歓迎会		
35	12/10	2	関東婦人会例会		
36	12/10	2	魚市場組合総会		
37	12/10	2	佐藤事務官出発		
38	12/10	2	考察試験		
39	12/10	2	大連婦人救済所移転		
40	12/10	2	遼陽雑信		
41	12/10	2	球突大会		雑信(遼陽)
42	12/10	2	満鉄出張所の移転		雑信(遼陽)
43	12/10	2	消防組の内訌		雑信(遼陽)
44	12/10	2	速水副領事		雑信(遼陽)
45	12/10	2	田中警視		雑信(遼陽)
46	12/10	2	行政委員会		雑信(遼陽)
47	12/10	2	奉天短信		
48	12/10	2	海運陸運		
49	12/10	2	人事		
50	12/10	2	為替相場 十二月九日		
51	12/10	2	在港艦船		
52	12/10	2	出入船舶		
53	12/10	2	宿泊氏名 十二月八日		
54	12/10	3	独歩訪問に関する欧州言論(続)		
55	12/10	3	商工叢談		
56	12/10	3	火山灰の話		商工叢談
57	12/10	3	CURIOS		英文欄
58	12/10	3	南滿鉄道案内(二三)	井田子	
59	12/10	3	新年号の偏観		予告
60	12/10	3	繁傑譚(三)	草老泉	
61	12/10	3	内国記事		
62	12/10	3	模範兵派遣命令		内国記事
63	12/10	3	判任文官賞期		内国記事
64	12/10	3	実業学校規則改正		内国記事
65	12/10	3	学習院女学部長		内国記事
66	12/10	3	山梨県会新疑問		内国記事
67	12/10	3	思潮一斑		
68	12/10	4	宮本二刀伝(三十八)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
69	12/10	4	家庭ページ		
70	12/10	4	女子と家庭(一)	花影女史	家庭
71	12/10	4	お伽新話	さし子	家庭
72	12/10	4	流行の冬物(続)		家庭
73	12/10	4	よるづ案内		
83	12/10	5	柔道の話	講道館 初段 匿名氏 談	
84	12/10	5	慈善演芸会の四日目		
85	12/10	5	寿座は誰の手に落つるか		
86	12/10	5	江戸児芸妓又戻り返る		
87	12/10	5	勇樓の若駒旦那叱らる		
88	12/10	5	料理店の救護所と会合		
89	12/10	5	麵粉を胡麻化する奴		
90	12/10	5	乱暴なる七人組の大工		
91	12/10	5	偽巡捕は偽の訴へ		
92	12/10	5	花鳥の落籍に就て		
93	12/10	5	腹癒せに硝子窓を破る		
94	12/10	5	金は鉄片を盗むだ代価		
95	12/10	5	家賃滞納の仮処分		
96	12/10	5	風味ある懐石料理		
97	12/10	5	伏見台事件の嫌疑者		
98	12/10	5	うるうる娼妓のお目玉		
99	12/10	5	興行もの		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
100	12/10	5	東西南北		
101	12/10	5	藝妓身上判断(五)		
102	12/10	5	正誤		
103	12/10	5	活地獄(其八)		
□1907年12月11日/明治四十年十二月十一日/光緒三十三年十一月六日[ママ]/水曜日/通巻39号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/11	1	論説 国費と貿易	青山子	論説
2	12/11	1	米國党の敗北		
3	12/11	1	馬賊の為と説ん		
4	12/11	1	之を大に興ぜよ		
5	12/11	1	玉石同架(三)	托塔天王	
6	12/11	1	予の見たる滿洲(三一)「日清医学校開設の急務(続)」	遼東豚	連載
7	12/11	1	読者文芸		
8	12/11	1	新年度文芸募集	予告	
9	12/11	1	漂泊(二四)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	12/11	2	倫敦電報 十日発		
11	12/11	2	瑞典帝不弔		電報(ロンドン)
12	12/11	2	ズールーランド擾乱		電報(ロンドン)
13	12/11	2	鉄道事故		電報(ロンドン)
14	12/11	2	米國金利又昇騰		電報(ロンドン)
15	12/11	2	加奈陀首相の言		電報(ロンドン)
16	12/11	2	英國紡績利益		電報(ロンドン)
17	12/11	2	フ王の婚約		電報(ロンドン)
18	12/11	2	戦艦衝突		電報(ロンドン)
19	12/11	2	駆逐艦試運転		電報(ロンドン)
20	12/11	2	ズールーランドは静謐		電報(ロンドン)
21	12/11	2	紐育電報 十日発		
22	12/11	2	移民問題と青木氏		電報(ニューヨーク)
23	12/11	2	財界緩和		電報(ニューヨーク)
24	12/11	2	青木大使の談		電報(ニューヨーク)
25	12/11	2	大統領教書		電報(ニューヨーク)
26	12/11	2	伯林電報 十日発		
27	12/11	2	議会の活劇		電報(ベルリン)
28	12/11	2	タフト氏の比律賓談		電報(ベルリン)
29	12/11	2	聖都電報 十日発		
30	12/11	2	自由港閉鎖		電報(ハテルブルグ)
31	12/11	2	タフト氏謁見		電報(ハテルブルグ)
32	12/11	2	開戦予想		電報(ハテルブルグ)
33	12/11	2	東京電報 十日発		
34	12/11	2	軍医部長		電報(東京)
35	12/11	2	北京電報 十日発		
36	12/11	2	暴徒蜂起		電報(北京)
37	12/11	2	名士の訃		電報(北京)
38	12/11	2	長春特電 十日特置員発		
39	12/11	2	蒙古人上京		特電(長春)
40	12/11	2	雑報		
41	12/11	2	所有不明家屋処分		雑報
42	12/11	2	庫倫市の商業		雑報
43	12/11	2	海務局の事務開始		雑報
44	12/11	2	重量貨物の運搬		雑報
45	12/11	2	撫順坑電力応用		雑報
46	12/11	2	大連市水道工事		雑報
47	12/11	2	各省近事		
48	12/11	2	終期大演習延期の説		各省近事
49	12/11	2	安徽省の軍器購入		各省近事
50	12/11	2	憲政編查諮議員規則		各省近事
51	12/11	2	亜片専売総理		各省近事
52	12/11	2	蒙古王と鉱山外債		各省近事
53	12/11	2	新政実施と各省		各省近事
54	12/11	2	仏國と犯人引渡		各省近事
55	12/11	2	仏山江門開鉄道		各省近事
56	12/11	2	中央試験場の準備		
57	12/11	2	新旅順郵便局と年賀状		
58	12/11	2	基督教献堂式		
59	12/11	2	満鉄園工及第者		
60	12/11	2	岡山孤兒院音楽会計報告		
61	12/11	2	岡山孤兒院音楽会慈善販売		
62	12/11	2	旅順水交社種痘		
63	12/11	2	貯金奨励成績		
64	12/11	2	独逸武官來奉		
65	12/11	2	副官と支部長着任		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
66	12/11	2	堤理部制服		
67	12/11	2	人事		
68	12/11	2	為替相場 十二月十日		
69	12/11	2	在港艦船		
70	12/11	2	出入船舶		
71	12/11	2	宿泊氏名 十二月十日		
72	12/11	2	宿泊氏名 十二月十日		
73	12/11	2	本日附録 府報第百九十二号		附録
74	12/11	3	商工叢談		
75	12/11	3	焼酒の話		商工叢談
76	12/11	3	南満洲鉄道案内(二十四)	井田子	
77	12/11	3	支那に於ける墳墓及び風水(四)	夜鶴生	連載
78	12/11	3	史外逸談		
79	12/11	3	新年号の儔観		予告
80	12/11	3	内国記事		
81	12/11	3	上院と兌換拡張		内国記事
82	12/11	3	高等教育会議		内国記事
83	12/11	3	専売局会計法		内国記事
84	12/11	3	水害地免税大会		内国記事
85	12/11	3	大日本横浜商精糖合併説		内国記事
86	12/11	3	名古屋港海陸の連絡		内国記事
87	12/11	3	敦賀の輸出増加		内国記事
88	12/11	3	日銀見返品追加		内国記事
89	12/11	3	営業税法の内容		内国記事
90	12/11	3	思潮一斑		
91	12/11	4	宮本二刀伝(三十九)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講演)
92	12/11	4	家庭ページ		
93	12/11	4	家庭教育(十)	大連小学校 櫻本生	
94	12/11	4	好と嫌ひ		
95	12/11	4	流行の冬物(続)		
96	12/11	4	(よるづ案内)		
103	12/11	5	柔道の話(続)	講道館 初段 匿名氏 談	
104	12/11	5	特務巡査を斬る悪漢		
105	12/11	5	勝間又不埒を働く		
106	12/11	5	貧青年奇病に罹る		
107	12/11	5	旅順座と公会堂		
108	12/11	5	苦力を苦めて何をするか		
109	12/11	5	怪しがる新市街の芸妓		
110	12/11	5	爺に連れられて営口へ		
111	12/11	5	無銭遊興の仕損じ		
112	12/11	5	扇書ばかり一時に四通		
113	12/11	5	御親類筋は落胆だらう		
114	12/11	5	高等船員の泥棒		
115	12/11	5	掛取に見せかける泥棒小僧		
116	12/11	5	間の抜けた午砲		
117	12/11	5	在郷軍人会と設備		
118	12/11	5	同宿人の反物を盗む		
119	12/11	5	銀側懐中時計を拾ふ		
120	12/11	5	旅順の玉突競争会		
121	12/11	5	孤児院一行と記念撮影		
122	12/11	5	興行もの		
123	12/11	5	藝妓身上判断(六)		
124	12/11	5	東西南北		
125	12/11	5	活地獄(其九)		
□1907年12月12日/明治四十年十二月十二日/光緒三十三年十一月七日[ママ]/木曜日/通巻40号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/12	1	論説 国費と貿易(続)	青山子	論説
2	12/12	1	大事とならん		
3	12/12	1	予想は愚想耳		
4	12/12	1	独逸議會の活劇		
5	12/12	1	予の見たる満洲(三二)「日清医学校開設の急務(続)」	遼東豚	連載
6	12/12	1	玉石同架(四)	孔子龍	
7	12/12	1	読者文芸		
8	12/12	1	新年文芸募集		予告
9	12/12	1	漂泊(二五)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	12/12	2	倫敦電報 十一日発		
11	12/12	2	戦艦破損修繕		電報(ロンドン)
12	12/12	2	首謀者処刑		電報(ロンドン)
13	12/12	2	伯林電報 十一日発		
14	12/12	2	運賃引上		電報(ベルリン)
15	12/12	2	列車爆発陰謀		電報(ベルリン)

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載 面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
16	12/12	2	瑞典帝崩御		電報(ベルリン)
17	12/12	2	東京特電 十一日支局発		
18	12/12	2	都督府官制查了		特電(東京)
19	12/12	2	倫貝子退京		特電(東京)
20	12/12	2	北京特電 十一日発		
21	12/12	2	暴徒進撃す		特電(北京)
22	12/12	2	哈爾濱特電 十一日発		
23	12/12	2	東鉄総裁転任		特電(ハルビン)
24	12/12	2	營口特電 十一日支局発		
25	12/12	2	売渡地所買戻の議		特電(營口)
26	12/12	2	聯合大売出		特電(營口)
27	12/12	2	雑報		
28	12/12	2	陳辺務大臣の委任		雑報
29	12/12	2	京奉線の貨物吸収		雑報
30	12/12	2	東三省漁業公司		雑報
31	12/12	2	旅順、長春停車場		雑報
32	12/12	2	大連土地貸下方針		雑報
33	12/12	2	新來兵と帰還兵		雑報
34	12/12	2	大連図書館設立説		雑報
35	12/12	2	南満洲線と露紙		雑報
36	12/12	2	大連市水道工事(続)		雑報
37	12/12	2	各省近事		
38	12/12	2	蘇浙両省民心の鎮圧		各省近事
39	12/12	2	張之洞と普通教育		各省近事
40	12/12	2	外務省と直隸總督		各省近事
41	12/12	2	李公使と日本留学生		各省近事
42	12/12	2	憲政会議四綱		各省近事
43	12/12	2	營口青年俱樂部		
44	12/12	2	秦皇島航路開始		
45	12/12	2	商品陳列競先結果		
46	12/12	2	撫順炭坑病院規程		
47	12/12	2	滿鉄奉天公所の性質		
48	12/12	2	鉄嶺在郷軍人団組織		
49	12/12	2	引換小包数と商品		
50	12/12	2	市内の商業業		
51	12/12	2	満鉄換算相場改定		
52	12/12	2	風声雨声		
53	12/12	2	海運陸運		
54	12/12	2	人事		
55	12/12	2	為替相場 十二月十一日		
56	12/12	2	在港艦船		
57	12/12	2	出入船舶		
58	12/12	2	宿泊氏名 十二月十一日		
59	12/12	3	商工叢談		
60	12/12	3	焼酒の話(下)		
61	12/12	3	南満洲鉄道案内(二五)	井田子	連載
62	12/12	3	支那に於ける墳墓及び風水(四)	夜鶴生	連載
63	12/12	3	THE TRUTH OF IT		英文欄
64	12/12	3	豪傑譚(四)	蒼老泉	
65	12/12	3	新年号の備観		予告
66	12/12	3	内国記事		
67	12/12	3	伝染病と郵便局		内国記事
68	12/12	3	囚徒作業法改良		内国記事
69	12/12	3	官鉄大機関車設計		内国記事
70	12/12	3	舞鶴港浚渫案通貨の援助		内国記事
71	12/12	3	瓦斯需用の増加と拡張工事		内国記事
72	12/12	3	漫録 新聞好の国民	松山忠二郎	
73	12/12	3	思潮一斑		
74	12/12	4	宮本二刀伝(四十)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
75	12/12	4	家庭ページ		
76	12/12	4	家庭教育(十一)	大連小学校 櫻本生	家庭
77	12/12	4	西俗パノラマ 「(一)美人と粉飾(一)」	猿太郎	家庭
78	12/12	4	よろづ案内		
89	12/12	5	大連幼稚園		
90	12/12	5	他殺の嬰兒を遺棄す		
91	12/12	5	一杯喰つた花嫁の毒計		
92	12/12	5	串戯から飛むだ背負込み		
93	12/12	5	車の上の発狂殿		
94	12/12	5	岡山孤児院への寄附		
95	12/12	5	旅順の悪料理店と取調		
96	12/12	5	拾ひました貰ひました		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
97	12/12	5	酌婦不意打を喰ふ		
98	12/12	5	酌婦を連れ出して潜伏す		
99	12/12	5	河又醬油店の義拳		
100	12/12	5	料理店組合の救護所出来る		
101	12/12	5	土塊壊崩して圧死す		
102	12/12	5	泥棒を乗客にする		
103	12/12	5	柵を盗む支那泥		
104	12/12	5	芸妓身上判断(七)		
105	12/12	5	悪宿引叱れる		
106	12/12	5	浪華洋行の披露宴		
107	12/12	5	狂歌雑報		
108	12/12	5	興行もの		
109	12/12	5	東西南北		
□1907年12月13日/明治四十年十二月十三日/光緒三十三年十一月八日[ママ]/金曜日/通巻41号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/13	1	論説 商品販路の調査	白山	論説
2	12/13	1	加奈陀首相の言		
3	12/13	1	タフト氏比律賓談		
4	12/13	1	予の見たる満洲(三三) 「馬賊の話」	遼東豚	連載
5	12/13	1	読者文芸		
6	12/13	1	漂泊(二六)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
7	12/13	2	東京特電 十二日支局発		
8	12/13	2	予算の決了		特電(東京)
9	12/13	2	経費の削減		特電(東京)
10	12/13	2	議員の勧選		特電(東京)
11	12/13	2	伊藤中将免職		特電(東京)
12	12/13	2	米使演説		特電(東京)
13	12/13	2	高橋是清男		特電(東京)
14	12/13	2	貝子歓迎会		特電(東京)
15	12/13	2	雑報		
16	12/13	2	奉天の新銀貨		雑報
17	12/13	2	露清銀行建物引渡		雑報
18	12/13	2	北滿に於ける馬賊		雑報
19	12/13	2	軍糧と韓国精米		雑報
20	12/13	2	病院出張所設計		雑報
21	12/13	2	土地家屋貸付手続		雑報
22	12/13	2	大連市水道工事(続)		雑報
23	12/13	2	各省近事		
24	12/13	2	列国と鉱山条例		各省近事
25	12/13	2	古倫比亜共和国と通商条約		各省近事
26	12/13	2	鉄道賃金規則改正		各省近事
27	12/13	2	銃器輸入額制限規則改正		各省近事
28	12/13	2	貴族公子の外国留學		各省近事
29	12/13	2	盛宣懷上京す		各省近事
30	12/13	2	周馥起用の説		各省近事
31	12/13	2	米謝恩使派遣の説		各省近事
32	12/13	2	浙江省の匪乱		各省近事
33	12/13	2	營口の同仁病院完備		
34	12/13	2	商船大連自由航路		
35	12/13	2	海務局事務頻繁		
36	12/13	2	古物競売所設置		
37	12/13	2	陸軍薬劑一部返送		
38	12/13	2	方石民政署歓迎会		
39	12/13	2	神尾少将		
40	12/13	2	考察試験終了		
41	12/13	2	常盤橋の開通		
42	12/13	2	都督府の換算率改正		
43	12/13	2	満鉄の換算率改正		
44	12/13	2	奉天短信		
45	12/13	2	間島短信		
46	12/13	2	海運陸運		
47	12/13	2	人事		
48	12/13	2	為替相場 十二月十二日		
49	12/13	2	在港艦船		
50	12/13	2	出入艦船		
51	12/13	2	社告 (營口、奉天支局開設)		社告
52	12/13	3	商工叢談		
53	12/13	3	製塩業の話		商工叢談
54	12/13	3	南滿洲鉄道案内(二六)	井田子	連載
55	12/13	3	支那に於ける墳墓及び風水(六)	夜鶴生	連載
56	12/13	3	英文一口断		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
57	12/13	3	漫録 精密なる思想	落花	
58	12/13	3	新年号の偉観		予告
59	12/13	3	内国記事		
60	12/13	3	地方賦課税率激増		内国記事
61	12/13	3	買収鉄道府県税問題		内国記事
62	12/13	3	読者の紙面		
63	12/13	3	倉庫業経営に就き南滿洲鉄道会社に望む	齋藤豊	読者の紙面
64	12/13	3	思潮一斑		
65	12/13	4	宮本二刀伝(四十一)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
66	12/13	4	家庭ページ		
67	12/13	4	西俗パノラマ 「美人と粉飾(二)」	猿太郎	家庭
68	12/13	4	女子と家庭(二)	花影女史	家庭
69	12/13	4	よろづ案内		
76	12/13	5	布教の話	浄土宗清国開教師 阿部栄全氏 談	
77	12/13	5	満洲の学童(一)		
78	12/13	5	不倫の犯罪		
79	12/13	5	蓋平城内の騒ぎ		
80	12/13	5	花月席の席開き		
81	12/13	5	營口の撃剣道場開き		
82	12/13	5	狂歌雑報		
83	12/13	5	女欺しの悪漢捕はる		
84	12/13	5	金を胡麻化するチャニコロ		
85	12/13	5	旅順港務部の火事		
86	12/13	5	十銭銀貨千枚の泥棒		
87	12/13	5	副頭取留任に決す		
88	12/13	5	高橋雑貨店の大売出		
89	12/13	5	興行もの		
90	12/13	5	藝妓身上判断(八)		
91	12/13	5	花柳病に就て		
□1907年12月14日/明治四十年十二月十四日/光緒三十三年十一月九日[ママ]/土曜日/通巻42号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/14	1	論説 郵便印紙改正の必要	緑水生	論説
2	12/14	1	文教能く可し		
3	12/14	1	悼んで吊せん		
4	12/14	1	痴寧ろ憐むべし		
5	12/14	1	予の見たる満洲(三四) 「馬賊の話(続)」	遼東豚	連載
6	12/14	1	玉石同架(五)	孔子龍	
7	12/14	1	世界異聞		
8	12/14	1	読者文芸		
9	12/14	1	新年文芸募集		予告
10	12/14	1	漂泊(二六)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
11	12/14	2	東京特電 十三日支局発		
12	12/14	2	後藤総裁		特電(東京)
13	12/14	2	東京電報 十三日発		
14	12/14	2	倫貝子出発		電報(東京)
15	12/14	2	桂侯参内		電報(東京)
16	12/14	2	シーボフ氏談		電報(東京)
17	12/14	2	雑報		
18	12/14	2	露国極東経営費		雑報
19	12/14	2	露国西比利線改良		雑報
20	12/14	2	東清鉄道事業発展		雑報
21	12/14	2	改革反対提議		雑報
22	12/14	2	満洲の金融状態		雑報
23	12/14	2	大連民政署国庫費		雑報
24	12/14	2	大島都督の着連		雑報
25	12/14	2	奉天に於ける兩將軍		雑報
26	12/14	2	營口居留民団規定(上)		雑報
27	12/14	2	各省近事		
28	12/14	2	日露戦役賠償費交渉		各省近事
29	12/14	2	八旗帰併の辦法		各省近事
30	12/14	2	財政整理案		各省近事
31	12/14	2	米國債募集脱非認		各省近事
32	12/14	2	聞島問題交渉		各省近事
33	12/14	2	大連港要求信号変更		各省近事
34	12/14	2	大連小学校生徒増加		各省近事
35	12/14	2	昌圖邦人の現状		各省近事
36	12/14	2	瓦房店市街命名		各省近事
37	12/14	2	長連間定期船増加		各省近事
38	12/14	2	南奉天駅収入		各省近事
39	12/14	2	民政部の年末賞与		各省近事
40	12/14	2	末永氏への慰問状		各省近事

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
41	12/14	2	鉄嶺通信 十二日発		
42	12/14	2	崩壊せる大台山		
43	12/14	2	森田氏の炭坑		
44	12/14	2	行政委員会		
45	12/14	2	道路改修		
46	12/14	2	奉天短信		
47	12/14	2	経済小評		
48	12/14	2	海運陸運		
49	12/14	2	人事		
50	12/14	2	為替相場 十二月十三日		
51	12/14	2	在港艦船		
52	12/14	2	出入船舶		
53	12/14	2	社告 營口支局、奉天支局開設		
54	12/14	3	商工叢談		
55	12/14	3	製塩業の話(続)		
56	12/14	3	米国二名士の関税論戦		
57	12/14	3	南滿洲鉄道案内(二七)	井田子	連載
58	12/14	3	面影集(一)	蒼川逸民	
59	12/14	3	新年号の俚観		
60	12/14	3	内国記事		
61	12/14	3	日仏共同新会社成立		
62	12/14	3	直通貨物の利便		
63	12/14	3	現物問題の成り行き		
64	12/14	3	読者の紙面		
65	12/14	3	在満の娼妓酌婦の与ふ	洗水	読者の紙面
66	12/14	3	思潮一斑		
67	12/14	4	宮本二刀伝(四十二)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
68	12/14	4	家庭ページ		
69	12/14	4	西俗パノラマ「女尊男卑(一)」	猿太郎	家庭
70	12/14	4	お伽新語	とし子	
71	12/14	4	女子と家庭(三)	花影女史	家庭
72	12/14	4	よろづ案内		
78	12/14	5	三味線の話	藤の家氏 談	
79	12/14	5	遭難者を救出す		
80	12/14	5	一昨日の末永氏招待会		
81	12/14	5	乱暴なる金髪夜叉		
82	12/14	5	土地家屋と滞納処分		
83	12/14	5	支那船転覆して救助さる		
84	12/14	5	手を執つていそいそ内地へ		
85	12/14	5	逢坂町より申上候		
88	12/14	5	旅順の賣り店と注意		
89	12/14	5	図太い男取押へちる		
90	12/14	5	水銀を服み過ぎて昏倒		
91	12/14	5	氣を付ける馬の脚奴		
92	12/14	5	大石橋の職業婦弱る		
93	12/14	5	在留禁止の宣告		
94	12/14	5	興行もの		
95	12/14	5	狂歌雑報		
96	12/14	5	東西南北		
97	12/14	5	藝妓身上判断(九)		
98	12/14	5	花柳病に就て(続)		
□1907年12月15日/明治四十年十二月十五日/光緒三十三年十一月十一日/日曜日/通巻43号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/15	1	論説 新開地と家庭	落花生	論説
2	12/15	1	大島都督滞任		
3	12/15	1	欧亜連絡地点		
4	12/15	1	予の見たる満洲(三五)「馬賊の話(続)」	遠東豚	連載
5	12/15	1	無題録	拙者	
6	12/15	1	読者文芸		
7	12/15	1	世界異聞		
8	12/15	1	漂泊(二七)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/15	2	東京特電(十四日支局発)		
10	12/15	2	満鉄株主総会		特電(東京)
11	12/15	2	東京電報(十四日発)		
12	12/15	2	予算閣議		電報(東京)
13	12/15	2	帝国議會		電報(東京)
14	12/15	2	齋藤海軍病院長		電報(東京)
15	12/15	2	軍艦金剛		電報(東京)
16	12/15	2	雑報		
17	12/15	2	都督府新官制		雑報
18	12/15	2	大島都督大連着		雑報

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載 面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
19	12/15	2	黒竜江自由港問題		雑報
20	12/15	2	貨物輸送仮規則		雑報
21	12/15	2	韓国米の産出高		雑報
22	12/15	2	営口居留民団規定(下)		雑報
23	12/15	2	交代兵の大連着		雑報
24	12/15	2	長春帰郷談		雑報
25	12/15	2	各省近事		
26	12/15	2	英艦と西江盜捕問題		各省近事
27	12/15	2	交通銀行設立の儀		各省近事
28	12/15	2	黒竜江開鑿と広東人		各省近事
29	12/15	2	貴族公子遊学地未定		各省近事
30	12/15	2	吉林と電信線		各省近事
31	12/15	2	陸軍検閲大臣任命		各省近事
32	12/15	2	大連港出入船舶		
33	12/15	2	露西亜町称呼改正		
34	12/15	2	海務局と外人		
35	12/15	2	瓦房店大連病院出張所		
36	12/15	2	杉浦秘書官転任		
37	12/15	2	交代憲兵の到着		
38	12/15	2	満鉄会社換算相場		
39	12/15	2	新民府通信		
40	12/15	2	新民府の客商		
41	12/15	2	日本商の盛衰		
42	12/15	2	邦人の貿易杜絶		
43	12/15	2	邦人団体の現状		
44	12/15	2	居留民間の親交		
45	12/15	2	清語夜話会		
46	12/15	2	海運陸運		
47	12/15	2	集会		
48	12/15	2	人事		
49	12/15	2	為替相場		
50	12/15	2	出入船舶		
51	12/15	3	商工叢談		
52	12/15	3	製塩業の話(続)		
53	12/15	3	米国二名士の関稅論戰		
54	12/15	3	英文一口崩		
55	12/15	3	支那に於ける墳墓及び風水(六)	夜鶴生	連載
56	12/15	3	内国記事		
57	12/15	3	名古屋市債募集延期		
58	12/15	3	保険金未払問題		
59	12/15	3	北海道の製糖業		
60	12/15	3	新年号の偉觀		予告
61	12/15	3	読者の紙面		
62	12/15	3	民人の趨向に就て	T.M.生	
63	12/15	3	思潮一斑		
64	12/15	4	宮本二刀伝(四十三)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
65	12/15	4	家庭ページ		
66	12/15	4	西俗パノラマ「女尊男卑(二)」	猿太郎	家庭
67	12/15	4	女子と家庭(四)	大連小学校 花影女史	家庭
68	12/15	4	よろづ案内		社告
69	12/15	4	社告		
73	12/15	5	三味線の話(続)	藤の家氏 談	
74	12/15	5	都督着連の光景		
75	12/15	5	気の毒なる軍人		
78	12/15	5	一夜に二ヶ所の強盜		
81	12/15	5	凶太い雇人掴まる		
82	12/15	5	悪引叱らる		
83	12/15	5	又々嫌疑者の検挙		
84	12/15	5	前代議士の成れの果て		
85	12/15	5	強盜の片割れ捕はる		
86	12/15	5	喧嘩の種は馬肉		
87	12/15	5	殴られたり突出されたり		
88	12/15	5	野犬撲殺終了す		
89	12/15	5	瓦房店の物騒		
90	12/15	5	盗むた金は料理店へ		
91	12/15	5	水兵五名に斬らる		
92	12/15	5	賭博中踏込まる		
93	12/15	5	医薬用胃活錠の好評		
94	12/15	5	訂正		
95	12/15	5	興行もの		
96	12/15	5	東西南北		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
97	12/15	5	芸妓身上判断 休載		
□1907年12月16日/明治四十年十二月十六日/光緒三十三年十一月十二日/月曜日/通巻44号/朝刊/版ナシ/全4面					
1	12/16	1	論説 北満洲税関の監督	三津生	論説
2	12/16	1	居留民団成る		
3	12/16	1	何ぞ腹心する		
4	12/16	1	愚なる哉 言		
5	12/16	1	玉石同架(六)	孔子龍	
6	12/16	1	予の見たる満洲(三六) 「馬賊の話(続)」	遼東豚	連載
7	12/16	1	読者文芸		
8	12/16	1	漂泊(二八)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/16	2	倫敦電報(十四日発)		
10	12/16	2	ツ■■■長降版		電報(ロンドン)
11	12/16	2	瑞典新帝		電報(ロンドン)
12	12/16	2	独帝帰還		電報(ロンドン)
13	12/16	2	ラムトン提督		電報(ロンドン)
14	12/16	2	参事会議決		電報(ロンドン)
15	12/16	2	関外線新役員		電報(ロンドン)
16	12/16	2	ビーオー会社と日本		電報(ロンドン)
17	12/16	2	韓国開発の曙光		電報(ロンドン)
18	12/16	2	紐育電報(十四日発)		
19	12/16	2	重役捕縛		電報(ニューヨーク)
20	12/16	2	营口特電(十四日支局発)		
21	12/16	2	張奉天支度司		特電(营口)
22	12/16	2	倫敦電報(十五日発)		
23	12/16	2	駐英清国公使		電報(ロンドン)
24	12/16	2	南阿の開発		電報(ロンドン)
25	12/16	2	独帝出発		電報(ロンドン)
26	12/16	2	棉花の搬送		電報(ロンドン)
27	12/16	2	紐育電報(十五日発)		
28	12/16	2	日本人職場		電報(ニューヨーク)
29	12/16	2	大統領宣言		電報(ニューヨーク)
30	12/16	2	支配人自殺		電報(ニューヨーク)
31	12/16	2	貨幣政策に対する批難		電報(ニューヨーク)
32	12/16	2	聖都電報(十五日発)		
33	12/16	2	公債募集		電報(ベルブルグ)
34	12/16	2	東京特電(十四日支局発)		
35	12/16	2	満鉄総会後報		特電(東京)
36	12/16	2	雑報		
37	12/16	2	間島問題経過		雑報
38	12/16	2	交代兵士配属		雑報
39	12/16	2	市内の商勢一斑		雑報
40	12/16	2	各會近事		雑報
41	12/16	2	京漢鉄道收回[ママ]の議		雑報
42	12/16	2	外国在住清国人数		雑報
43	12/16	2	駐連領事決定		雑報
44	12/16	2	新旧民政署長送迎会		雑報
45	12/16	2	海務局の繁忙		雑報
46	12/16	2	大連公学堂寄宿舎		雑報
47	12/16	2	大連基督教會献堂式		雑報
48	12/16	2	大連市の布教		雑報
49	12/16	2	教務課職員数		雑報
50	12/16	2	大連市の下水工事		雑報
51	12/16	2	東京通信 十二月十日	台満子	
52	12/16	2	海運陸院		
53	12/16	2	人事		
54	12/16	2	為替相場 十二月十四日		
55	12/16	2	在港艦船		
56	12/16	2	出入船舶		
57	12/16	3	三味線の話(続)	藤の家 談	
58	12/16	3	満洲の学童(二)		
59	12/16	3	大連最近の人口戸数		
60	12/16	3	雀の生れ代り芸妓		
62	12/16	3	種痘に受けに出陣せよ[ママ]		
63	12/16	3	不正医者と取締		
64	12/16	3	やれ恐ろしや婆痴ひ		
65	12/16	3	紅筆だより		
66	12/16	3	ジャンクの行衛不明		
67	12/16	3	他人の家で上前を別ねる		
68	12/16	3	警務課様のお庇故		
69	12/16	3	苦力を轢き倒す		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
70	12/16	3	借りた金を返さぬ奴		
71	12/16	3	酌婦喧嘩して廃業す		
72	12/16	3	入院と聞いて逃出す		
73	12/16	3	藝妓身上判断(十)		
74	12/16	3	仲仕哀れの死を遂ぐ		
75	12/16	3	営口仏教婦人会例会		
76	12/16	3	営口本願寺日曜説教		
77	12/16	3	興行もの		
78	12/16	3	東西南北		
□1907年12月17日/明治四十年十二月十七日/光緒三十三年十一月十三日/火曜日/通巻45号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/17	1	論説 天威に抗せよ	蒼川逸民	論説
2	12/17	1	教会堂新設		
3	12/17	1	ル氏の心事		
4	12/17	1	予の見たる満洲(三七) 「馬賊の話(続)」	遼東豚	連載
5	12/17	1	無題録(二)	拙者	
6	12/17	1	読者文芸		
7	12/17	1	世界異聞		
8	12/17	1	新年文芸募集		
9	12/17	1	漂泊(三〇)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
10	12/17	2	倫敦電報(十六日発)		
11	12/17	2	辞職勧告		電報(ロンドン)
12	12/17	2	禁制品差押		電報(ロンドン)
13	12/17	2	艦艇の建造		電報(ロンドン)
14	12/17	2	紐育電報(一六日発)		
15	12/17	2	奴僕探偵説		電報(ニューヨーク)
16	12/17	2	東京電報(十五日、十六日発)		
17	12/17	2	韓太子着京		電報(東京)
18	12/17	2	予算会議		電報(東京)
19	12/17	2	大臣の伊公訪問		電報(東京)
20	12/17	2	元老大臣会議		電報(東京)
21	12/17	2	韓国予算		電報(東京)
22	12/17	2	雑報		
23	12/17	2	間島問題の交渉		雑報
24	12/17	2	郵便物取扱便法		雑報
25	12/17	2	営口過炉銀廢止説		雑報
26	12/17	2	各駅の堆積貨物		雑報
27	12/17	2	興行場搬送契約		雑報
28	12/17	2	兩線連絡後の貨物		雑報
29	12/17	2	大豆、豆粕相場		雑報
30	12/17	2	大連港海運事情		雑報
31	12/17	2	東盛和事件前途		雑報
32	12/17	2	露西亜町呼称改正		雑報
33	12/17	2	昨今の気圧と寒気		雑報
34	12/17	2	伊太利公使來連		雑報
35	12/17	2	露国総領事出発		雑報
36	12/17	2	杉浦秘書官送別会		雑報
37	12/17	2	力石署長の慰問		雑報
38	12/17	2	満鉄の大株主		雑報
39	12/17	2	経済研究会設立		雑報
40	12/17	2	牛羊屠殺現況		雑報
41	12/17	2	大連の牛乳不足		雑報
42	12/17	2	史上の商売数		雑報
43	12/17	2	穿井と飲料水		雑報
44	12/17	2	小平島公学堂現状		雑報
45	12/17	2	海運陸運		
46	12/17	2	人事		
47	12/17	2	為替相場 十二月十六日		
48	12/17	2	在港艦船		
49	12/17	2	出入り船舶		
50	12/17	3	商工叢談		
51	12/17	3	欧米鉄道会社の組織(上)		商工叢談
52	12/17	3	南滿洲鉄道案内(二八)	井田子	連載
53	12/17	3	支那に於ける墳墓及び風水(七)	夜鶴生	連載
54	12/17	3	英文一口断		
55	12/17	3	面影集(二)	蒼川逸民	
56	12/17	3	内国記事		
57	12/17	3	第八高等学校設置運動		内国記事
58	12/17	3	女子師範の組織改正		内国記事
59	12/17	3	大博覧会参同[ママ]		内国記事
60	12/17	3	新年号の備観		予告

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
61	12/17	3	樺太地名の大改正		内国記事
62	12/17	3	タービン式採用		内国記事
63	12/17	3	電車問題進捗		内国記事
64	12/17	3	税法整理の結果		内国記事
65	12/17	3	刑法施行法脱稿		内国記事
66	12/17	3	帝商銀行に就て		内国記事
67	12/17	3	山陽線全部複線工事		内国記事
68	12/17	3	思潮一斑		
69	12/17	4	宮本二刀伝(四十四)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
70	12/17	4	家庭ページ		
71	12/17	4	家庭教育(十二)	大連小学校 榎本生	家庭
72	12/17	4	西俗パノラマ「男女交際(一)」	猿太郎	家庭
73	12/17	4	流行の男下駄		家庭
74	12/17	4	よろづ案内		
81	12/17	5	三味線の話(続)	藤の家氏 談	
82	12/17	5	腹部切開の大手術		
83	12/17	5	泥酔漢のホーカイ節屋		
85	12/17	5	妻子を逐帰して芸妓を		
86	12/17	5	営口振商聯合会売出現況		
87	12/17	5	瓦房店小学校の休校式		
88	12/17	5	強請の狂言が外れて乱暴		
90	12/17	5	遭つた指輪が惜しくなる		
91	12/17	5	大隊長の甥窃盗を働く		
92	12/17	5	駅夫三名共謀の悪事		
93	12/17	5	芸妓身上判断(十一)		
94	12/17	5	火薬爆発して重傷を負う		
95	12/17	5	内地雑聞		
96	12/17	5	遼陽の火事		内地雑聞
97	12/17	5	米沢市民懇親会		内地雑聞
98	12/17	5	興行もの		
99	12/17	5	東西南北		
□1907年12月18日/明治四十年十二月十八日/光緒三十三年十一月十四日/水曜日/通巻46号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/18	1	論説 安東東人士に告ぐ	鴨緑生	論説
2	12/18	1	早く目標を作れ		
3	12/18	1	駅長の郵便取扱		
4	12/18	1	予の見たる満洲(三八)「馬賊の話(続)」	遼東豚	連載
5	12/18	1	無題録(三)	拙者	
6	12/18	1	世界異聞		
7	12/18	1	漂泊(三一)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
8	12/18	2	東京特電(十七日支局発)		
9	12/18	2	倫貝子と総裁		特電(東京)
10	12/18	2	統監へ賜餐		特電(東京)
11	12/18	2	専売局長更迭		特電(東京)
12	12/18	2	遼陽特電(十六日特置員発)		
13	12/18	2	参謀長着任		特電(遼陽)
14	12/18	2	上長官帰任		特電(遼陽)
15	12/18	2	雑報		
16	12/18	2	浙江匪乱詳報		雑報
17	12/18	2	露清交通会活動		雑報
18	12/18	2	銃器輸入決議		雑報
19	12/18	2	吉長線踏査確定		雑報
20	12/18	2	吉林議会の創設		雑報
21	12/18	2	日露商人金採鉱		雑報
22	12/18	2	馬賊へ武器供給		雑報
23	12/18	2	奉天露人の談		雑報
24	12/18	2	南清に於る樟樹		雑報
25	12/18	2	各省近事		雑報
26	12/18	2	津鎮鉄道の内容		雑報
27	12/18	2	西江盜案と兩広総督		雑報
28	12/18	2	大官異動の風説		雑報
29	12/18	2	営口十一月中輸出品		雑報
30	12/18	2	浮浪民の運送		雑報
31	12/18	2	鉄嶺在郷軍人団発会式		雑報
32	12/18	2	十一月中郵便取扱致		雑報
33	12/18	2	京奉線瀋陽駅工事		雑報
34	12/18	2	警察官の異動		雑報
35	12/18	2	食塩の送付		雑報
36	12/18	2	交代新兵の鉄嶺着		雑報
37	12/18	2	大連郵便局増員		雑報
38	12/18	2	中村民政長官の帰任		雑報

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
39	12/18	2	沿海州通信		
40	12/18	2	海運陸運		
41	12/18	2	人事		
42	12/18	2	為替相場 十二月十七日		
43	12/18	2	在港艦船		
44	12/18	2	出入船舶		
45	12/18	3	支那の鉄道		
46	12/18	3	商行叢談		
47	12/18	3	欧米鉄道会社の組織(下)		商工叢談
48	12/18	3	南滿洲鉄道案内(二九)	井田子	連載
49	12/18	3	英文一口癖		
50	12/18	3	支那に於ける墳墓及び風水(七)	野鶴生	連載
51	12/18	3	新年号の備観		予告
52	12/18	3	樟脳専売遺聞(上)	稲松松之助氏 談	
53	12/18	3	内国記事		
54	12/18	3	市町村学区廃止問題		内国記事
55	12/18	3	保証準備拡張問題		内国記事
56	12/18	3	土曜会躍起		内国記事
57	12/18	4	宮本二刀伝(四十五)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
58	12/18	4	家庭ページ		
59	12/18	4	家庭教育(十三)	大連小学校 櫻本生	家庭
60	12/18	4	西俗パノラマ「男女交際(二)」	猿太郎	家庭
61	12/18	4	新流行の女下駄		家庭
62	12/18	4	よるづ案内		
67	12/18	5	三味線の話(続)	藤の家氏 談	
68	12/18	5	近江町の七人斬		
70	12/18	5	殺人事件と七の日		
71	12/18	5	嫉妬から髪切り騒ぎ		
73	12/18	5	怪しい奴は曲者		
74	12/18	5	見て置いて夜中盗む		
75	12/18	5	藝妓身上判断(十二)		
76	12/18	5	徴兵適齢者に注意		
77	12/18	5	文友会の忘年会		
78	12/18	5	興行もの		
79	12/18	5	内地雜聞		
80	12/18	5	東西南北		
□1907年12月19日/明治四十年十二月十九日/光緒三十三年十一月十五日/木曜日/通巻47号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/19	1	論説 二體の新教育方針	山東	論説
2	12/19	1	伊藤中將事件		
3	12/19	1	米穀留學奨励		
4	12/19	1	予の見たる滿洲(三九)「馬賊の話(続)」	遼東豚	連載
5	12/19	1	王石同楽[ママ]	孔子龍	
6	12/19	1	読者文芸		
7	12/19	1	世界異聞		
8	12/19	1	漂泊(三二)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/19	2	倫敦電報(十七日発)		
10	12/19	2	大暴風		電報(ロンドン)
11	12/19	2	東京電報(十七日発)		
12	12/19	2	財政問題解決		電報(東京)
13	12/19	2	鉄嶺特電(十八日特置員発)		
14	12/19	2	奉天札幌迄		特電(鉄嶺)
15	12/19	2	雜報		
16	12/19	2	营口輸入税問題		雜報
17	12/19	2	銀貨暴落原因		雜報
18	12/19	2	露国製鐵計画		雜報
19	12/19	2	露国陸軍と鉄道		雜報
20	12/19	2	外国人探鉱の拒絶		雜報
21	12/19	2	露国の開埠要求		雜報
22	12/19	2	北洋沿岸の防備		雜報
23	12/19	2	徐督と蘇抗問題		雜報
24	12/19	2	吉林督練所廃止		雜報
25	12/19	2	東鉄と蘇城炭		雜報
26	12/19	2	千金賽工程进度		雜報
27	12/19	2	滿鉄と果樹奨励		雜報
28	12/19	2	遭難者救助の証明		雜報
29	12/19	2	滿鉄広軌車輛組立工程		雜報
30	12/19	2	小学校冬季休暇		雜報
31	12/19	2	赤十字社特別社員		雜報
32	12/19	2	民政部年末賞与		雜報
33	12/19	2	行政準備委員移動[ママ]		雜報

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
34	12/19	2	換算率改正		雑報
35	12/19	2	大連小学校出席比例		雑報
36	12/19	2	松本軍医監		雑報
37	12/19	2	力石署長巡視		雑報
38	12/19	2	警務課の移転		雑報
39	12/19	2	鉄嶺名刺交換会		雑報
40	12/19	2	開局祝賀会		雑報
41	12/19	2	大連病院長交迭		雑報
42	12/19	2	露国自院引渡打合会		雑報
43	12/19	2	馬蘭河製氷事業		雑報
44	12/19	2	奉天短信		
45	12/19	2	沿海州通信(二)		
46	12/19	2	海運陸運		
47	12/19	2	人事		
48	12/19	2	為替相場 十二月十八日		
49	12/19	2	在港艦船		
50	12/19	2	出入船舶		
51	12/19	3	支那の鉄道		
52	12/19	3	營口豆粕製造業状況		
53	12/19	3	南満洲鉄道案内(三〇)	井田子	連載
54	12/19	3	英文一口晰		
55	12/19	3	曼録 日本人と外国語	落花	
56	12/19	3	樟脳専売遺聞(下)	稲松松之助氏 談	
57	12/19	3	内国記事		
58	12/19	3	笹子越輸送力増加		内国記事
59	12/19	3	高等蚕糸学校新設		内国記事
60	12/19	3	鉄道汽船員行賞		内国記事
61	12/19	3	読者の紙面		
62	12/19	3	再び在満娼妓酌婦に与ふ	洗水	読者の紙面
63	12/19	3	思潮一斑		
64	12/19	4	宮本二刀伝(四十六)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
65	12/19	4	家庭ページ		
66	12/19	4	西俗パノラマ 「結婚(一)」	猿太郎	家庭
67	12/19	4	女子と家庭(五)	大連小学校 花影女史	家庭
68	12/19	4	よるづ案内		
72	12/19	5	蹄の話(上)	墨の家 談	
73	12/19	5	恐喝した金が僅に一円		
74	12/19	5	歳末景況と商品		
76	12/19	5	營口紅筆だより		
77	12/19	5	岡山孤児院へ寄附		
78	12/19	5	解雇されて悪事を働く		
79	12/19	5	洗濯賃を猫バツにせんとす		
80	12/19	5	狂歌雑報		
81	12/19	5	支那人を苦める女		
82	12/19	5	借金と差押へに就て		
83	12/19	5	錠前を破つて盗む		
84	12/19	5	芸妓身上判断(十三)		
85	12/19	5	無性者大怪我をなす		
86	12/19	5	五円の偽札を掴まざる		
87	12/19	5	興行もの		
88	12/19	5	大成洋行の大売出し		
89	12/19	5	内地雑聞		
90	12/19	5	東西南北		
□1907年12月20日/明治四十年十二月二十日/光緒三十三年十一月十六日/金曜日/通巻48号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/20	1	論説 清国留学生の奨励	青山	論説
2	12/20	1	西江々上捕盗		
3	12/20	1	手荷物検査法		
4	12/20	1	予の見たる満洲(四〇) 「山東苦力の勢力」	遼東豚	連載
5	12/20	1	無題録(四)	拙者	
6	12/20	1	読者文芸		
7	12/20	1	世界異聞		
8	12/20	1	漂泊(三三)	広津柳浪 作 結城素明 画	連載(小説)
9	12/20	2	倫敦電報(十九日発)		
10	12/20	2	形勢危殆也		電報(ロンドン)
11	12/20	2	反徒の弾圧		電報(ロンドン)
12	12/20	2	代議士追放		電報(ロンドン)
13	12/20	2	囚徒殖民策		電報(ロンドン)
14	12/20	2	米艦隊出動		電報(ロンドン)
15	12/20	2	東京特電(十九日支局発)		
16	12/20	2	後藤総裁		特電(東京)

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
17	12/20	2	東京電報(十九日発)		
18	12/20	2	韓太子参内		電報(東京)
19	12/20	2	露国祝日と勅使		電報(東京)
20	12/20	2	達大臣来朝		電報(東京)
21	12/20	2	駐連米領事認可状		電報(東京)
22	12/20	2	鉄嶺特電(十九日特置員発)		
23	12/20	2	軍旗祭挙行		特電(鉄嶺)
24	12/20	2	奉天特電(十九日支局発)		
25	12/20	2	蒙古王の北上		特電(奉天)
26	12/20	2	雑報		
27	12/20	2	民政部の合併		雑報
28	12/20	2	二省の官政[ママ]改革		雑報
29	12/20	2	露人と鴨江金鉱		雑報
30	12/20	2	関東州製塩輸入		雑報
31	12/20	2	奉天省と造幣局		雑報
32	12/20	2	遼陽苗圃の引継		雑報
33	12/20	2	衛生組合費の予測		雑報
34	12/20	2	麦酒会社の設立		雑報
35	12/20	2	伊公使の都督訪問		雑報
36	12/20	2	沿海州通信(三)		
37	12/20	2	各省近事		
38	12/20	2	蒙古と希臘教		各省近事
39	12/20	2	吉林省と露国税関		各省近事
40	12/20	2	南康教案と賠償金		各省近事
41	12/20	2	海関総稅務司辞任と其後任		各省近事
42	12/20	2	北京と當舖規則		各省近事
43	12/20	2	汽船検査の届出		
44	12/20	2	列車内喫煙器		
45	12/20	2	衛生組合長訓話		
46	12/20	2	神尾少将等の送別会		
47	12/20	2	満鉄の換算相場		
48	12/20	2	未曾有の夜会		
49	12/20	2	風雨声声		
50	12/20	2	海運陸運		
51	12/20	2	人事		
52	12/20	2	為替相場		
53	12/20	2	在港艦船		
54	12/20	2	出入船舶		
55	12/20	3	支那の鉄道		
56	12/20	3	營口豆粕製造業状況(続)		
57	12/20	3	南満洲鉄道案内(三一)	井田子	連載
58	12/20	3	英文一口崩		
59	12/20	3	面影集(三)	蒼川逸民	
60	12/20	3	内国記事		
61	12/20	3	関税改正後の収入		内国記事
62	12/20	3	新年号の瞻観		予告
63	12/20	3	利子引上の理由		内国記事
64	12/20	3	陸軍下士の欠乏		内国記事
65	12/20	3	水力電気の開始		内国記事
66	12/20	3	二年兵役の成績		内国記事
67	12/20	3	明年度電話架設方針		内国記事
68	12/20	3	利根治水問題		内国記事
69	12/20	3	愚遊一斑		
70	12/20	4	宮本二刀伝(四十七)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講演)
71	12/20	4	家庭ページ		
72	12/20	4	西俗パノラマ 「結婚(二)」	猿太郎	家庭
73	12/20	4	女子と家庭(六)	大連小学校 花影女史	家庭
74	12/20	4	よるづ案内		
84	12/20	5	節婦国久もよ(一)		
85	12/20	5	湖月千紅の愚家抜首		
86	12/20	5	基妓の逃亡 樓主の青息		
87	12/20	5	放蕩の二人同盟		
88	12/20	5	近江町惨劇の被害者		
89	12/20	5	八八最中へ御用		
90	12/20	5	新警務課と部室割		
91	12/20	5	盗むで鼻唄をうたふ。		
92	12/20	5	同情の涙		
93	12/20	5	盗むで置いて知らぬ顔		
94	12/20	5	同一手段のコソコソ		
95	12/20	5	雲右衛門の娘義太夫か		
96	12/20	5	興行もの		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
97	12/20	5	東西南北		
98	12/20	5	藝妓身上判断(十四)		
99	12/20	5	踊の話(下)	墨の家 談	
□1907年12月21日/明治四十年十二月廿一日/光緒三十三年十一月十七日/土曜日/通巻49号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/21	1	論説 間島問題の解決を急ぐ可し	吉林生	
2	12/21	1	熱狂度を越ゆ		
3	12/21	1	炭續りに焚火す		
4	12/21	1	今猶存せり矣		
5	12/21	1	予の見たる満洲(四一) 「山東苦力の勢力(続)」	遼東豚	連載
6	12/21	1	世界異聞		
7	12/21	1	読者文芸		
8	12/21	1	宮本二刀伝(四十八)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(請談)
9	12/21	2	東京特電(二十日支局発)		
10	12/21	2	船車連絡計画		特電(東京)
11	12/21	2	韓太子の招待		特電(東京)
12	12/21	2	大三輪氏叙勲		特電(東京)
13	12/21	2	新州の創設		特電(東京)
14	12/21	2	露海軍復興案		特電(東京)
15	12/21	2	東京電報(二十日発)		
16	12/21	2	韓太子献上品		電報(東京)
17	12/21	2	日清郵便協商		電報(東京)
18	12/21	2	鉄道条約発表		電報(東京)
19	12/21	2	韓太子の叙勲		電報(東京)
20	12/21	2	陛下親訪		電報(東京)
21	12/21	2	鉄道費の計上		電報(東京)
22	12/21	2	雑報		
23	12/21	2	課税問題解決		
24	12/21	2	北滿税関怠慢		
25	12/21	2	大風雪と列車運転		
26	12/21	2	柞蚕糸商と税関		
27	12/21	2	南滿鉄道会社総会		
28	12/21	2	未曾有の夜会(続)		
29	12/21	2	神尾少将招待宴		
30	12/21	2	各省近事		
31	12/21	2	兵器製造廠設置の議		各省近事
32	12/21	2	海軍経営と経費		各省近事
33	12/21	2	亜片検査員派遣		各省近事
34	12/21	2	遼陽本願寺成蹟		
35	12/21	2	浦港の豆類輸出		
36	12/21	2	奉天公立小学校生徒数		
37	12/21	2	浦塩地方の肉類需要		
38	12/21	2	公主嶺屠獸場開業		
39	12/21	2	松浦秘書官送別会		
40	12/21	2	出雲社集会		
41	12/21	2	監査用機関車		
42	12/21	2	大連輸出入の状況		
43	12/21	2	海運陸運		
44	12/21	2	人事		
45	12/21	2	為替相場 十二月二十日		
46	12/21	2	在港艦船		
47	12/21	2	出入り船舶		
48	12/21	3	後藤総裁の演説		
49	12/21	3	支那の鉄道		
50	12/21	3	英文一口断		
51	12/21	3	支那に於ける墳墓及び風水(八)	野鶴生	連載
52	12/21	3	時事漫言 「電車市有秘事(上)」	逸民	
53	12/21	3	内国記事		
54	12/21	3	不要林払下増加		
55	12/21	3	紡績職工の不足		
56	12/21	3	減債基金廃止問題		
57	12/21	3	海軍武官増俸説		
58	12/21	3	商法改正■		
59	12/21	4	家庭ページ		
60	12/21	4	婦人装飾の事	一記者	
61	12/21	4	寒気と小児(一)		
62	12/21	4	西俗パノラマ 「結婚(三)」	猿太郎	家庭
63	12/21	4	金団の製法		
64	12/21	4	女子と家庭(七)	大連小学校 花影女史	
65	12/21	4	よろづ案内		
70	12/21	5	節婦国久もよ(二)		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
71	12/21	5	歳暮贈答品と価格		
72	12/21	5	投票者に注意		
73	12/21	5	新曲『満洲の春』		
74	12/21	5	死体は他殺に非ず		
75	12/21	5	柄にない芸妓の惚さ加減		
76	12/21	5	孤児院と旅順の寄附		
77	12/21	5	取込み詐偽を働いて捕はる		
78	12/21	5	十五銭の不足から乱暴		
79	12/21	5	隙を見て泥棒する奴		
80	12/21	5	狂歌雑報		
81	12/21	5	珍しくない酌婦の逃亡		
82	12/21	5	十一月中の事故数		
83	12/21	5	農行もの		
84	12/21	5	芸妓身上判断(十五)		
85	12/21	5	テニスの話	中村専之助氏 談	
□1907年12月22日/明治四十年十二月廿二日/光緒三十三年十一月十八日/曜日/通巻50号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/22	1	論説 谷技師の北行に餞す	吉林生	
2	12/22	1	聖慮と韓国		
3	12/22	1	危い哉清国		
4	12/22	1	予の見たる滿洲(四二)「山東苦力の勢力(稿)」「鉄道沿線の雑林」	遠東豚	連載
5	12/22	1	枯林泉声(一)	切水軒	
6	12/22	1	〔読者文芸〕		
7	12/22	1	宮本二刀伝(四十九)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
8	12/22	2	倫敦特電(廿一日発[ママ])		
9	12/22	2	大僧正叙任		特電(ロンドン)
10	12/22	2	紐育電報(二十日発)		
11	12/22	2	青木大使送別		電報(ニューヨーク)
12	12/22	2	東洋人排斥		電報(ニューヨーク)
13	12/22	2	東京特電(二十一日支局発)		
14	12/22	2	米艦隊と諸説		特電(東京)
15	12/22	2	又		特電(東京)
16	12/22	2	東京電報(廿一日発[ママ])		
17	12/22	2	韓太子大儀行		電報(東京)
18	12/22	2	内務省予算		電報(東京)
19	12/22	2	奉天特電(十二日支局発)		
20	12/22	2	汽車不通		特電(奉天)
21	12/22	2	雑報		
22	12/22	2	長吉線踏査		
23	12/22	2	大連区附屬地公費		
24	12/22	2	連海航路に就て		
25	12/22	2	埠頭と繋船料関係		
26	12/22	2	蒙古大盟長上京		
27	12/22	2	回教徒雜居禁止		
28	12/22	2	大風雪の影響		
29	12/22	2	清国の財界事情		
30	12/22	2	各省近事		
31	12/22	2	仏国と高州鉄道		各省近事
32	12/22	2	香港の革命的書籍発行禁止		各省近事
33	12/22	2	釐金税廃止と落地税		各省近事
34	12/22	2	勸業道設置の議		各省近事
35	12/22	2	広西匪亂の猖獗		各省近事
36	12/22	2	表情と小園子派出所		
37	12/22	2	埠頭船船の経費		
38	12/22	2	露清行郵便物注意		
39	12/22	2	貯金引出人の増加		
40	12/22	2	苦力の往来		
41	12/22	2	警部特別任用考試		
42	12/22	2	星野參謀長兼任		
43	12/22	2	神尾少將赴任		
44	12/22	2	民政署長招宴		
45	12/22	2	海運陸運		
46	12/22	2	人事		
47	12/22	2	集会		
48	12/22	2	為替相場 十二月三十一日		
49	12/22	2	在港艦船		
50	12/22	2	出入艦船		
51	12/22	2	宿泊氏名 十二月十八日		
52	12/22	3	哈爾濱婦客談		
53	12/22	3	南滿洲鉄道案内(三二)	井田子	連載
54	12/22	3	広東省に於る海賊		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
55	12/22	3	英文一口晰		
56	12/22	3	時事漫言「電車市有秘事(下)」	逸民	
57	12/22	3	内国記事		
58	12/22	3	軍馬購入の開始		内国記事
59	12/22	3	正金の金貨流出防止		内国記事
60	12/22	3	新年号の備観		予告
61	12/22	3	競馬賭事と検事局		内国記事
62	12/22	3	耕地整理と開墾奨励		内国記事
63	12/22	3	読者の紙面		
64	12/22	3	自由廃棄す可らず	濁水生	読者の紙面
65	12/22	3	思辨一斑		
66	12/22	4	家庭ページ		
67	12/22	4	印度の魔術と手品(上)	零丁生	家庭
68	12/22	4	御伽新話「残酷な狼」	とし子	家庭
69	12/22	4	西俗/バラマ「芝居」	猿太郎	家庭
70	12/22	4	寒気と小児(二)		家庭
71	12/22	4	大根のはなし		家庭
72	12/22	4	よろづ案内		
79	12/22	5	節婦国久もよ(三)		
80	12/22	5	我児を売らんとす		
81	12/22	5	良人の無情から発狂		
82	12/22	5	医界の問題とならむ		
83	12/22	5	開城丸は無事		
84	12/22	5	千勝館おかつの義侠		
86	12/22	5	慣れなる孤児教会に立く		
87	12/22	5	味を占めて再び狙ふ		
88	12/22	5	クリスマスと余興		
89	12/22	5	狂歌雑報		
90	12/22	5	序に持つて帰る奴		
91	12/22	5	大山通海岸と結氷		
92	12/22	5	町の改革と懇親会		
93	12/22	5	藝妓身上判断(十六)		
94	12/22	5	本月上旬の悪疫患者		
95	12/22	5	興行もの		
96	12/22	5	テニスの話(続)	中島専之助氏 談	
□1907年12月23日/明治四十年十二月廿三日/光緒三十三年十一月十九日/月曜日/通巻51号/朝刊/版ナン/全4面					
1	12/23	1	論説 松樹盗伐の虞	不老生	論説
2	12/23	1	窟状を憐むべし		
3	12/23	1	弊套を追へる耳		
4	12/23	1	予の見たる満洲(四三)「鉄道沿線の殖林(続)」	遼東豚	連載
5	12/23	1	枯林泉声(二)	切水軒	
6	12/23	1	読者文芸		
7	12/23	1	世界異聞		
8	12/23	1	宮本二刀伝(五十)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講演)
9	12/23	2	倫敦電報(廿一日発)		
10	12/23	2	名士の訃		電報(ロンドン)
11	12/23	2	紐育電報(廿一日発)		
12	12/23	2	炭坑の爆発		電報(ニューヨーク)
13	12/23	2	大統領親艦		電報(ニューヨーク)
14	12/23	2	移民案延期		電報(ニューヨーク)
15	12/23	2	示威大運動		電報(ニューヨーク)
16	12/23	2	東京特電(二十一日支局発)		
17	12/23	2	タフト氏と日本		特電(東京)
18	12/23	2	中村民政長官		特電(東京)
19	12/23	2	歳末の金融		特電(東京)
20	12/23	2	雑報		
21	12/23	2	奉天新市街計画		雑報
22	12/23	2	輸入穀物規定発表		雑報
23	12/23	2	實城子の財界事情		雑報
24	12/23	2	大連満社員公議		雑報
25	12/23	2	輸出商組合成る		雑報
26	12/23	2	満洲水産株主総会		雑報
27	12/23	2	哈爾濱市制会議		雑報
28	12/23	2	冬期と列車牽引力		雑報
29	12/23	2	旅順航行船舶注意		雑報
30	12/23	2	旅順の水道		雑報
31	12/23	2	未永氏招宴		雑報
32	12/23	2	大連の名刺交換会		雑報
33	12/23	2	火夫掃除夫修業生		雑報
34	12/23	2	龍紋水室敷地		雑報

国研紀要 144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
35	12/23	2	通話の停止		雑報
36	12/23	2	赤十字社委員長囑託		雑報
37	12/23	2	大連医会報告会		雑報
38	12/23	2	徐総督の謝礼		雑報
39	12/23	2	瓦房店婦人会		雑報
40	12/23	2	新民府通信		
41	12/23	2	撫順通信		
42	12/23	2	撫順炭坑使用人数		通信(撫順)
43	12/23	2	曲尾技師長		通信(撫順)
44	12/23	2	松田博士		通信(撫順)
45	12/23	2	撫順小学校		通信(撫順)
46	12/23	2	晚餐会		通信(撫順)
47	12/23	2	海運陸運		
48	12/23	2	人事		
49	12/23	2	為替相場		
50	12/23	2	在港艦船		
51	12/23	2	出入船舶		
52	12/23	2	宿泊氏名 十二月廿二日		
53	12/23	3	頭彩は何番か		広告
54	12/23	3	節婦国久もよ(四)		
55	12/23	3	娼妓に情死を迫る痴漢		
56	12/23	3	春着と流行の調べ		
58	12/23	3	阿片を吸ひながら往生		
59	12/23	3	歳暮景品付大売出し 大運動商場		
60	12/23	3	■の玉突場出来る		
61	12/23	3	機関車貨車と衝突す		
62	12/23	3	混浴禁止と痴漢		
63	12/23	3	狂歌雑報		
64	12/23	3	興行もの		
65	12/23	3	東西南北		
66	12/23	3	芸妓身上判断(十七)		
67	12/23	3	国久もよへの義捐金		
68	12/23	3	テニスの話(続)	中島専之助氏 談	
□1907年12月24日/明治四十年十二月廿四日/光緒三十三年十一月二十日/火曜日/通巻52号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/24	1	論説 広西の匪乱に就て	長髮生	
2	12/24	1	財界萎靡		
3	12/24	1	神尾少将東帰		
4	12/24	1	滿蒙人の日用品	遼東豚	連載
5	12/24	1	無声詩話(一)	丹青素人	
6	12/24	1	読者文芸		
7	12/24	1	世界異聞		
8	12/24	1	宮本二刀伝(五十一)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
9	12/24	2	倫敦電報(廿三日着)		
10	12/24	2	匈国首相宣言		電報(ロンドン)
11	12/24	2	長距離無線電話		電報(ロンドン)
12	12/24	2	紐育電報(廿三日着)		
13	12/24	2	加州議員言明		電報(ニューヨーク)
14	12/24	2	提督の宣言		電報(ニューヨーク)
15	12/24	2	尉官の辭職		電報(ニューヨーク)
16	12/24	2	移民問題延期説		電報(ニューヨーク)
17	12/24	2	東京電報(廿三日着)		
18	12/24	2	東洋協会の饗宴		電報(東京)
19	12/24	2	移民問題		電報(東京)
20	12/24	2	陸軍尉官進級		電報(東京)
21	12/24	2	雑報		
22	12/24	2	奉天營造物計画		
23	12/24	2	過炉銀の全廃		
24	12/24	2	撫順炭の朝鮮販路		
25	12/24	2	埠頭倉庫の引渡		
26	12/24	2	海浦間運賃協定		
27	12/24	2	西後貝加留商線		
28	12/24	2	大連港発着列車数		
29	12/24	2	吹雪と列車運転		
30	12/24	2	滿鉄本派本願寺出張所の由来		
31	12/24	2	吉林帰客談		
32	12/24	2	各省近事		
33	12/24	2	蒙古の鉱山開採		各省近事
34	12/24	2	独逸領事館と宜昌		各省近事
35	12/24	2	香港と清国領事		各省近事
36	12/24	2	回部諸王家講の督促		各省近事

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
37	12/24	2	東清鉄道大豆輸送		
38	12/24	2	民政署長の巡視		
39	12/24	2	衛生組合委員会		
40	12/24	2	三泰油房の状況		
41	12/24	2	記念碑の工程		
42	12/24	2	大連税関休日		
43	12/24	2	領事代理		
44	12/24	2	鉄嶺行政委員会		
45	12/24	2	神尾参謀長送別		
46	12/24	2	民政署長招待会		
47	12/24	2	棧橋事務所の招宴		
48	12/24	2	風声雨声		
49	12/24	2	海運陸運		
50	12/24	2	為替相場 十二月二十三日		
51	12/24	2	在港艦船		
52	12/24	2	出入船舶		
53	12/24	2	宿泊氏名 十二月廿三日		
54	12/24	2	電話開通 満洲日日新聞奉天支局		社告
55	12/24	3	支那の鉄道		
56	12/24	3	支那に於ける墳墓及び風水(九)	野鶴生	連載
57	12/24	3	広東省の海賊(続)		
58	12/24	3	英文一口喃		
59	12/24	3	時事漫言 「此番は大不景氣」	逸民	
60	12/24	3	内閣記事		
61	12/24	3	保険料率引上調査		
62	12/24	3	新年号の備観		予告
63	12/24	3	我新式山砲の効力		
64	12/24	3	敦賀浦塩問協定運賃破約		
65	12/24	3	枝光製鉄所成績		
66	12/24	3	上院議員筆記投票説		
67	12/24	3	消費税外の財源		
68	12/24	3	読者の紙面		
69	12/24	3	幼年者使用に就て言あり	大連 二水生	
70	12/24	4	家庭ページ		
71	12/24	4	印度の魔術と手品(中)	零丁生	家庭
72	12/24	4	お伽新話	家庭	
73	12/24	4	西俗パノラマ 「(六)見せ物」	猿太郎	家庭
74	12/24	4	小児と肉類	家庭	
75	12/24	4	女子と家庭(八)	大連小学校 花影女史	家庭
76	12/24	4	よるづ案内		
83	12/24	5	常盤座のそき		
84	12/24	5	逃げた女の思ひ違ひ		
85	12/24	5	蓬萊館客を胡麻化す		
86	12/24	5	罰当りの十六娘説諭する		
87	12/24	5	チーハーを開帳して捕はる		
89	12/24	5	暖炉より発火した汽車火事		
91	12/24	5	旅順のクリスマス		
92	12/24	5	引手金専門の泥棒		
93	12/24	5	警察小事故		
94	12/24	5	興行もの		
95	12/24	5	東西南北		
96	12/24	5	国久もよ女へ義捐		
97	12/24	5	万松号の大売出し		
98	12/24	5	芝居の話	なにがし 談	
99	12/24	5	藝妓身上判断(十八)		
□1907年12月25日/明治四十年十二月廿五日/光緒三十三年十一月廿一日/水曜日/通巻53号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/25	1	論説 読書の説	瘦馬生	論説
2	12/25	1	満鉄社員の公課		
3	12/25	1	満洲水産株式会社		
4	12/25	1	満蒙人の日用品(続)	遼東豚	連載
5	12/25	1	無声詩話(二)	丹青素人	
6	12/25	1	読者文芸		
7	12/25	1	宮本二刀伝(五十二)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
8	12/25	2	東京特電(二十四日支局発)		
9	12/25	2	韓大使歓迎		特電(東京)
10	12/25	2	東京電報(廿四日発)		
11	12/25	2	限外支出		電報(東京)
12	12/25	2	中村長官出発		電報(東京)
13	12/25	2	外事総長拒絶		電報(東京)
14	12/25	2	長春特電(二十四日発)		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
15	12/25	2	徐総督の来着予定		
16	12/25	2	雑報		
17	12/25	2	韓国の予算		雑報
18	12/25	2	後黒龍江鉄道旅団		雑報
19	12/25	2	露国機関銃隊異動		雑報
20	12/25	2	本溪湖炭坑問題		雑報
21	12/25	2	京奉停車場と道路		雑報
22	12/25	2	哈爾濱の毛皮貿易		雑報
23	12/25	2	中央試験場試験科目		雑報
24	12/25	2	貸切貨車扱方変更		雑報
25	12/25	2	奥地方の風習		雑報
26	12/25	2	各省近事		
27	12/25	2	蘭伊鉄道築造計画		各省近事
28	12/25	2	交通銀行と漢口		各省近事
29	12/25	2	蘇浙甬鐵路代表員集会		各省近事
30	12/25	2	近畿各鎮の製鐵		各省近事
31	12/25	2	梧州と西江問題		各省近事
32	12/25	2	千金賽尋常高等小学校開校式		各省近事
33	12/25	2	營口の海軍慰籍		
34	12/25	2	日清印刷会社設立		
35	12/25	2	在滿洲露陸軍病院		
36	12/25	2	水道工事の進程		
37	12/25	2	練習生の実地見学		
38	12/25	2	歳末と年賀郵便		
39	12/25	2	参謀長事務打合		
40	12/25	2	風声雨声		
41	12/25	2	海運陸運		
42	12/25	2	人事		
43	12/25	2	為替相場 十二月二十四日		
44	12/25	2	出入船舶		
45	12/25	2	宿泊氏名 十二月廿四日		
46	12/25	2	本日附録 府報第九十六号		
47	12/25	3	過炉銀全廃及積算方に付懇請書		
48	12/25	3	南滿洲鉄道案内(三三)	井田子	連載
49	12/25	3	英文一口晰		
50	12/25	3	広東省の海賊		
51	12/25	3	面影集(四)	蒼川逸民	
52	12/25	3	時事漫言 「此幕は大不景氣(続)」	逸民	
53	12/25	3	新年号の備觀		
54	12/25	3	内國記事		
55	12/25	3	読者の紙面		
56	12/25	3	男爵後藤君に一言す	白山黒水楼主人	
57	12/25	4	家庭ページ		
58	12/25	4	印度の魔術及手品(下)[ママ]	丁零生	
59	12/25	4	西俗パノラマ 「(七)自転車」	猿太郎	
60	12/25	4	御伽新話 「百性と馬」	とし子	家庭
61	12/25	4	小児と感冒		
62	12/25	4	女子と家庭(九)	大連小学校 花影女史	
63	12/25	4	木炭 火山灰 杉田支店		
64	12/25	4	小林一生法律事務所		
65	12/25	4	販売 倉庫 保険 三井物産合名会社大連出張所		
66	12/25	4	移転 齒科診療 内海齒科医院		
67	12/25	4	加藤洋行		
68	12/25	5	芝居の話(続)	ながしが生	
69	12/25	5	第廿六次彩票抽籤結果		
70	12/25	5	神戸丸と大義丸		
71	12/25	5	福運者は誰か		
73	12/25	5	神戸丸に誘拐者十四名		
74	12/25	5	喰はせ者化の皮が剥る		
75	12/25	5	叩き出されたは身の科		
76	12/25	5	氣の毒なる旅順の消防組		
78	12/25	5	情死未遂の痴漢服罪す		
79	12/25	5	婦人に入貢をさせる		
80	12/25	5	藝妓身上判断(十九)		
81	12/25	5	三人組の汽車泥棒		
82	12/25	5	脱走船夫捕へらる		
83	12/25	5	興行もの		
84	12/25	5	東西南北		
85	12/25	5	節婦国久もよへの義捐金		

□1907年12月26日/明治四十年十二月廿六日/光緒三十三年十一月廿二日/木曜日/通巻54号/朝刊/版ナシ/全6面

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
1	12/26	1	論説 単純なる政綱の発表	一清	論説
2	12/26	1	上海航路		
3	12/26	1	過炉銀問題		
4	12/26	1	無声詩話(三)	丹青素人	
5	12/26	1	読者文芸		
6	12/26	1	実業百家短評(十七) 安田善次郎氏		
7	12/26	1	世界異聞		
8	12/26	1	宮本二刀伝(五十三)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
9	12/26	2	倫敦特電(廿五日着)		
10	12/26	2	日本式銃採用		特電(ロンドン)
11	12/26	2	艦隊建設否定		特電(ロンドン)
12	12/26	2	米国防界紛擾		特電(ロンドン)
13	12/26	2	米太平洋艦隊		特電(ロンドン)
14	12/26	2	石炭担夫罷工		特電(ロンドン)
15	12/26	2	グレー氏主張		特電(ロンドン)
16	12/26	2	紐育電報(廿五日着)		
17	12/26	2	出洋艦と日本		電報(ニューヨーク)
18	12/26	2	東京特電(二十五日支局発)		
19	12/26	2	政友会代議士総会		特電(東京)
20	12/26	2	帝国議会派別		特電(東京)
21	12/26	2	非増税者建議		特電(東京)
22	12/26	2	雑報		
23	12/26	2	東清鉄道用地購買条約		雑報
24	12/26	2	借款問題前途		雑報
25	12/26	2	長春の露材木商		雑報
26	12/26	2	防波堤端目横設立		雑報
27	12/26	2	北埔反民審理開始		雑報
28	12/26	2	馬賊又現れる		雑報
29	12/26	2	露国領事館の盗賊		雑報
30	12/26	2	歳末の大連市況		雑報
31	12/26	2	商界と銀相場		雑報
32	12/26	2	各省近事		
33	12/26	2	幣制統一策		各省近事
34	12/26	2	東三省経費補助		各省近事
35	12/26	2	露清条約の協議		各省近事
36	12/26	2	露国と蒙古特権		各省近事
37	12/26	2	北省提督設置の議		各省近事
38	12/26	2	通俗教育歌及憲法釈義編纂		各省近事
39	12/26	2	広西の匪乱鎮定		各省近事
40	12/26	2	年賀郵便発送者の注意		
41	12/26	2	営口基督教青年会		
42	12/26	2	牛荘在郷軍人団発会式		
43	12/26	2	満鉄工事と露製鉄具		
44	12/26	2	満鉄の換算相場		
45	12/26	2	海運陸運		
46	12/26	2	為替相場 十二月二十五日		
47	12/26	2	在港船舶		
48	12/26	2	出入船舶		
49	12/26	2	宿泊氏名 十二月廿五日		
50	12/26	3	大連宏済局第二十六次得彩票番号		
51	12/26	3	福運万歳		
52	12/26	3	南満洲鉄道案内(三五)	井田子	連載
53	12/26	3	内国記事		
54	12/26	3	瀋清酒輸出高		内国記事
55	12/26	3	新移民組合の運動		内国記事
56	12/26	3	上海貿易の窮状		内国記事
57	12/26	3	山砲隊編成結了期		内国記事
58	12/26	3	大株手数料引上決定		内国記事
59	12/26	3	物価下落す		内国記事
60	12/26	4	家庭ページ		
61	12/26	4	西洋の芝居	前白耳義公使 加藤恒忠氏 談	家庭
62	12/26	4	小児と感冒(二)		家庭
63	12/26	4	御伽新話 「二人の禿頭」	とし子	家庭
64	12/26	4	化粧の架		家庭
65	12/26	4	西俗パノラマ 「(八)一週計算」	猿太郎	家庭
66	12/26	4	甘納豆の製法		家庭
67	12/26	4	よろづ案内		
74	12/26	5	芝居の話(続)	なにがし談	
75	12/26	5	歳暮景況と相場		
76	12/26	5	無学なる支那人の迷惑		
77	12/26	5	日本館吉勇の意気筋		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
78	12/26	5	彩票予想投票者に告ぐ		
79	12/26	5	泥棒と思へば下女の色男		
80	12/26	5	手下を扇動して暴れ込ます		
81	12/26	5	旅費の来る送救護所へ		
82	12/26	5	キ印派出所に飛び込む		
83	12/26	5	一昨夜のクリスマス光景		
85	12/26	5	駈者を殴つて傷を負はず		
86	12/26	5	同衾を断はられて乱暴す		
87	12/26	5	又々引手金の泥棒捕まる		
88	12/26	5	殴打致死の犯人捕はる		
89	12/26	5	藝妓身上判断(二十)		
90	12/26	5	英船水夫泥酔して寝る		
91	12/26	5	盗むで逃げて知らぬ顔		
92	12/26	5	慈善演芸会の決算報告		
93	12/26	5	料亭武蔵野の新築披露		
94	12/26	5	興行もの		
95	12/26	5	東西南北		
□1907年12月27日/明治四十年十二月廿七日/光緒三十三年十一月廿三日/金曜日/通巻55号/朝刊/版ナシ/全6面					
1	12/27	1	論説 清国税関の不必要	両崖	論説
2	12/27	1	人を笑ましむ		
3	12/27	1	独帝の感什麼		
4	12/27	1	銀相場の前途		
5	12/27	1	門風余録[ママ]	白蛇生	
6	12/27	1	読者文芸		
7	12/27	1	実業百家短評(十八) 大谷嘉兵衛氏		
8	12/27	1	宮本二刀伝(五十四)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
9	12/27	1	其日便		
10	12/27	2	倫敦電報(廿六日着)		
11	12/27	2	日銃採用好評		電報(ロンドン)
12	12/27	2	独逸海軍と英国		電報(ロンドン)
13	12/27	2	紐育電報(廿六日着)		
14	12/27	2	米紙の勢力		電報(ニューヨーク)
15	12/27	2	北京特電(二十六日着)		
16	12/27	2	シーボフ氏		特電(北京)
17	12/27	2	雑報		
18	12/27	2	対歐亜大陸連絡誌		雑報
19	12/27	2	海務局の合併		雑報
20	12/27	2	満鉄耕地貸下		雑報
21	12/27	2	牽引力不足理由		雑報
22	12/27	2	連順給水施設準備		雑報
23	12/27	2	広軌列車動揺理由		雑報
24	12/27	2	ン氏歓迎の準備		雑報
25	12/27	2	羅国瑞氏の延着		雑報
26	12/27	2	銀下落理由		雑報
27	12/27	2	吉長間の金融連絡		雑報
28	12/27	2	歳末の海運情況		雑報
29	12/27	2	安奉間の集散貨物		雑報
30	12/27	2	大豆豆粕の相場		雑報
31	12/27	2	旅順の参賀式次第		雑報
32	12/27	2	旅順繁栄策調査		雑報
33	12/27	2	衛生組合常議委員会		雑報
34	12/27	2	脱線と列車延着		雑報
35	12/27	2	引揚船の回航		雑報
36	12/27	2	吉林の商品陳列館設立		雑報
37	12/27	2	長春の豆況		雑報
38	12/27	2	寿座の処分決定		雑報
39	12/27	2	米国資本家来着		雑報
40	12/27	2	正金と歳末金融		雑報
41	12/27	2	實城子の日清合名会社		雑報
42	12/27	2	運輸業組合の更織		雑報
43	12/27	2	早稲田大学校友会		雑報
44	12/27	2	徐総督の帰任期		雑報
45	12/27	2	谷所長の代理		雑報
46	12/27	2	島村調査役		雑報
47	12/27	2	満鉄の松飾廃止		雑報
48	12/27	2	大連本金庫の休業		雑報
49	12/27	2	附属地小学校規定		雑報
50	12/27	2	海運陸運		
51	12/27	2	人事		
52	12/27	2	為替相場 十二月二十六日		

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
53	12/27	2	出入船舶		
54	12/27	2	宿泊氏名 十二月廿六日		
55	12/27	2	本日附録 旅順署報第二十八号		
56	12/27	3	過炉銀全廃及清算方に付懇願署(続)		
57	12/27	3	南満洲鉄道案内(三六)	井田子	連載
58	12/27	3	支那に於ける墳墓及び風水(十)	野鶴生	
59	12/27	3	社告		
60	12/27	3	面影集(五) 田中正造(其二)	蒼川逸民	
61	12/27	3	昔々三話(一) (一)親世大夫小謡に囚まざる		
62	12/27	3	内国記事		
63	12/27	3	韓米輸入税の影響		
64	12/27	3	電車問題解決		
65	12/27	3	満洲興業解散		
66	12/27	3	移民事件交渉未定		
67	12/27	3	郵便貯金の増加		
68	12/27	3	読者の紙面		
69	12/27	3	三たび在満の娼妓酌婦に与ふ	洗水	
70	12/27	4	家庭ページ		
71	12/27	4	西洋の芝居(二)	前白耳義公使 加藤恒忠氏 談	家庭
72	12/27	4	小児と玩具		家庭
73	12/27	4	揮玉子の将方		家庭
74	12/27	4	西俗パノラマ 「(九)広告」	猿太郎	家庭
75	12/27	4	家庭菓子製法		家庭
76	12/27	4	よるづ案内		
83	12/27	5	芝居の話(続)	なにがし談	
84	12/27	5	頭彩当籤者の大喜び		
85	12/27	5	一昨夜の聖誕節祝賀会		
86	12/27	5	旅順の受賞者へ		
87	12/27	5	宿引と其筋の取締		
88	12/27	5	澄まして居る処を御用		
89	12/27	5	酌婦を撃退する鬼婆		
90	12/27	5	乾泥棒は黙八等の男		
91	12/27	5	列車に発砲す		
92	12/27	5	電信為替券を拾ふ		
93	12/27	5	盗難届は真っ赤な嘘		
94	12/27	5	横着な宿屋叱られる		
95	12/27	5	材木八本を盗む		
96	12/27	5	大道で苦力相手の賭博		
97	12/27	5	水夫■亡と捜査願ひ		
98	12/27	5	死児を遺棄する親		
99	12/27	5	同華倶楽部の玉突場		
100	12/27	5	旅順の名刺交換会		
101	12/27	5	藝妓身上判断(二一)		
102	12/27	5	興行もの		
103	12/27	5	遊郭逢坂町		
□1907年12月28日/明治四十年十二月廿八日/光緒三十三年十一月廿四日/土曜日/通巻56号/朝刊/版ナン/全6面					
1	12/28	1	社説 独米の握手か		社説
2	12/28	1	回らば什麼せん		
3	12/28	1	露国領事館の賊		
4	12/28	1	満蒙人の日需品(続)	遼東豚	
5	12/28	1	実業百家短評(十九) 原富太郎氏		
6	12/28	1	無声詩話(四)	丹青素人	
7	12/28	1	読者文芸		
8	12/28	1	宮本二刀伝(五十五)	邑井一 講演 山中古河 挿画	連載(講演)
9	12/28	2	倫敦電報(廿七日着)		
10	12/28	2	英国陸軍々制改正		電報(ロンドン)
11	12/28	2	喫煙覚悟書の交換		電報(ロンドン)
12	12/28	2	二名士の卦		電報(ロンドン)
13	12/28	2	記念晩餐会		電報(ロンドン)
14	12/28	2	張伯演説の反響		電報(ロンドン)
15	12/28	2	瑞典王の埋葬		電報(ロンドン)
16	12/28	2	紐育電報(廿七日着)		
17	12/28	2	紡績製造の制限		電報(ニューヨーク)
18	12/28	2	東京電報(二十七日発)		
19	12/28	2	元帥と部長		電報(東京)
20	12/28	2	青木大使出発		電報(東京)
21	12/28	2	礼遇の辞退		電報(東京)
22	12/28	2	長春特電(二十五日特置員打)		
23	12/28	2	国澤理事		特電(長春)
24	12/28	2	雑報		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
25	12/28	2	奉天の銅貨濫発		雑報
26	12/28	2	銀貨暴落影響		雑報
27	12/28	2	馬賊頻出す		雑報
28	12/28	2	营口と金本位問題		雑報
29	12/28	2	大棧橋倉庫の引渡		雑報
30	12/28	2	寛城子の豆類		雑報
31	12/28	2	大連衛生組合総会		雑報
32	12/28	2	牛家屯の取扱貨物		雑報
33	12/28	2	正金銀行の特別執務		雑報
34	12/28	2	瓦房店の歳末		雑報
35	12/28	2	大石橋小学校生徒数		雑報
36	12/28	2	瓦房店小学校生徒数		雑報
37	12/28	2	妊婦診察料改正		雑報
38	12/28	2	伏見台娯楽場の設備		雑報
39	12/28	2	营口質商の競売所開設		雑報
40	12/28	2	营口の新年		雑報
41	12/28	2	瓦房店の名刺交換会		雑報
42	12/28	2	大石橋名刺交換会		雑報
43	12/28	2	開城記念会と互礼会		雑報
44	12/28	2	満鉄安奉の輸送連絡		雑報
45	12/28	2	水道引用申込数		雑報
46	12/28	2	運転時間回復		雑報
47	12/28	2	都督秘書官の代理		雑報
48	12/28	2	哈爾濱の食料品		雑報
49	12/28	2	鉄嶺通信(二十四日発)		
50	12/28	2	海運陸運		
51	12/28	2	人事		
52	12/28	2	為替相場		
53	12/28	2	在港船舶		
54	12/28	2	出入船舶		
55	12/28	2	宿泊氏名(十二月廿七日)		
56	12/28	3	支那の鉄道 二 京漢鉄道別名蘆漢鉄道(其一)		
57	12/28	3	南滿洲鉄道案内(三七)	井田子	
58	12/28	3	寄書 辨妄	日本塩業公司取締役 中村邦次郎	
59	12/28	3	社告		
60	12/28	3	面影集(六) 秋山好古君	蒼川逸民	
61	12/28	3	昔々三話(二) (二)武蔵老僧に服す		
62	12/28	3	内国記事		
63	12/28	3	海軍の衛生		内国記事
64	12/28	3	深耕作の利害		内国記事
65	12/28	3	横浜の金融		内国記事
66	12/28	3	市債発行反対		内国記事
67	12/28	3	韓国殖林経営		内国記事
68	12/28	3	愛知銀行の取付		内国記事
69	12/28	4	家庭ページ		
70	12/28	4	西洋の芝居(三)	前白耳義公使 加藤恒忠氏 談	家庭
71	12/28	4	西俗/パノラマ (十)辻便所	猿太郎	家庭
72	12/28	4	童話 三つの問題	大連小学校 五郎生	家庭
73	12/28	4	手料理		家庭
74	12/28	4	よるづ案内		
81	12/28	5	芝居の話(続)	ながし 談	
82	12/28	5	大建築物竣工期と移転		
83	12/28	5	歳末市中のかずかず		
84	12/28	5	营口花柳界の新年準備		
85	12/28	5	安い芸妓に高い入費		
86	12/28	5	抜刀を携へた旅順の大男		
87	12/28	5	石油を詐偽して売る		
88	12/28	5	慣れなる支那人の自殺未遂		
90	12/28	5	汽車とトローリーの衝突		
91	12/28	5	慈恵病院のクリスマス		
92	12/28	5	質素なる營口のクリスマス		
93	12/28	5	委託された金を博奕に捨てる		
94	12/28	5	瓦房店警務支署の多忙		
95	12/28	5	藝妓身上判断(二二)		
96	12/28	5	駅員過つて重傷を負ふ		
97	12/28	5	猥りに発銃して叱らる		
98	12/28	5	内地雑聞		
99	12/28	5	興行もの		
100	12/28	5	東西南北		

□1907年12月29日/明治四十一年十二月廿九日/光緒三十三年十一月廿五日/日曜日/通巻57号/朝刊/版ナシ/全4面

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事事件名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
1	12/29	1	論説 韓国拓殖の要	白蛇生	論説
2	12/29	1	大師は大師なり		
3	12/29	1	迂愚笑う可き而已		
4	12/29	1	満蒙人の日用品(続)	遼東豚	
5	12/29	1	無声詩話(五)	丹青素人	
6	12/29	1	実業百家短評(二十) 薩摩治兵衛氏		
7	12/29	1	非危言		
8	12/29	1	宮本二刀伝(五十六)	邑井一 講演 山中古洞 挿画	連載(講談)
9	12/29	2	倫敦電報(二十七日着)		
10	12/29	2	満洲郵便問題		電報(ロンドン)
11	12/29	2	満鉄線の改良		電報(ロンドン)
12	12/29	2	記念会の盛況		電報(ロンドン)
13	12/29	2	隈伯演説説明		電報(ロンドン)
14	12/29	2	東京特電(二十八日支局打)		
15	12/29	2	移民交渉要点		特電(東京)
16	12/29	2	電車市有反対		特電(東京)
17	12/29	2	大蔵証券売行		特電(東京)
18	12/29	2	金利		特電(東京)
19	12/29	2	錦糸輸出不振		特電(東京)
20	12/29	2	袁氏出張通知		特電(東京)
21	12/29	2	法典調査局官制		特電(東京)
22	12/29	2	海軍少将新任		特電(東京)
23	12/29	2	東京電報(二十八日発)		
24	12/29	2	鉄道会議開会		電報(東京)
25	12/29	2	両局長一知事		電報(東京)
26	12/29	2	韓太子教育掛		電報(東京)
27	12/29	2	北京特電(二十八日着)		
28	12/29	2	張袁両氏衝突		特電(北京)
29	12/29	2	奉天特電(二十八日支局打)		
30	12/29	2	徐総督帰程		特電(奉天)
31	12/29	2	雑報		
32	12/29	2	滿韓両地金融関係		雑報
33	12/29	2	吉林省財政維持策		雑報
34	12/29	2	蒙古鉱山問題経過		雑報
35	12/29	2	蘇城と張庫両鉄道		雑報
36	12/29	2	清国税関の蔽■		雑報
37	12/29	2	奉天の豆粕商況		雑報
38	12/29	2	漢口露清商業学校		雑報
39	12/29	2	松花江の製粉会社		雑報
40	12/29	2	東鉄附属地契約(一)		雑報
41	12/29	2	大連衛生組合規定(一)		雑報
42	12/29	2	各省近事		
43	12/29	2	辺疆の調査		各省近事
44	12/29	2	伊犁駐屯軍の出発		各省近事
45	12/29	2	蒙古探偵隊派遣		各省近事
46	12/29	2	海軍復興調査		各省近事
47	12/29	2	汽船会社設立		各省近事
48	12/29	2	貯金取扱高		
49	12/29	2	民政署新年の祝賀式		
50	12/29	2	陸軍の年末賞与		
51	12/29	2	軍隊の配属		
52	12/29	2	浄土宗の仏名会		
53	12/29	2	星野参謀長の披露		
54	12/29	2	旅順法院の休暇		
55	12/29	2	大連税関臨時休業		
56	12/29	2	満鉄の換算相場		
57	12/29	2	謝告		
58	12/29	2	海運陸運		
59	12/29	2	人事		
60	12/29	2	集会		
61	12/29	2	為替相場(十二月二十八日)		
62	12/29	2	在港船舶		
63	12/29	2	出入船舶		
64	12/29	2	宿泊氏名		
65	12/29	2	社告 本日の本紙四頁		社告
66	12/29	3	芝居の話(続)	なにがし談	
67	12/29	3	押詰った大連		
68	12/29	3	横着主任の罪状		
69	12/29	3	男の癖に嫉妬の刺刀		
70	12/29	3	未練な料亭囃亭の主人		
71	12/29	3	兵器を運搬する不埒者		

国研紀要 144 (2015.1)

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
72	12/29	3	多病を苦にして娼妓逃亡す		
73	12/29	3	旅順小学校の復習		
74	12/29	3	二名を取巻いて殴る		
75	12/29	3	大山軒の新葉「社頭松」		
76	12/29	3	逃亡中の犯人捕はる		
77	12/29	3	興行もの		
78	12/29	3	東西南北		
79	12/29	3	芸妓身上判断(二三)		
80	12/29	3	寄書 辨妄(続)	日本塩業公司取締役 中村邦次郎	
□1907年12月30日/明治四十年十二月三十日/光緒三十三年十一月廿六日/月曜日/通巻58号/朝刊/版ナシ/全4面					
1	12/30	1	社説 議会の形勢	王秋哉	社説
2	12/30	1	馬賊を尽せよ		
3	12/30	1	之れ当然事耳		
4	12/30	1	満蒙人の日用品(続)	遼東豚	
5	12/30	1	歳末放言(上)	柳葉	
6	12/30	1	無声詩話(六)	丹青素人	
7	12/30	1	読者文芸		
8	12/30	1	宮本二刀伝(五十七)		
9	12/30	2	倫敦電報(二十九日着)		
10	12/30	2	波斯首都騒擾		電報(ロンドン)
11	12/30	2	紐育電報(廿九日着)		
12	12/30	2	銀行破産		電報(ニューヨーク)
13	12/30	2	東京特電(二十八日特置員打)		
14	12/30	2	開院式勅語		特電(東京)
15	12/30	2	下院奉答文		特電(東京)
16	12/30	2	一月御事始		特電(東京)
17	12/30	2	山鉄買取価		特電(東京)
18	12/30	2	日銀賑戻		特電(東京)
19	12/30	2	官煙値上		特電(東京)
20	12/30	2	東京電報(二十九日打)		
21	12/30	2	御陪食		電報(東京)
22	12/30	2	議会休会期		電報(東京)
23	12/30	2	総予算編成		電報(東京)
24	12/30	2	奉天特電(二十九日支局打)		
25	12/30	2	国事犯引渡		特電(奉天)
26	12/30	2	雑報		
27	12/30	2	東盛和処分案(上)		雑報
28	12/30	2	大連市中の金利		雑報
29	12/30	2	東鉄附属地契約(二)		雑報
30	12/30	2	徐総督帰奉と満鉄		雑報
31	12/30	2	各駅公衆電報事務		雑報
32	12/30	2	中村民政長官着連		雑報
33	12/30	2	営口商人金位採用		雑報
34	12/30	2	露国商の小麦買占		雑報
35	12/30	2	阿哥克海航路開始		雑報
36	12/30	2	紡績操業短縮に就て		雑報
37	12/30	2	季節物の相場一斑		雑報
38	12/30	2	海務局課合併と吏員		雑報
39	12/30	2	公主嶺小学校生徒数		雑報
40	12/30	2	海務局員招待会		雑報
41	12/30	2	奉天産塩の増加		雑報
42	12/30	2	警部考試験合格者		雑報
43	12/30	2	新民府通信		
44	12/30	2	公主嶺通信(二十八日発)		
45	12/30	2	市況一般		通信(公主嶺)
46	12/30	2	屠畜場開業		通信(公主嶺)
47	12/30	2	小学校		通信(公主嶺)
48	12/30	2	名刺交換会		通信(公主嶺)
49	12/30	2	商況		通信(公主嶺)
50	12/30	2	停滯貨物		通信(公主嶺)
51	12/30	2	軍旗祭		通信(公主嶺)
52	12/30	2	風声雨声		
53	12/30	2	海運陸運		
54	12/30	2	人事		
55	12/30	2	為替相場 十二月二十九日		
56	12/30	2	出入船舶		
57	12/30	2	宿泊氏名 十二月廿九日		
58	12/30	2	本日附録 旅順警報第二十九号		附録
59	12/30	2	社告 本日の本紙四頁		
60	12/30	3	俗語の話	梅の舎氏 談	

『満洲日日新聞』1907（明治40）年記事名目録

見出しNo.	掲載日	掲載面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
61	12/30	3	老虎灘の昨今		
62	12/30	3	花家の女将の狂ひ咲		
63	12/30	3	冷艶なる樓主の振舞		
64	12/30	3	辛いかな俄分限の苦勞		
65	12/30	3	居候大法螺を吹いて遊ぶ		
66	12/30	3	船頭の夫婦溺死を免る		
67	12/30	3	泥棒は三人の駅員		
68	12/30	3	派出所へ歳暮を持た込む		
69	12/30	3	暖炉使用者は読め		
70	12/30	3	沈没水雷艇の引揚出願		
71	12/30	3	旅順の新派出所		
72	12/30	3	芸妓身上判断(二四)		
73	12/30	3	旅順八島町の火車		
74	12/30	3	馬車に遭した編上靴		
75	12/30	3	五円の偽軍票を掴む		
76	12/30	3	重藤組出張所の松飾		
77	12/30	3	興行もの		
78	12/30	3	東西南北		
79	12/30	4	謝礼 満洲日日新聞 旅順支局		
□1907年12月31日/明治四十年十二月卅一日/光緒三十三年十一月廿七日/火曜日/通巻59号/朝刊/版ナシ/全4面					
1	12/31	1	社説 都督府官制改正		社説
2	12/31	1	社語彙を為す也		
3	12/31	1	在野党何ぞ振さる		
4	12/31	1	満蒙人の日需品(続)	遼東豚	
5	12/31	1	新年以後の本紙		予告
6	12/31	1	歳末放言(下)	柳葉	
7	12/31	1	読者文芸		
8	12/31	1	宮本二刀伝(五十八)		
9	12/31	2	倫敦電報(廿九日着)		
10	12/31	2	英紙と大隈説		電報(ロンドン)
11	12/31	2	航海局長辭職		電報(ロンドン)
12	12/31	2	波斯問題協商		電報(ロンドン)
13	12/31	2	男爵夫人寄附		電報(ロンドン)
14	12/31	2	日曜労働免除		電報(ロンドン)
15	12/31	2	東京特電(三十日支局打)		
16	12/31	2	上院奉答文		特電(東京)
17	12/31	2	英国豪商入京		特電(東京)
18	12/31	2	後藤総裁病状		特電(東京)
19	12/31	2	東京電報(三十日打)		
20	12/31	2	韓皇の勲章贈与		電報(東京)
21	12/31	2	浦港電報(三十日着)		
22	12/31	2	東鉄保護金下賜		電報(ウラジオストク)
23	12/31	2	北京電報(三十日着)		
24	12/31	2	抗議と英人		電報(北京)
25	12/31	2	雑報		
26	12/31	2	露国鉄道予算		雑報
27	12/31	2	東盛和処分案(下)		雑報
28	12/31	2	東鉄附屬地借地料		雑報
29	12/31	2	蓋平課税問題解決		雑報
30	12/31	2	貨物の現在輸送力		雑報
31	12/31	2	煙草関税の相違		雑報
32	12/31	2	营口税関の不便		雑報
33	12/31	2	東滿商線連絡状況		雑報
34	12/31	2	浦塩港の浮流水雷		雑報
35	12/31	2	郵便物取扱数		雑報
36	12/31	2	营口婦人会の年籠慰問		雑報
37	12/31	2	糯米の売行		雑報
38	12/31	2	鉄道の戸口数		雑報
39	12/31	2	遼陽尋常高等小学校生徒人員		雑報
40	12/31	2	撫順尋常高等小学校生徒人員		雑報
41	12/31	2	遼陽基督降誕祭		雑報
42	12/31	2	遼陽基督婦人会		雑報
43	12/31	2	海務局と新築		雑報
44	12/31	2	質屋組合設立難		雑報
45	12/31	2	大連消防組現況		雑報
46	12/31	2	旅順日本橋の危険		雑報
47	12/31	2	谷技師の奉天出発		雑報
48	12/31	2	御用納及新年拝賀式		雑報
49	12/31	2	大島都督の招宴		雑報
50	12/31	2	満鉄土木課の移転		雑報

国研紀要144 (2015.1)

見出し No.	掲載日	掲載 面	記事/広告見出し	署名/作者	記事分類
51	12/31	2	海運陸運		
52	12/31	2	人事		
53	12/31	2	為替相場 十二月三十日		
54	12/31	2	在港船舶		
55	12/31	2	出入船舶		
56	12/31	2	宿泊氏名		
57	12/31	3	俗謡の話(続)	梅の舎氏 談	
58	12/31	3	大連の道楽くらべ		
59	12/31	3	徳田屋女将の頭痛鉢巻		
60	12/31	3	千紫万紅花あやめ		予告
61	12/31	3	寿座主幸田掬引さる		
62	12/31	3	芸妓上りの発狂女房		
63	12/31	3	大石橋の花柳便り		
64	12/31	3	金露が澤亀と早替りす		
65	12/31	3	姉の躰本で酌■稼ぎ		
66	12/31	3	婦人三名取押さへらる		
67	12/31	3	芸妓身上判断(二五)		
68	12/31	3	日曜学校の見舞		
69	12/31	3	遼陽ホテルと玉突大会		
70	12/31	3	遼陽囲碁研究会大会		
71	12/31	3	内地雑聞		
72	12/31	3	東西南北		
73	12/31	4	謝礼 満洲日日新聞 旅順支局		